## 崇広中学校屋内運動場大規模改造工事 (建築主体工事)

			図 面 リ ス ト		
図 面 番 号	図 名	図面番号	図 名	図面番号	図 名
A - 0 1	建築改修工事特記仕様書 1	A - 2 3	改修前・改修後 展開図 4	M - 0 1	機械設備工事 特記仕様書
A - 0 2	建築改修工事特記仕様書 2	A - 2 4	改修前・改修後 展開図 5	M - 0 2	凡例・衛生器具表 換気機器表
A - 0 3	建築改修工事特記仕様書 3	A - 2 5	改修後 平面詳細図4・展開図6	M - 0 3	機械設備 配置図
A - 0 4	建築改修工事特記仕様書 4	A - 2 6	改修後 平面詳細図 5・展開図 7	M - 0 4	機械設備 平面図(改修前)
A — 0 5	建築改修工事特記仕様書 5	A - 2 7	建具平面図	M — 0 5	機械設備 平面図(改修後)
A - 0 6	建築改修工事特記仕様書 6	A - 2 8	建具表 1	M – 0 6	機械設備 平面詳細図(改修前・改修後)
A - 0 7	配置図・仮設計画図	A - 2 9	建具表 2	M – 0 7	機械設備 加圧ポンプ図 1
A - 0 8	仕上表 1	A - 3 0	建具表 3	M - 0 8	機械設備 加圧ポンプ図 2
A - 0 9	仕上表 2	A - 3 1	体育室床断面構成図		
A - 1 0	改修前 1階平面図	A - 3 2	体育器具図 1		
A — 1 1	改修後 1階平面図	A - 3 3	体育器具図 2		
A - 1 2	改修前 2階平面図	A - 3 4	体育器具図 3		
A - 1 3	改修後 2階平面図	A - 3 5	体育器具図 4		
A — 1 4	改修前 立面図	A - 3 6	劣化箇所現状 1階平面図		
A — 1 5	改修後 立面図	A - 3 7	劣化箇所現状 2階平面図		
A - 1 6	改修前・改修後 断面図	A - 3 8	劣化箇所現状 立面図		
A - 1 7	改修前・改修後 断面詳細図	A - 3 9	外 構 図		
A — 1 8	改修後 平面詳細図1・展開図1				
A — 1 9	改修前・改修後 平面詳細図 2				
A - 2 0	改修後 展開図 2				
A - 2 1	改修前・改修後 平面詳細図 3				
A - 2 2	改修前・改修後 展開図3				

	章項目	特 記 事 項	① 技能士	[1. 6. 2]		立上り部の保護材 [3.3.2]	
學広中学校屋内運動場大規模改造工事		建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 平成17年版)・工事写真の撮り方(改訂第2版)建築編(建設大臣官房官庁営繕部監修)		適用工事種別 技能検定作業 防水改修工事 ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業		・乾式保護材 ※押出成形セメント板(厚さ15mm) ・ ・れんが ※JIS R 1250によるもの	
宗 ム 中 于 仅 庄 P 1 庄 封 物 八 然 庆 以 起 工 ず	'	・エーラ具の微り方(改訂第2版)建定機(建成人民日店日厅呂標即監修)建築物解体工事共通仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成18年版)		いかの 8 工事 ・アスファルトの 水工事 1 年来 ・ ソレッ フュム 米 金 膜 防 水工事 1 年来 ・ アクリルゴム 系 金 膜 防 水工事 1 年来 ・ 合成 ゴム系 シート 防 水工事 作業		・市販品のれんが又は市販品のれんが形コンクリートブロック	
仕 様 書	<b>洋</b> 画	•		・塩化ビニル系シート防水工事作業・セメント系防水工事作業		(見え隠れ部分)	
I 工事概要	場	※適用する [1.1.4]		・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチエ法防水工事作業		・コンクリート	
				・FRP防水工事作業	4 改質アスファル		
1. 工事場所 伊賀市上野丸之内 地内	3 品質計画等	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 [1.2.2] ※風速 V 0= ( ) m/s (平12建告第1454号第2)		・左官作業 ・内外装板金作業 外壁改修工事 ・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業	シート防水	防水改修工法の種類         新規防水層の種別         厚さ (mm)         施工箇所           ・M 4 A S I 法         ・A S - 1 ・A S - 2 ・A S - 3	
2. 敷地面積 RC造2階建 延面積 1,348 m <sup>2</sup>				# 注目では、		- M 4 A S L 法 ・ A S - 4 ・ A S - 5 ・ A S - 6	
0. 丁寅内应 ——相格化於丁寧		・積雪区分 平12建告第1455号 別表 ( )		・自動ドア施工作業		- POASIÄ	
3.工事内容 <u>大規模改修工事</u> ・外壁改修工事		·		内装改修工事 ・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業 ・大工工事作業		・M 3 A S I 工法	
· 床工事	4 電気保安技術者			・鋼製下地工事作業 ・左官作業 ・タイル張り作業		・POASII法	
・床改修工事に伴う施設改修工事 ・鋼製建具改修工事(アルミサッシ:カパー工法)		工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、 電気工作物の保安の業務を行うものとする。		塗装改修工事   ・建築塗装作業   ・ 対筋組立作業 ・ 型枠工事作業 ・ コンクリート圧送工事作業		M 3 A S I 、M 4 A S I 及び P O A S I 工法の防湿層 ・設ける ・設けない [表3.4.3]	
・内部改修工事		・要 ・不要 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		前辰以移工争 ・		M 3 A S I 、M 4 A S I 及びP 0 A S I 工法の貯止階 ・放ける・設ける・設ける・設ける・設ける・	
・トイレ全面改修工事(一部新設)	(E) HE = 18 III	て知りが仕事権勢明書による		コンクリートブロッ・コンクリートブロック工事作業		※設けない ・設ける	
・放送設備改修工事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5施工条件	下記以外は現場説明書による。 [1.3.5] ・ 工事用車両の駐車場所 ※図示・		ク・A L C パネル工事 ・エーエルシーパネル工事作業 石工事 ・石張り作業	5 合成高分子系	[3, 5, 2, 3] [表3, 1, 1] [表3, 5, 1]	
		· 資機材置場 ※図示 ·		植栽工事・造園工事作業	ルーフィング	防水改修工法の種類 新規防水層の種別 施工箇所 仕上げ塗料塗り 使用分類	
		・建設発生土仮置場 ※図示・ ・施工時期 仮設工事は7月上旬 以降とする。	12化学物質の濃度測定	[1. 6. 9]	シート防水	・POSI法     ・S-F1     ・S-F2     ・シルバー     ※非歩行       ・S4SI法     ・S-M1     ・S-M2     ・カラー	
		が	心 丁 沏 貝 切 廠 及 劇 足	: [1・0・9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ス		・S 4 S 上法 ・S - M 2 ・ N ラー ・ N ラー ・ S - M 3	
		現地調査は上記によらない。		チレンの濃度を測定し、報告する。		·POSII法 ·SI-F2	
				測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・行う		・S 4 S I 工法	
	6 発生材の処理等	・発注者に引渡しを要するもの (・金属類 ・ )[1.3.8]		測定対象室 ・図示		· S 3 S I 法 · S - F 2	
		・特別管理産業廃棄物     (・廃石綿 ・PCB含有物 ・ [)1.3.8]       ・現場において再利用を図るもの ( )[1.3.8]		測定箇所数 ・図示 報告の様式等については、現場説明書による。		·S3SII法 ·SI-F1 ·SI-F2	
		・現場において再刊用を図るもの     (木材・コンクリートがら     )[1.3.8]		和口の体丸寺については、現場就明書による。		・M 4 S 工法 ・S - M 2 ・S - M 3	
		・PCB含有シーリング材の処理	①3 完成時の提出図書	①完成図 [1. 8. 1~3] [表1. 8. 1]		・M 4 S I 工法 ・S I - M 1 ・S I - M 2	
<del></del>		・PCB含有シーリンク材の処埋 ・第一次判定:現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する↓		・既存図面修正 ※作成する		· S I - M 3	
		採取箇所数 計 ( ) 箇所		提出部数 ※各2部 ・ 部(A3版第二原図及び電子媒体(CD-R))		脱気装置 ・設ける ・設けない [3.5.3]	
		採取箇所 ※図示・ ・第二次判定:専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。		種類 ※改修標仕表1.8.1による。ただし、種類は当該工事で該当する図面、表		目地処理 PCコンクリートの場合 ([3.5.4]	
		・第二次刊定:専門が析機関に(PCBB有量のが析を行う。 分析個数 計( )箇所		及び計画書とする。 ※施工計画書 提出部数 ※1部・ 部	6 塗膜防水	[3.6.2,3] [表3.1.1] [表3.6.1]	
5. 工事範囲		·除去処理工事		※施工図 提出部数 ※ 1 部 · 部		防水改修工法の種類 新規防水層の種別 施工箇所 仕上げ塗料塗り	
<ul><li>※「3.工事種目」すべてを工事範囲とする。</li><li>・「3.工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべ</li></ul>		除去範囲 ※図示 ・		・保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・ 部		・POXI法     ※X-1 · X-2     ・シルバー       ・L4XI法     ・X-1 ※X-2     ・カラー	
・   3. 工事	7環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 [1.4.1]	1 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。		-7\±\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
		本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする	4 5 50 5/	WM -		脱気装置 ※設けない ・設ける [3.6.3]	
工事種目		のとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティー	1 5 設計 G L	※図示 ·	7 脱気装置	[3. 3. 3] [3. 4. 3] [3. 5. 3] [3. 6. 3]	
		クルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムア ②	) ①足場その他	内部足場 種別 ※きゃたつ、足場板等 ・ 枠組足場 [2.2.1]		種 類 材 質 設置数量	
建築電気機械		ルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放 で		外部足場 種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 [2.2.1] [表2.2.1]		・平場部脱気型     ・ポリエチレン樹脂     ・ABS樹脂     ( )m² 当たり1箇所	
		散が極めて少ないものとする。 Hai		防護シート ※設置する ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 [2.2.1] [表2.2.2]		- ステンレス鋼 ・鋳鉄 	
工事項目		(3)接着剤はフタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有しな い難揮発性の可類剤を使用し、ホルケアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチ		※本工事で設置する仮囲い、鉄板、足場等の仮設物は別途発注の電気設備工事業者へ無償		・立上り部脱気型 ・ステンレス鋼 ・銅	
2 仮設工事		い難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチ ルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。		利用させること。	8 シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][表3.1.2]	
3 防水改修工事		(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させな	② 既存部分の養生	既存部分の養生 ※ビニルシート等 [2.3.1]		・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法	
3 防水改修工事		いか、放散が極めて少ないものとする。 (5) (1)、(3)及び(4)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その		既存家具等の養生 ※ビニルシート等・ 固定家具等の移動 ※行わない・行う(図示)		・拡幅シーリング再充填工法・ブリッジ工法	
4 外壁改修工事		(5) (1)、(3)及び(4)の材料を使用して作られた家具、書架、美験音、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものと	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別 [2.3.2] [表2.3.1]		シーリング材の種類       ※下表以外は、改修標仕表3.7.1 による[3.7.2] [表3.7.1]         施工箇所       シーリング材の種類(記号)	
コンクリート打放し仕上げ外壁 外壁改修工事		する。 		種別 下地 仕上材(厚さ mm) 充填材 塗装		THE ART A MARKET PARTY.	
## せい   1 日本   1 日本		また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 該当する材料		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td></td></td>	<td></td> <td></td>		
外壁改修工事		規制対象外 ① JIS及びJASのF☆☆☆規格品		※C種 単管下地 防炎シート			
タイル張り仕上げ外壁 外壁改修工事		② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣 認定品		仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ・ ※なし ・ 鋼製扉 ※片面フラッシュ程度 ・ あり		ブリッジエ法 ボンドブレーカー張り ・適用する [3.7.7]	
塗り仕上げ外壁		総定品 ③ 下記表示のある JAS規格品	1日 相 本 34 =4			エッジング材張り ・適用する 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (部位: )[3.7.8]	
5 建具改修工事		a. 接着削等不使用	4 現場事務所	※設ける [2.4.1]   ・構内に新設する			
6 内装改修工事		b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを		・既存建物内の一部を使用する	9 とい	といの材種 [3.8.2] [表3.8.1] ※配管用鋼管	
- At the table - T W		放散しない材料使用		・設けない		<ul><li>※配管用鋼管</li><li>・硬質塩化ビニル管 (・V P ・R F + 「GV P )</li></ul>	
7 塗装改修工事		d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを 放散しない塗料使用	5工事用水	構内既存の施設 ※利用できない・利用できる(※)有償・無償)(電気工事と調整を行う事)			
8 耐震改修範囲以外の躯体改修工事		放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを	(6)工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない・利用できる (※)有償・無償)(電気工事と調整を行う事)		鋼管製といの防露巻き [3.8.2,3][表3.8.4,5] ※行う(施工箇所 ※改修標仕表3.8.5による・)	
耐震改修工事		放散しない塗料等使用				防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種	
		f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 ① JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②	1 既存防水層の処理	既存保護層(平場)の撤去     ・行う(範囲・図示・)[3.2.3]       既存防水層(平場)の撤去     ・行う(範囲・図示・)[3.2.4]		といの掃除口 ※あり(図示) ・なし たてどい受金物の取付け [3.8.3]	
9 環境配慮改修工事		② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣 🗦		対行防水増(平場)の撤去 (・ガラ) (和囲 ・図示 ・ ) (3.2.4]   立上り部の防水層撤去 [表3.1.1]		たてどい受金物の取付け [3.8.3] ※図示 ・標仕13.5.3 (6/2) による	
10 耐震補強に伴う工事		認定品   段		・行う(・POS(機械) ・POSI(機械) ・M 4 S ・M 4 S I			
	(8)材料の品質等	[1. 4. 2] H		・S4S(機械) ・S4SI(機械)) 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 [3.2.6]		ルーフドレン     [3.8.3] [表3.8.1]       種別     施工箇所	
		本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS		·行う((·N)4AS ·M4ASI ·M4C ·M4DI ·L4X)		・ろく屋根用(・たて形 ・横形)	
		はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たす ものとする。		改修用ドレン ・動ける(・POAS ・POASI ・POD ・PODI ・POS ・POSI ・POX)		・バルコニー中継用 ・バルコニー用	
		(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること		#1/2 ( 1 0 N O - 1 0 N O 1 - 1 0 D 1 - 1 0 O 1 - 1 0 O 1			
		(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること	2 既存下地の補修	アスファルト補修の材料 ※JIS K 2 2 0 7 による 3 種 ・ [3. 2. 2]	10 アルミニウム製笠		
Ⅱ 建築改修工事仕様		(3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること		既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示・ [3.2.6]		種類     最小呼称肉厚(mm)     表面処理     固定間隔     備考       ・250形     1.6     ※A-1又は     ※固定方法及びコーナー部、突当り部等の	
		(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること	3 アスファルト防水	[3. 3. 2,3] [表3. 1. 1] [表3. 3. 3~10]		・300形     1.8       B-1種     間隔は図示によ役物は本体製造所の仕様に	
1. 共通仕様 図あみが特別仕様まに記載されていたい事項は、国土な海火土内宮夏宮庁党様郊野校「小井建筑改成工事標準仕様		(6)販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証		防水改修工法の種類 新規防水層の種別 施工箇所		<u>・350形</u> 2.0 ・B-2種 る。 よる。	
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様 書(建築工事編)(最新版)」(以下「改修標仕」という。)により、また、改修標仕に記載されていない事項は、		明となる資料又は外部機関((往)公共建築協会等)が発行する「建築材料・設備機材等品		中18I法     ・B-1     ※B-2       溶     ・P18II法     ・BI-1     ※BI-2		·100%	
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「標仕」とい		質性能評価事業」の評価書等の写しを、監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただ		・P2AII法 ・AI-1 ※AI-2			
う。) による。		し、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同		↑ P2AI法     ・A-1     ※A-2       → M4CI法     ・C-1     ※C-2		板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示・ [3.9.3]	
2. 特記仕様		等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。		翻 · M3DI法 · P0DI法 · D − 1 ※D − 2	11 折板葺	(13.3.2、3)(麦13.2.1)	
(1)項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、◯印の付いたものを適用する。	9、特別な材料のエキ	→ 改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定す				形式 形状 (mm) 材料 (規格等) 軒先面戸板 断熱材 耐火性能	
(2) 特記事項は、Opの付いたものを適用する。		は珍様は及び様はに記載されていない行列な材料の工法については、材料表追別の指定する工法とする。		· M 4 D I I 法		※重ね形   山高(	
○ 印と⊗印の付いた場合は、ともに適用する。	104-11-11-11	部本英国工作领本土社 以同一		防水 (保護層は図示による)		・かん合形 ( めっき鋼板及び鋼帯 ( )	
(3)特記事項に記載の []内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4)特記事項に記載の ()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		調査範囲及び調査方法 ※図示 [1.5.2] 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示・ [1.5.3]		アスファルトの種類 ※3種・4種 [3.2.2][3.3.2]		板厚 (CGLCCR-20- 厚さ ※0.6 · 0.8 AZ150) ( ) mm	
(4) 特記事項に記載の( ) 内表示會考は、條任の当該項目、当該因又は当該表を示す。 (5) 特記事項に記載の(別2ー . )は、標仕の「別図2 ポルト間隔等及び溶接継手の開先形状」の該当項目を示す。				M3D、P0D、P0DI、M3DI及びM4DI工法の脱気装置   ※設ける ・設けない [3.3.3]		*0.6 ·0. \$ A2150)	
(6) 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」の特定調達品目を示す。				断熱工法の断熱材 [3.3.2]		( ) 時間	
				※押出法ポリスチレンフォーム3種 b スキン層付き 厚さ(m m) ※ 2.5 ・ 厚さ(m m) ・		· st	
HENO.		TITLE		75			
MEMO		──│	築主体工事)			<del>                                     </del>	
		DRAWNING SCALE	T				
		建築改修工事特記仕様書 1	l N	A — 0 1			

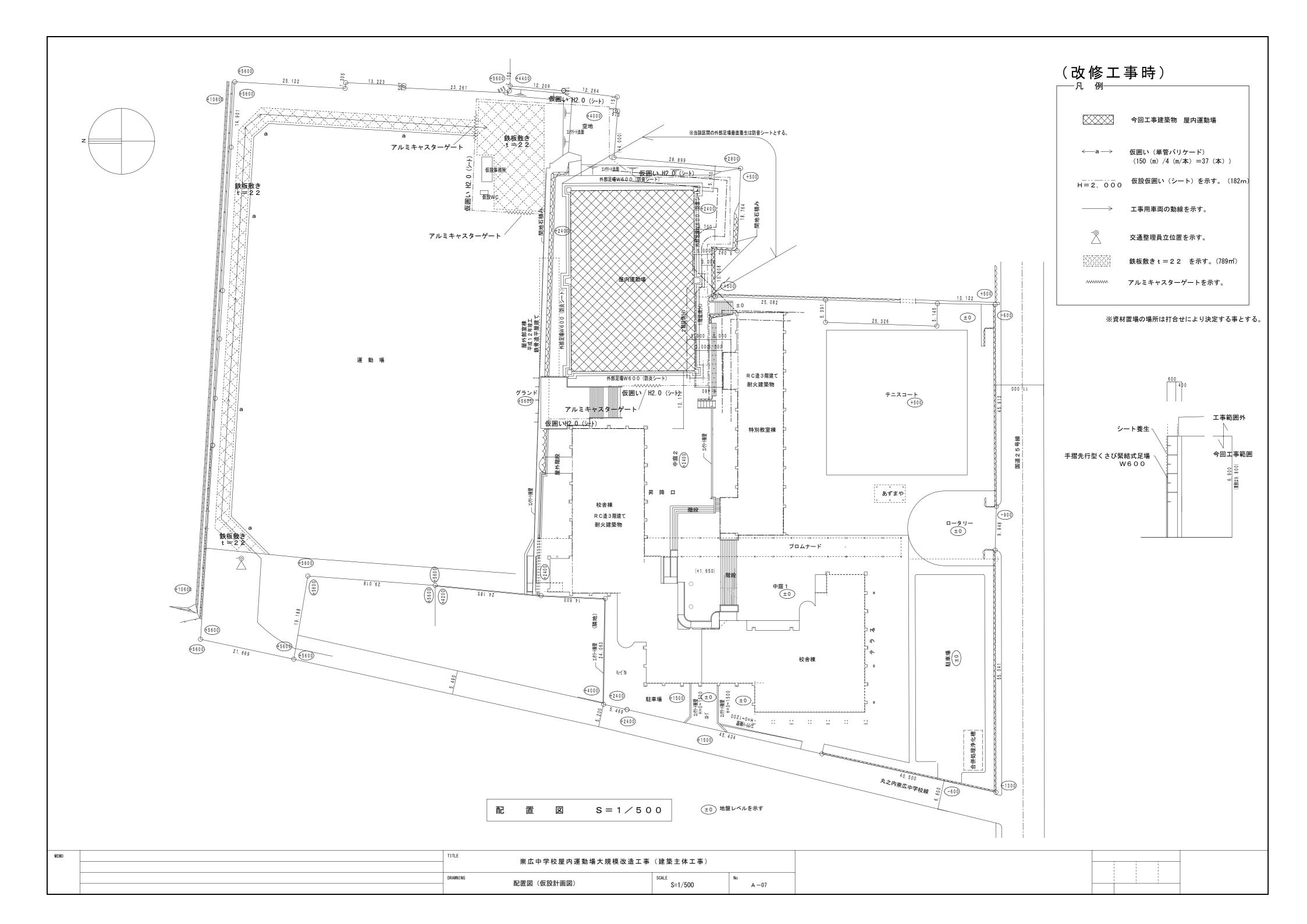
						I	
4 1 施工数量調査	調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲 [1.5.2] ( 調査内容	(4-) ひび割れ部改修工法	※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.4] 注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (m <b>2</b> /m) 備 考	<ul><li>1 既存タイル張りの 撤去</li></ul>	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 搬去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ	1) 既存塗膜等の除去 及び下地処理	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法     [4.6.3] [表4.6.2~5]       工 法     処理範囲       下地面の補修
	(1) ひび割れの幅及び長さを壁面に表示し、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び 錦汁の流出の有無を調査する。	<b>岁</b>	※自動式低圧エポキシ	2 ひび割れ部改修工法	次に表現していると、		※サンダー工法       ※既存仕上面全体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(2) モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、	達 改 億	- 新式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40 ・	2 ひひ割れ部以修工法			加圧力・欠損部改修工法
	欠損部の形状寸法等を調査する。 (3) コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。	H #	注入工法     0.3以上~0.5未満     ※100~200     ※70     日       ・機械式エポキシ樹脂     0.5以上~1.0未満     ※150~250     ※130		※樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 3. 4] [4. 5. 5]		※50MPa程度 ・
	(4) 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁 面に表示し、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。	П	注入工法     ・     ・       注入材料     [4.2.2]		注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (m <b>0</b> /m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ 0.2以上~1.0未満 ※200~300 ※130		・塗膜はく離剤工法 ※既存仕上面全体・ ・水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体
	調査報告書の部数 ※2部・	79 1	※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形) 湯		樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
2) 改修材料	・既製調合モルタル	 	・		・手動式エポキシ樹脂     0. 2以上~0.3未満     ※50~100     ※40       注入工法     0.3以上~0.5未満     ※100~200     ※70		塗膜はく離剤の種類 • [4.2.2]
	保水率     単位容積質量     接着強さ (N/mm²)     長さ変化率     曲げ強さ       (%)     (kg/Q)     標準時     温冷繰返し後     (%)     (N/mm²)	す 放し	・行う(抜取り部の補修方法: ) 「「「」 学		- 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0未満 ※150~250 ※130 注入工法 ・ ・ ・	2 下地調整	材料 ※下地調整塗材 [4. 2. 2] [4. 6. 4] ・ポリマーセメントモルタル
	70.0以上 1.80程度 0.60程度 0.40以上 0.20以下 4.0以上	<b>并</b> 	・Uカットシール材充填工法     [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5]		注入材料 [4. 2. 2]		・防水形仕上げ塗材主材を使用
	・パテ状エポキシ樹脂	げ外国	充填材料     品質・規格等     備考       ・シーリング材     ※1成分形又は2成分形     ポリマーセメントモルタルの充填		※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形) ・ ・	3 仕上塗材仕上げ	仕上塗材の種類、仕上げの形状等 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [表4. 2. 3,4]
	初期硬化性 接着強さ (標準) 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率 (N/mm²) (N/mm²) (96)	Тн	ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う		検査 (コア抜取り) ※行わない [4.3.4] ・行う (抜取り部の補修方法: )		種類 呼び名 仕上げの形状等 ・ 薄付け仕上塗材 ・ 外装薄塗材 S i
	標準2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下		・可とう性エポキシ樹脂				・可とう形外装薄塗材Si・
	(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。		・シール工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 6]		- リカットシール材充填工法 (既存タイル張り撤去面) [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5] [4. 5. 6] 充填材料 品質・規格等 備 考		・外装薄塗材E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状
	(3) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は 製造後6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。		・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂		・シーリング材 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填 ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う		・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 ・外装薄塗材S 砂壁状
	(4) 試験方法は、JIS A 6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂) に準ずる。	② 在提到收收工注			・可とう性エポキシ樹脂		・複層塗材CE ・複層塗材CE ・複層塗材Si 耐候性 ※耐候形3種
	・可とう性エポキシ樹脂	2 欠損部改修工法	・エポキシ樹脂モルタル				·複層塗材E 上塗材
	比重		・ポリマーセメントモルタル	3 欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法     [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 5. 7]       ※ポリマーセメントモルタル		(・養層塗材RE 溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・可とう形複層塗材CE 樹脂 ※アクリル系
	素示値 常温物性 1. O以上 常温物性 3.0. O以上 最大引張応力 1. 0 N/m ft 以上				・タイル部分張替え工法用接着剤(・変成シリコーン樹脂系 ・ウレタン樹脂系)		・複層塗材RS 外観 ※つやあり ・つやなし ・防水形複層塗材CE ・メタリック
	±0.10   60以下   3.0以下   5.0以下   低温性 1.0以上   低温性 3.0.0以上   破断時の伸び   加勢米化1.0以上   加勢米化3.0.0以上   破断時の伸び				・タイル張替え工法 [4. 1. 4] [4. 5. 8]		・防水形複層塗材E 防水形の増塗材 ※行う
	10.0%以上				中縮調整目地及びひび割れ誘発目地     [4.5.8] [表4.5.1]       位置 ※改修標仕表 4.5.1による・図示		・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS
		(1) 既存モルタル塗りの 撤去	○行う (※全面 ・図示の範囲)	4 浮き部改修工法	[4. 1. 4] [4. 5. 9~15] [養4. 4. 3.4]		・可とう形改修用仕上塗材 ・可とう形改修塗材E ・平たん状 ・可とう形改修塗材RE ・さざ波状
	(3) 希温希波 (温度とひまする C、速度も5至20%) において装造所が損走する期間又は装造後 6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。	*		・行に即収修工店	アンカーピンの本数 注入口の箇所数 充填量		・可とう形改修塗材でE・ウさ液が ・可とう形改修塗材でE・ゆず肌状
	・タイル部分張替え工法用接着剤	<ul><li>□ (2)ひび割れ部改修工法</li><li>□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</li></ul>	・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による)		(モルタルを撤去しない場合)     (本/m²)     (箇所/m²)     又は注入量       一般部     指定部     一般部     指定部     (箇所/m²)		防火材料の指定 [4.2.2]
	適用範囲 張替え面積が比較的小さく、下地モルタルが健全な場所に用いる。 樹脂の種類 変成シリコーン樹脂系、ウレタン樹脂系	H <del>H</del>	※樹脂注入工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面) [4. 1. 4] [4. 4. 2] [4. 4. 5] 注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入目間隔 (mm) 注入量 (m 2√m) 備 考		・アンカーピンニング     ※16     ※25      ※25       部分エポキシ樹脂注入工法     ・     ・     ・		※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする。
	接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 凍結融解 熱劣化	# 7	※自動式低圧エポキシ 0.2以上~1.0未満 ※200~300 ※130・		・アンカーピンニング     ※13     ※20     ※12     ※25		
	強度(N/mm²)     0.60以上     0.40以上     0.40以上     0.40以上       凝集破壊率(%)     75以上     50以上     50以上     50以上	7.8%	樹脂注入工法		全面エボキシ樹脂注入工法     ・     ・     ・       ・アンカーピンニング     ※13     ※20     ※12     ※20     ※50		
	皮膜物性         標準         高温         低温         アルカリ温水         熱劣化           引張強さ(N/mm²)         0.60以上         0.60以上         0.60以上         0.40以上         0.40以上	<b>※</b> した	注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		全面ポリマーセメントスラリー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 注入工法		
	伸び(%) 35以上 35以上 25以上 25以上	H   H	注入工法		・注入口付アンカーピンニング     ※9     ※16      ※25		
	貯蔵安定性 質量の変化が5%以内で、かつ、均質で異物が認められないこと。 (一液形のみ)	<sup>*</sup> 外壁	注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)		部分エボキシ樹脂注入工法     ・     ・     ・     ・       ・注入口付アンカーピンニング     ※9     ※16     ※9     ※16     ※25		
	混練終結確認容易性 混練終結時の色が明瞭であること。 (二液形のみ)		・ 検査 (コア抜取り) ※行わない [4.3.4]		全面エポキシ樹脂注入工法     ・     ・     ・     ・       ・注入口付アンカーピンニング     ※9     ※16     ※9     ※16     ※50		
	耐熱性 JIS A 5557の試験において、80℃で4週間1kgの重りで安定してい		・行う(抜取り部の補修方法: )		全面ポリマーセメントスラリー ・ ・ ・ ・ ・		
	ること。 ずれ抵抗性 ずれが生じないこと。		・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.6]		注入工法     ※9     ※16     ※50		
	(1)外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。 (2)タイル、下地材等を侵すものでないこと。		充填材料         品質・規格等         備 考           ・シーリング材         ※1成分形又は2成分形         ポリマーセメントモルタルの充填		エポキシ樹脂注入タイル固定工法     ・     ・     ・     ・       アンカーピン     [4.2.2]		
	(3) 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に規定された第一種特定化学物質及		ポリウレタン系シーリング材 ※行わない・行う		材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの		
	び第二種特定化学物質、並びに「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。		・可とう性エポキシ樹脂		注入口付アンカーピン [4.2.2]		
	(4) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6箇月間保存しても上記の品 質性能に適合していること。		・シール工法(※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面) [4.1.4][4.2.2][4.4.7]		材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm		
	・エポキシ樹脂モルタル		・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	5 タイル張り	タイルの種類 [4. 2. 2] [4. 5. 7,8]		
	接着強さ (N/mm²) 圧縮強さ (N/mm²) 曲げ強さ (N/mm²)			□ ラコル放り	*** *********************************		
	1. 0以上 20. 0以上 10. 0以上 (1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上りが良好であること。		・既存塗り仕上材の撤去及び補修 [4.4.2] [4.6.3] (※シール工法の範囲 ・ )		施上 国		
	(2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	② 炉温如油板干:+	既存モルタル面の欠損部 [4. 1. 4] [4. 4. 8,9]				
	(3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を 使用しないこと。	(3)欠損部改修工法	改修工法の種類 材料 品質・規格等				
	(4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。 (5) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6箇月間保存しても上記の品		・充填工法 ポリマーセメントモルタル				
	質性能に適合していること。		・ モルタル塗替え工法         改修標性4. 2. 2 (g) による         塗厚 2.5 mmを超える場合の補強           既製目地材         ※行う・行わない・図示				
	・ポリマーセメントモルタル		・適用する		標準的な曲がり(小口、標準、二丁、びょうぶ)の役物は一体成形とする。		
	種類     合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等       曲げ強さ     圧縮強さ       携着強さ (N/mm²)		(形状 ※図示・・)		タイルの見本焼き ※行わない ・行う		
	(N/mm²)         (N/mm²)         標準時         湿潤時         低温時           6. 0以上         20. 0以上         1. 0以上         0. 8以上         0. 5以上	(4) 浮き部改修工法	[4. 1. 4] [4. 4. 10~15] [表4. 4. 3,4] アンカービンの本数 注入口の箇所数 充填量		壁タイル張りの工法 [4, 5, 7,8] [表4, 5, 3] 外装タイル ※密着張り ・改良積上げ張り ・改良任着張り		
	(1)表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。		改修工法の種類 (本/m²) (箇所/m²) 又は注入量		外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り		
	(2) 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。 (3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。		一般部   指定部   一般部   指定部   (箇所/m ♀)		タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.2.2]		
	(4) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後 6箇月間保存しても変質しないこと。		部分エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6 目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 既製調合モルタル ・使用する		
			全面エポキシ樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・伸縮調整目地改修工法 [4. 1. 4] [4. 5. 16]		
	・ポリマーセメントスラリー       広がり速度     長さ変化率     引張接着性     曲げ性能     吸水性     耐久性		・アンカーピンニング     ※13     ※20     ※12     ※20     ※50       全面ポリマーセメントスラリー     ・     ・     ・     ・     ・		シーリング用材料 [3.7.2][表3.7.1] 種類 ※改修標仕表3.7.1による		
	(cm/s)     (収縮)     (材齢28日)     (材齢28日)     (72時間)     (劣化曲げ強さ)       (%)     (N/mm²)     (N/mm²)     (%)     (N/mm²)		注入工法     ※9     ※16     ※25				
	3 以上 3 以下 0.5以上 5.0以上 15%以下 5.0以上		部分エポキシ樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00		・注入口付アンカーピンニング     ※9     ※16     ※9     ※16     ※25       全面エポキシ樹脂注入工法     ・     ・     ・     ・     ・     ・				
	・吸水調整材		・注入口付アンカーピンニング ※9 ※16 ※9 ※16 ※50 全面ポリマーセメントスラリー ・ ・ ・ ・ ・				
	全固形分 (%) 吸水量 (g) 接着強度 (N/mm²) 界面破断率 (%)		注入工法				
	表示値±1.0以内     30分間で1以下     0.98以上     50以下       均質で有害と認められる異物の混入がないこと。		アンカーピン       [4. 2. 2]         材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの				
			・ 注入口付アンカーピン [4. 2. 2]				
			材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm				
			·				
MEMO			TITLE 出作由学校员内寓新县土组借办准工事(2年)	塩ナ ナ エ 声 \			
			—————————————————————————————————————				
			DRAWNING 建築改修工事特記仕様書 2	E	No A — O 2		

		DRAWNING 建築改修工事特記仕様書3	SCALE	No A — 0 3						
mLIIIV		崇広中学校屋内運動場大規模改造コ	事(建築主体工事)							
MEMO		TITLE HILL AND A WAR IN A LINE OF THE STATE								
				表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。 ・ 厚さ (mm)・		ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 [6.10.2] ※規制対象外 ・第三種				
	耐風圧性能( ) N <sup>2</sup> / m		7 防腐、防蟻処理	防腐処理 ※行う(※改修標仕6.5.2(h)(3)による ・図示 ) [6.5.2] 防蟻処理 ・行う(※図示 ・ ) [6.5.2] 防腐、防蟻処理剤の種類及び品質 [6.5.2]		・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑) ・防滑仕上げ				
	※スチールタイプ     ※バランス式     ・スタンダード形     ※溶融亜鉛めっき鋼板       ・アルミニウムタイプ     ・チェーン式     ・ローヘッド形     ・ステンレス鋼板       ・ファイバーグラスタイプ     ・パイリフト形     ・パーチカル形			・ レイ ・FW ・両面 ・2類 ・しない ・防炎処理 ・ブリント・W ・塗装 ・SW	13合成樹脂塗床	(6. 10. 2、3] [表6. 10. 1~7]       種別 施工箇所 仕上げの種類       ・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ				
14 オーバーヘッドドア	耐風圧性能 ( ) N <sup>2</sup> /m [5. 11. 2、3] セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質			<td 2"<="" rowspan="2" style="background-color: lighter; color: lightblue; c&lt;/td&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・&lt;br&gt;階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・&lt;br&gt;見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示 ・ ) [6.9.3]&lt;/td&gt;&lt;/tr&gt;&lt;tr&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;又はJIS G 3318(塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯) ・鋼板 形状 ※インターロッキング形 ・オーパーラッピング形 [5.10.4] ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5 mm) [表5.10.2]&lt;/td&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;※4.2     ・しおじ     ・2類     ・しない     ・防炎処理       ・6.0     ・     ・     ・&lt;/td&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;・第二種     ・       ・カットパイル     707敷設範囲)       ・カット、ループ併用     ・&lt;/td&gt;&lt;/tr&gt;&lt;tr&gt;&lt;td&gt;13 軽量シャッター&lt;/td&gt;&lt;td&gt;開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.10.2] [表5.10.1] スラット 材質 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) [5.10.3]&lt;/td&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;施工箇所     厚さ (mm)     化粧板の 樹種名     接着の程度     防虫処理     その他の処理       (壁、天井)     ・3.2     ・なら     ・1類     ・する     難燃処理&lt;/td&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;タイルカーペット     [6.9.3,4]       パイル形状     種類     寸法 (mm)     総厚さ (mm)     帯電性     備考       ※ループパイル     ※第一種     ※500×500     ※6.5     ※人体帯電圧3kV&lt;/td&gt;&lt;/tr&gt;&lt;tr&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 [5.9.2] [表5.9.1]&lt;br&gt;危害防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) [5.9.2]&lt;br&gt;一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.9.2]&lt;/td&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;※1類 ※2級 ・ しない&lt;br&gt;・しない&lt;br&gt;天然木化粧合板 [6.13.2]&lt;/td&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;ニードルパンチカーペット     [6.9.3]       厚さ (mm)     ・       帯電性     ※人体帯電圧3kV以下・       備考&lt;/td&gt;&lt;/tr&gt;&lt;tr&gt;&lt;td&gt;&lt;/td&gt;&lt;td&gt;耐風圧性能( ) N&lt;sup&gt;2&lt;/sup&gt;/m        耐風圧性能( ) N&lt;sup&gt;2&lt;/sup&gt;/m       &lt;td rowspan=" td=""><td></td><td></td><td>構造用合板     [6.5.2]       施工箇所     厚さ (mm)     表板の 樹種名     接着の程度     等級     板面の品質     防虫処理       (床)     12.0     ・特類     ・1級     ※C-D     ・する</td><td></td><td>・レベルループパイル     ※4     ・       ・カット、ループ併用     ・       下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm・</td></td>	<td></td> <td></td> <td>構造用合板     [6.5.2]       施工箇所     厚さ (mm)     表板の 樹種名     接着の程度     等級     板面の品質     防虫処理       (床)     12.0     ・特類     ・1級     ※C-D     ・する</td> <td></td> <td>・レベルループパイル     ※4     ・       ・カット、ループ併用     ・       下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm・</td>			構造用合板     [6.5.2]       施工箇所     厚さ (mm)     表板の 樹種名     接着の程度     等級     板面の品質     防虫処理       (床)     12.0     ・特類     ・1級     ※C-D     ・する		・レベルループパイル     ※4     ・       ・カット、ループ併用     ・       下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm・
12 重量シャッター	<ul> <li>製造所標準仕様による         [5.9.2]         シャッターの種類         性能 </li> </ul>			(壁、天井)     ・ラワン     ・1類     ・する     難燃処理       ・しな     ・2類     ・しない     ・防炎処理			タフテッドカーペット     [6.9.3、4] [表6.9.2]       パイル形状     パイル長さ (mm)     工 法     帯電性     備 考       ・カットパイル     ※5~7・     ※全面接着工法     ※人体帯電圧       ・ループパイル     ※4~6・     ・グリッパー工法     3 k V 以下			
	材料 ※ SUS304、アルミニウム製等防錆性能を有するもの [5.8.2]			施工箇所     厚さ (mm)     表板の 樹種名     接着の 程度     板面の品質     防虫処理       (床)     5.5     ※1類 広葉樹・1等 ※2等・する・整燃処理・計算機・次C-D・しない		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""></td>				
	<td blue;"="" color:="" rowspan="2" style="block" td=""  ="" ・ダッナスイッチ<=""><td></td><td>6 床張り用合板及 その他の合板</td><td>普通合板 [6.5.2] [6.13.2]</td><td>12カーペット敷き</td><td>織じゆうたん     [6.9.3] [表6.9.1]       種別パイル形状     織り方     色柄等     帯電性     備考       ・ A種 ・ ユットパイル     ・ A種 ・ ユットパイル     ・ ***・**・**・**・**・**・**・**・**・**・**・**・*</td></td>	<td></td> <td>6 床張り用合板及 その他の合板</td> <td>普通合板 [6.5.2] [6.13.2]</td> <td>12カーペット敷き</td> <td>織じゆうたん     [6.9.3] [表6.9.1]       種別パイル形状     織り方     色柄等     帯電性     備考       ・ A種 ・ ユットパイル     ・ A種 ・ ユットパイル     ・ ***・**・**・**・**・**・**・**・**・**・**・**・*</td>		6 床張り用合板及 その他の合板	普通合板 [6.5.2] [6.13.2]	12カーペット敷き		織じゆうたん     [6.9.3] [表6.9.1]       種別パイル形状     織り方     色柄等     帯電性     備考       ・ A種 ・ ユットパイル     ・ A種 ・ ユットパイル     ・ ***・**・**・**・**・**・**・**・**・**・**・**・*		
	F 7 0 種類     センザーの種類       ※スライデイングドア     ・マットスイッチ     ※光線(反射)スイッチ       種類・SSLD-1・SSLD-2・熟線スイッチ・音波スイッチ・電波スイッチ・スイングドア・タッチスイッチ・押しボタンスイッチ				・企業加工 ・化粧加工しない (・1等・2等・3等)		色柄 ( ) [6.6.2]			
10 自動ドア開閉装置	形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・  [5.7.2.3] [表5.7.1~3]  ドアの種類  センサーの種類			単板積層材 [6.5.2] 施工箇所 表面の品質 防虫処理 寸法 (mm) ※天然木化粧加工 ・する ・ 塗装加工 ・ しない		高さ (mm)				
9 建具用金物	鍵 [5.6.4] マスターキー ※製作する ○製作しない 鍵箱 [5.6.4]			施工箇所 心材の樹種名 樹種名 厚さ (mm) 品質 ※1等・2等		・置敷きだに除汁// ・				
	※新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の裏面は除く) ・鳥の子 建物内部の木製建具に使用する表面材(合板)及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 (16.6.2)			化粧ばり造作用集成材 [6.5.2]		t'=lick\$/ll (軟質)     450×450     - 一耐動荷重       - kf;/=7\ll (=lick\$/ll)     H T     ※無地 300×300     ※2.0     - 帯電防止				
8 木製建具	曲げ加工     ※普通曲げ     ・角出し曲げ(補強あり)     [5.5.5]       かまち戸の樹種     かまち()     鏡板()     )(16.6.2)       ふすまの上張り     (表16.6.3)			造作用集成材     [6.5.2]       施工箇所     樹種名     見付け材面の品質     寸法 (mm)       ※1等・2等		種類   記号 施工箇所   色柄   寸法 (mm)   厚さ (mm)   特殊機能   ・コンポッツョン   CT   ※無地 ・3.00×3.00   ※2.0 ・帯電防止 ・柄物 ・4.50×4.50 ・ ・耐動荷重   ・コンポッツョン   CTS   ※無地 ・3.00×3.00   ※2.0 ・帯電防止				
7 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.3.2] [表5.3.1] 外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による [5.3.2] [表5.2.1] 表面仕上げ ※HL ・鏡面 ・ [5.5.4]			施工箇所 接着性能 曲げ性能 樹種名 寸法 (mm)		(グラスハイパー層入り、ウレタンコーティング)  工法 ※熟溶接工法 ・ 突付け (施工箇所: ) [6.8.3]  ピニル床タイル [6.8.2]				
6 鋼製軽量建具	(5. 3. 2] [表5. 2. 1]         外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による       [5. 3. 2] [表5. 2. 1]         簡易気密型ドアセットの適用は建具表による       [5. 4. 2]			構造用単板積層材 [6.5.2]						

(6) 日本フローリング張り 日本	単層フローリング     [6.11.2~6] [表6.11.1,2]       種類     樹種     厚さ (mm)     (mm)     緩衝材     工法       ・フローリング 直張用     ※なら ※15 長き 500以上     ※合成樹脂 ・接着工法 発泡シート・       ・フローリング 直張用     ※なら ※15 ※303×303 ・ 埋込み工法 発泡シート・       ・モザイク パーケット     直張用・なら・8 ・ ※合成樹脂 接着工法 発泡シート・・       ・ボード     ・ ※ ・ ※ ・ ※ ・ ※ ・ ※ ・ ※ ・ ※ ・ ※ ・ ※ ・ ※	19モルタル塗り	防水剤(防水モルタル塗りの混入剤)       [6.15.3]         放水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。(JIS A 1404による試験)         混合割合       凝結時間       曲げ及び圧縮強度比 吸水比       透水比         セメント重量の5%以下       JIS R 5201の試験8において 始発 1時間以上 終結 10時間以内       95%以下 (294.0 kPaの水圧を1時間かける)         安定性、膨張性のひび割れ及びそりがないこと。(JIS R 5201の試験9)       の水圧を1時間かける)         吸水調整材は、4章外壁改修工事共通事項による。 [6.15.3]       [6.15.3]         康目地 ※適用しない ・適用する においま ※押し目地 ・ り [6.15.6]       [6.15.6]         タイルの種類 (mm)       [6.15.3]         施工箇所 (mm)       形状寸法 うわぐすり 吸水率 耐凍害性 役物 色 適用	2 9 黒板及び ホワイトボード 3 0 表示	種類   寸法 (mm)   色彩   備 考	4 1 流し台ユニット       1         1       1         2       洗面カウンター         4 2       洗面カウンター         4 3 収納家具       お板         4 4 4 鋼製書架及び物品棚         - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Tき (mm) ・約450 ・約600
15畳敷き	仕上げ塗装 ・塗装品 ( ) [6.11.7] ・無塗装品 (・塗装する 施工箇所: ) 種類 ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインのうえワックス塗り ・生地のままワックス塗り	2 1 セルフレベリング 4 塗り 2 2 浴室天井材	・せっこう系(施工箇所及び厚さ ※仕上表による ・図示 ・ ) ・セメント系(施工箇所及び厚さ ※仕上表による ・図示 ・ )  市販品  材質 表面仕上げ 性能 幅 (mm) 備 考	32ロールスクリーン	・操作棒式     ・操作コード     ・80       ・20、20、2、13)       材種     (20、2、13)       材種     操作方式     遮光性能 寸法 (mm)     施工箇所     協力           が表性能         次表し、またより、表し、またより、表し、またより、表し、またより、表し、またより、表し、またまたより、表し、またまたまたまたまた。           が表し、またより、表し、またまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた		の材質 ※アルミニウム製 面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・
床下地材	・改修標仕 表6.5.9による床組       ※ B種       ・         ・ポリスチレンフォーム床下地       ※ C種       ・         畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする         ム A種 (ノンフロンのもの)       厚さ (mm) ※40 ・65 ・80 (不燃)         ローリング類下地       厚さ (mm) ※80 ・95 (不燃)         種類       JISの記号       厚さ (mm) 、規格等	2 3 フリーアクセスフロ	※アルミニウム製     ※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品     準不燃品 ・100     ※200 ・100     回り縁はとい付きとし、製造所 の標準品とする。 ・100       ・硬質塩ビ製     ※塗装品 ・木目調     ※300 ・100     (20.2.2)       施工箇所 ・パネル構法 ・消構法     株 大田の ・1.0G ・1.0	33カーテン	・既存再使用する (養生方法:       ) [2.3.1] [5.1.6]         ・新設する       (20.2.14)         形 式 開閉操作 ひだの種類 施工箇所 備 考         ・シングル ・片引き ・電動 ・フランスひだ ・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ・つまひだ ・手引き ・ブレーンひだ・片ひだ         ・ デリーンびだ・片ひだ		
	・せっこうボード GB-R ・9.5 (準不燃) ※12.5 (不燃) ・シージングせっこうボード GB-S 12.5 (不燃) ・強化せっこうボード GB-F ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃) ・せっこうラスボード GB-L 9.5 ・化粧せっこうボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅440mm程度 模様 (※柾目 ・板目) 専用下地材付き ・不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃)・化粧なし (下地張り用) ・化粧あり (トラパーチン模様) ・けい酸カルシウム板 0.8 FK タイプ2 (無石綿) ・1.0 FK ・6 ・8 ・ ・ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ (※9 (不燃)・12・) ※凹凸タイプ (※12 (不燃)・15・19・)		耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。表面仕上材の品質、性能は、標仕19章による。構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・ スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による ・図示配線用取出しパネルフリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20~30% ・ 1840年20日 ・ 図示配線取出し開口 ※パネル1枚につき40×80(mm)程度の開口1箇所以上 ・図示空調用吹出し(吸込み)パネル ※なし ・あり(※固定式 ・可変式):施工箇所(※図示 ・ )	3 4 カーテンレール 3 5 プラインドボックス 及びカーテンボック			
	・グラスウール吸音ボード 2 号 3 2 K GW - B       ・ 2 5 (ガラスクロス包) ・         ・硬質木毛セメント板       HW       ・ 1 5 ・ 2 0 ・ 2 5 ・         ・普通木毛セメント板       NW       ・ 1 5 ・ 2 0 ・ 2 5 ・         ・硬質木片セメント板       HF       ・ 1 2 ・ 1 5 ・ 1 8 ・ 2 1 ・         ・普通木片セメント板       NF       ・ 3 0 ・         ・単板張りパーティクルボード       ・ 無研磨板 (VN) ・ 研磨板 (VS) ・ 1 0 ・ 1 2 ・ 1 5 ・ 1 8 ・         ・化粧パーティクルボード       ・ 単板オーバーレイ (DV) ・ ブラスチックオーパーレイ (DV) ・ ブラスチックオーパーレイ (DV) ・ 2 装 (DC) ・ 1 0 (難燃) ・ 1 2 (難燃) ・         ・ミディアムデンシティ       MDF       ・ 素地MFD (RS)	2 4 可動間仕切	コンセント等の取付け対応   ※製造所の仕様による (コンセント本体は別途設備工事)	3 7 床点検口	材種     寸法     形式     外枠     内枠       ※アルミニウム製・600×600・密閉形     ・屋内外用・屋内外用・目地タイプ・目地タイプ・目地タイプ・目地タイプ・日本タイプ・日本タ		
	ファイパーボード     ・化粧MDF(・DV・DO・DC)       ・3     ・7     ・9     ・12       ・ハードボード(素地)     HB     ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS)       ・2.5     ・3.5     ・5     ・7       ・ハードボード(化粧)     HB     ・内装用化粧(DI) ・外装用化粧(DE)       ・2.5     ・3.5     ・5     ・7       ・インシュレーションボード     IB     A級二次加工品 (・天井仕上 ・内装仕上 ・ )       ・9     ・12     ・15     ・18       ・メラミン樹脂化粧板     JIS K 6903による厚さ1.2	2 5 移動間仕切	遮音性能     厚さ (mm)     表面材     表面仕上げ     操作方法       ・一般タイプ     ※鋼板     ・焼付け塗装     ・手動式     ・電動式       ・遮音タイプ     ※鋼板     ・焼付け塗装     ・手動式     ・電動式       (3 6 d b以上)     ・壁紙張り     ・部分電動式       表面仕上げの壁紙張りの品質は18壁紙張りによる。     遮音性能はJIS A 6512の遮音性試験に準拠する。	38防煙垂れ壁	・鋳鉄製       ・固定式       材質     厚さ (mm)     高さ (mm)     備 考       ※網入り磨き板ガラス     ※6.8     ※500     アルミ製枠付き       ・線入り磨き板ガラス     ・     ・       ・可動式     積 類		
	ペーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2] ※規制対象外 ・第三種 [6.13.2] ※適用する ・適用しない (6.13.3] [表6.13.3] (表6.13.3] (表6.13.3] (表6.13.3] (表6.13.3] (表6.13.3] [表6.13.3] [表6.13.3] (表6.13.3] [表6.13.3] [表6.13.3] [表6.13.3] [表6.13.3] [表6.13.3]	2 7 階段滑り止め	表面付上げ材     (20.2.5)       表面材の材質     脚部     ドアエッジ       形状     材質     形状     材質       ・メラミン樹脂系化粧板・支柱・ステンレス製・なし・ステンレス製・なし・なし・なし・なし・なし・オリエステル樹脂系化粧板・支柱・なし・表面材と同材・なし・表面材と同材     (20.2.6)	3 9 視覚障害者用床タイ (誘導用及び 注意喚起用床材	施工箇所 種 類 寸法(mm) 厚さ(mm)		
	無 (織物)(ビニル)(化学繊維 無機質 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 8 階段手すり	・ステンレス製(SUS304)       ・約35       ※接着工法       ※あり(※ビニル製・ステンレス製)・なし         材種       表面仕上げ       直径(mm)       取付箇所         ※集成材       ※クリヤラッカー・・60・45       ・ステンレスパイプ・HL・・鋼製パイプ・EP-G・・ビニル製		E内		
MEMO	せっこうボード面 ・RA種 ・RB種 (施工箇所:	)	当 当 当 当 当 当 当 に 中学校屋内運動場大規模改造工事(建 「 は に に に に に に に に に に に に に				
			DRAWNING 建築改修工事特記仕様書 4	.E No	A - 0 4		

7 ① 付料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3] 8 ※規制対象外 ・第三種	①適用範囲	・鉄骨ブレースの設置工事	① あと施エアンカー	材料等 (8.2.4] ①金属系アンカー	6 高い強度のコンクリート	設計基準強度Fc(N/mm²) 適用箇所	
· 放改 · 徐 · I · · · · · · · · · · · · · · · ·	建物内部に使用する塗料の材質 ・水性系 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 [7.1.3] ・次の箇所を除き防火材料とする。 (施工箇所: ) 料		・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・柱補強工事(銅板巻き工法又は帯板巻き工法) ・柱補強工事(連続繊維補強工法) ・耐震スリット新設工事		セット方式 ※本体打込み式 引張耐力 ※図示 せん断耐力 ※図示 接合筋の種類、径、長さ ※図示		- 27	
2 下地調整	既存塗膜の除去範囲(塗替えでRB種の場合) [7.2.1] [表7.2.1~7] ※塗替え面積の30% ・図示		・免震改修工事 日 ・制振改修工事 日		性能確認試験・実施する(試験方法及び試験数 ※図示)・実施しない  ①接着系アンカー アンカーの種類 ※カプセル型	7 断熱材兼用型枠	※高性能 A E 減水剤標準形又は遅延形 ・	
	下地調整の種別等     [7.2.2~7] [表7.2.1~7]       下地調整の種別     ひび割れ部の補修       木部     ※RB種・RA種・RB種・RA種       鉄鋼面     ※RB種・RA種       亜鉛めっき鋼面(鋼製建具を除く)     ※RB種・RA種		工事種別 ・施工調査(施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修) ・撤去工事(設備機器配管及び仕上げの取壊し・撤去(下地の一部又はすべてを 含む)、構造体のはつり) ・鉄筋工事 ・あと施エアンカーエ事 ・コンクリートエ事		引張耐力 ※図示せん断耐力 ※図示接着剤の品質 ※有機系・無機系アンカー筋の種類 ※改修標仕表8.2.1の異形棒鋼 ・全ねじボルト性能確認試験 ・実施する(試験方法及び試験数 ※図示) ・実施しない		種 類 施工箇所 厚さ (mm) 品質等 - 断熱材兼用型枠・木質系 - コンクリート系 - プラスチック系 - 製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の	
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)       ※RB種・       RC種         モルタル面、プラスター面       ※RB種・       ・RA種・RB種・       ・行う         コンクリート面、A L Cパネル面 (2-UE,2-ASE,2-FUEは除く)       ※RB種・       ・RA種・RB種・       ・行う         ロンクリート面、押出成形セメント板面・       ・RA種・RB種・       ・行う		<ul> <li>・鉄骨工事</li> <li>・グラウト工事</li> <li>・連続繊維補強工事</li> <li>・スリット新設工事</li> <li>・免震改修工事</li> </ul>	2 穿孔前の埋込み配管 等の探査	※あと施工アンカー施工部分すべて ・図示 探査方法 ※鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う	8 コンクリートの 打込み工法等	開発」において、評価を取得したもの    部位ごとのコンクリート打込み工法の指定	
	(2-UE,2-ASE,2-FUEO場合)       せっこうボード面、その他ボード面 ※RB種・ RB種・ RB種・		・制振改修工事・その他工事		・はつり出しによる		コンクリート ・ 流し込みI法 [8.19.8(a)(1)及び(b)] ・すべての増設壁 ・図示・ 壁の増設工事 ・ E 入I法 [8.19.8(a)(2)及び(c)] ・ すべての増設壁 ・図示・ ・ 図示・	
3 錦止め塗料塗り	新止め塗料塗りの種別等 [7.3.2,3] [表7.3.1~4]   塗装面   塗料種別   工程種別   備 考	①既存部分の撤去等	撤去範囲 [8. 19. 2] [8. 20. 2] [8. 21. 2] [8. 22. 2] [8. 23. 3] ※図示 ・	3 施工確認試験	試験の適用 [8.11.5] ※実施する(試験方法 ※引張試験 ・ ) 確認強度 ※図示・・実施しない		鉄筋コンクリ       ※工法指定なし       ・すべての増設柱 ・図示・         一ト柱の溶接       ・流し込み工法 [8. 19. 8 (a) (1) 及び(b)] ・すべての増設柱 ・図示・         金網巻き及び       ・圧入工法 [8. 19. 8 (a) (2) 及び(c)] ・すべての増設柱 ・図示・         溶接閉鎖フープ巻き工法       ・図示・	
	亜鉛めっき鋼面     塗替え     ※ A種 ・B種		既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 ※図示 - [8. 19. 2] [8. 20. 2] [8. 21. 2] [8. 22. 2] [8. 23. 3] はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 [8. 19. 2] [8. 20. 2] [8. 21. 2] [8. 22. 2] [8. 23. 3] ※露出部分は、錆止め塗料塗りを行う -		種類 ※金属拡張系あと施工アンカーの異形差筋アンカー [8.2.4] [8.3.7] ・		鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等 [8.21.5] 柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ※発泡プラスチック保温材等を埋め込む	
4 塗装	2-FUEは除く   [7.4.1~7.16.2] [表7.4.1~7.16.1]   塗装の種類   塗替え   新 規	2 既存部分の処理	既存コンクリート面の目荒し [8.19.3] [8.20.3] [8.21.3] 適用範囲 ※既存コンクリートとの打継ぎ面 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面・ (-)4	5 型枠工事 1	間隔 (mm) ※500×500 [8.7.9] シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい ・兼用しない レディーミクストコンクリートの類別 ※ I 類 ・ II 類 [8.1.3]		柱頭柱脚の隙間寸法 ※図示・ 既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ ※図示	
	・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)       木部       ※B種・ ※A種・ ・ ※B種・ ・ ・ ※B種・ ・ ・ ※B種・ ・ ・ ・ ※B種・ ・ ・ ・ ※B種・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		目荒しの範囲       ・柱、梁面 打継ぎ面又は接合面全面の15~30%程度         ・壁 打継ぎ面又は接合面全面の10~15%程度       ・         ・目荒しの程度       こ	及び強度	普通コンクリートの設計基準強度     [8.1.3]       設計基準強度Fc(N/mm²)     適用箇所       少21     ・	5 1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5] ※建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた	
	・クリヤラッカー塗り(C L)     木部     ・A種 ※B種 ・A種 ※B種       ・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)     屋内木部     ※B種 ・ ・A種 ・B種       屋内鉄鋼面     ※B種 ・ ・A種 ・B種       屋内亜鉛めっき鋼面     ※B種 ・ ・A種 ・B種       ・アクリル樹脂系水分散系塗料 塗り(NAD)     屋内モルタル面     ※B種 ・A種 ※B種 ・A種	(1) et ex	<ul><li>※平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹面を、全体にわたってつける。</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>・&lt;</li></ul>		軽量コンクリートの設計基準強度等     [8.1.3] [8.10.1] [8.10.3]       設計基準強度Fc(N/mm²)     気乾単位容積質量(t/m³)     種 別 適用箇所       ・1種・2種     ・1種・2種       ・1種・2種	2 入熱、パス間温度 溶接条件	ある工場 ・監督職員の承諾する工場 の鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※鉄骨溶接基準図による ・ 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部	
	・アクリル樹脂エナメル塗り     屋外コンクリート面     ※B種・・A種・B種・B種・・A種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種・B種	( ) so su	種類の記号 呼び名 (mm)  (SD295A ※D16以下・ (SD345 ※D19以上・ ・	2 コンクリートの品質	スランプ     [8. 1. 4]       スランブ (cm)     適用箇所       ※18	3 施工管理技術者	・図示(	
	E 外押出成形セメント板面・A種 ・B種 ・A種 ・B種 ・ A種 ・B種 ・アクリルシリコン樹脂エナメ   屋外鉄鋼面 ※ B種 A種   屋外亜鉛めっき鋼面 ※ B種 A種   屋外コンクリート面 ※ B種 ・A種   屋外押出成形セメント板面 ※ B種 ・ A種   屋外押出成形セメント板面 ※ B種 ・ A種   B種 ・ A種   B種 ・ A種   BM ・ AM   AM   BM   AM   AM   BM   AM   BM   AM   A	2 溶接金網	網目の形状、寸法等 [8.2.2] 網目の形状、寸法(縦×横) (mm) 鉄線の径又は呼び名 (mm) 規格 ※100×100 ※6.0 JIS G 3551による		コンクリートの仕上り 部材の位置及び断面寸法の許容差 [8.1.4] [表8.1.2] ※改修標仕表8.1.2による ・ (適用箇所: )		種類の記号 適用箇所 規格等 SS400 ブレース等 ※JISによる・ ※JISによる・ ※JISによる・ ※JISによる・ ※JISによる・	
	- 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメ 屋外鉄鋼面 - A種	3 鉄筋の継手及び定着	継手方法等     [8.3.4] [8.4.2,3]       部位     継手方法     呼び名 (mm)       柱、梁の主筋     ※ガス圧接・機械式継手       その他の鉄筋()     )※重ね継手・		合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ     [8.1.4] [表8.1.3]       種別     適用箇所       ・A種       ・B種       ・C種	5 高カボルト	ボルトの区分 [8.2.8] ※トルシア形高カボルト ・JIS形高カボルト ボルトの経端距離、ボルト間隔、ゲージ等	
	ペイント塗り(EP-G)       屋内鉄鋼面       ※B種 ・ ・A種 ・B種 ・ ・B種 ・ ・A種 ・B種 ・ ・B種 ・ ・A種 ・B種 ・ ・A 種 ・B 種 ・ ・B種 ・ ・A 種 ・B 種 ・ ・B 種 B 種 ・ ・B 種 ・ B 種 B ■ ・ B ■ B ■ B ■ B ■ B ■ B ■ B ■ B ■ B		鉄筋の重ね継手の長さ[8.3.4]※鉄筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)・鉄筋の定着長さ[8.3.4]		仕上りの平たんさ [8.1.4] [表8.1.4] ※改修標仕表8.1.4による (適用箇所: )	6 溶融亜鉛めっき	※ (別2-1.1~1.3)による ・ すべり係数試験 [8.13.2] ※行わない ・行う (試験方法等: ) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等	
	その他ボード面       その他ボード面       ※ B種 ・ A種 ・ B種 ・ B種 ・ A種 ・ B種 ・ B種 ・ A種 ・ B種 ・ B		<ul><li>※鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)</li><li>・</li><li>・</li><li>・</li><li>W-I形・W-I形・W-II形・W-II形・</li></ul>	3 コンクリートの材料	セメント [8.2.5] [表8.2.3] セメントの種類 適用箇所 ※普通ポルトランドセメント 又は混合セメントの A種	高カボルト	<ul> <li>※(別2-1.1~1.3)による・</li> <li>摩擦面の処理 (7.12.4)</li> <li>※ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)・りん酸塩処理</li> <li>すべり耐力等の確認方法 ※すべり耐力試験方法等・図示</li> </ul>	
	・合成樹脂エマルション模様塗 程度内のコンクリート下地面・モルタル面調整プラスター面・せつ RA種 ※ B種 ・A種 ・B種 RC種 C-3種 ・A種 ・B種 RC種 C-3種 ・A種 ・B種	4 鉄筋のかぶり厚さ	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。 [8.3.5] [表8.3.6] ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 施工箇所 改修標仕表8.3.6の値に加える寸法(mm) ・柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打放し面 ※10		・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定のほか、水和熱が7日目で325J/g以下、かつ、28日目で402J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。	7 普通ボルト 8 アンカーボルト		
	<td <="" color="1" rowspan="2" style="block" th=""><th>5 壁の配筋</th><th>・</th><th></th><th>骨材       [8.2.5]         細骨材及び混合細骨材       使用部位(         ・フェロニッケルスラグ細骨材       使用部位(         ・銅スラグ細骨材       使用部位(</th><th></th><th>・構造用 (※図示 ・ ) ・建方用 (・A種 ※B種 ・C種 )  柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 ・B種</th></td>	<th>5 壁の配筋</th> <th>・</th> <th></th> <th>骨材       [8.2.5]         細骨材及び混合細骨材       使用部位(         ・フェロニッケルスラグ細骨材       使用部位(         ・銅スラグ細骨材       使用部位(</th> <th></th> <th>・構造用 (※図示 ・ ) ・建方用 (・A種 ※B種 ・C種 )  柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 ・B種</th>	5 壁の配筋	・		骨材       [8.2.5]         細骨材及び混合細骨材       使用部位(         ・フェロニッケルスラグ細骨材       使用部位(         ・銅スラグ細骨材       使用部位(		・構造用 (※図示 ・ ) ・建方用 (・A種 ※B種 ・C種 )  柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 ・B種
	A L C パネル面   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・		6 壁開口部の補強 7 ガス圧接	壁配筋の定着長さ       ※図示       [8.3.7]         耐震壁の開口部補強       ※図示・ [8.3.8] [表8.3.8] [図8.3.7]         圧接部の確認試験       ※超音波探傷試験・引張試験       [8.3.9]		・電気炉酸化スラグ細骨材 使用部位( ) 砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B 砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B 混和材料 [8.2.5] [8.5.8] 種類 ※混和剤 ・混和材	9 鉄骨工作仮組10 溶接接合	・行う ※行わない [8.12.9] 開先の形状 ※鉄骨溶接基準図による ・
		8 既存構造体との取合い	割裂補強筋     [8.19.6] [8.20.7]       種類     材料     材質     径     本数ピッチ等     適用箇所       ※スパイラル筋     ※鉄筋コンクリ ※SR235 ※φ6 スパイラルの径 (mm)     ※図示       ・ φ9 ( )     スパイラルのピッチ (mm)     ・		混和材料の使用量 ※改修標仕8.5.8 (a)、(b)、(c)による ・ コンクリート強度の気温による補正値 [8.5.5] ・ 室内の工事における温度補正 ・ 行う ・ 行わない  設計基準強度等 (6.14.1~3)	11スタッド	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う ・行わない [8.14.11] 放射線透過試験 ※行わない ・行う [8.14.11] マクロ試験 (エンドタブ使用) ※行わない ・行う [8.14.11] 呼び名等	
			<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td>- man - 2 / 7 - F</td><td>  接触</td><td>(頭付きスタッド JIS B 1198) 12 錆止め塗装</td><td></td></td>	<td>- man - 2 / 7 - F</td> <td>  接触</td> <td>(頭付きスタッド JIS B 1198) 12 錆止め塗装</td> <td></td>	- man - 2 / 7 - F	接触	(頭付きスタッド JIS B 1198) 12 錆止め塗装	
						※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 (捨コンクリート)	- 八 - 平 4	・行う (※JIS K 5622・ ) ※行わない
МЕМО			崇広中学校屋内運動場大規模改造工事(到		No.			
			建築改修工事特記仕様書 5		A - 0 5			

			1		
8 — 5 13 耐火被覆	種別等     [8. 17. 2~7]     8 - 8       ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール     ・半乾式吹付けロックウール	8 1 スリットの施工 既存撤去部の配管等の探査 [8.22.2] ※鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる スリットの幅及び深さ ※図示 [8.22.2]	2 外断熱改修工事	断熱材の種類     [9. 3. 2]       種類     発泡剤の	7 PCB含有シーリング ・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判定する 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 ※図示
<del>- 1001</del>	- 湿式吹付けロックウール - ・耐火板張り - 耐火材巻付け			<ul> <li>・押出法ポリスチレンフォーム保温材</li> <li>・</li></ul>	・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析個数 計 箇所
	- ・ 同次付を付け - ・ ラス張りモルタル塗り - ・ 日			・ ロックワール ・	・除去処理工事
	耐火被覆面への錆止め塗装 ・行わない ・行う (適用箇所: )			外装材の種類     [9.3.2]       種類     防火性能       ・     ・	除去範囲 ※図示 ・ 撤去方法 ・「標準施工要領書」(日本シーリング工事業共同組合連合会・日本シーリング 材工業会)による
8-6 1 モルタル及び グラウト材	構造体用モルタル [8. 2. 10] [8. 5. 10] ※ [8. 2. 10] 及び [8. 5. 10] による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 アスベスト含有建材の 分析によるアスベスト含有の調査 [9.1.1] ・ 行う (採取箇所 ※図示) ・ 事前調査済		既存外壁の仕上村の撤去 ・あり ・なし [9.3.3]	
グリウ	柱底均しモルタル     [8. 2. 10]       ※無収縮モルタル     門	調査方法 材料名 調査方法 (1材料当たりの試料数)		下地面の清掃及び下地調整       ※断熱材製造所の指定する仕様       [9.3.3,4]         通気層       ・あり( mm) ・なし       [9.3.4]         試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。       [9.3.4]	
ー 日 日 <del>期</del>	グラウト材 [8.2.10] <b>分</b> ※無収縮グラウト材(セメント、混和材、砂は無収縮モルタルに準ずる) <b>分 ふ</b>			特記なき事項は、製造所の仕様による。	
	無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は次による 無収縮モルタルの材料及び調合	分析方法	3 ガラス改修工事	復層ガラスの厚さ 建具表による [9.4.2] 複層ガラスの断熱性・日射遮へい性による区分 ※U3-1 ・U3-2 [9.4.2]	
	混和材 セメント系 (酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの) とする。	※JIS A 1481 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法)による ・	4 断熱・防露改修工事	断熱材の種類 [9.5.2,3] 発泡剤の 厚さ (1.5.2.3)	
	セメント JIS R 5210 (ポルトランドセメント) による普通又は早強ポルトランド セメントとする。	分析結果については、監督職員に報告すること 報告書の様式		種類 種類 施工箇所	
	砂       (社) 土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。         配合比       (各重量比) (セメント+混和材):砂=1:1	・ (社) 日本作業環境測定協会発行「石綿分析結果報告書」 ・ ・		フォーム保温材       ・押出法ポリスチレン     ・保温板2種b     A種     ※25     ※一般部	
	無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8.2.8] コンシステンシー Jロートによる流下時間	アスペスト粉じん濃度測定 ・行う (測定箇所 ※図示)		打込み     フォーム保温材       工法     ・保温板3種b       ※25     ・接地部分	
	練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒         ブリーディング 練混ぜ 2時間後のブリーディング率 2.0%以下	測定時期、場所及び測定点数		(スキン層付き) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	凝結時間     凝結開始時間     1時間以上       終結時間     10時間以内	名称		保温材 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	無収縮性 材齢 7日 収縮しないこと  圧縮強度 材齢 3日 25.0 N/mm <sup>2</sup> 以上  材齢 28日 45.0 N/mm <sup>2</sup> 以上	・ 測定2     処理作業前 施工区画周辺 又は敷地境界       ・ 測定3     処理作業室内		現場発     フォーム       泡工法     有するもの   **15 ・一般部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	付着強度 材能 28日 3.0 N/mm <sup>2</sup> 以上 塩化物量 0.30kg √m 以上		5 屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料 [9.6.1,2]	
	試験方法 (1) 日本道路公団規格JHS 312-1999 (無収縮モルタル品質管理試験方法) による。	・ 測定5     処理作業中     負圧・除じん装置の排出     各1点     除じん装置       ロ (処理作業室外の場合)     の性能確認		・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※図示	
	(2) 塩化物量は、JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) の9.6 塩化物合有量の試験方法による。	- 測定 6 施工区画周辺 4 方向各 1 点 又は敷地境界 4 方向各 1 点		工法     [9.6.3]       かん水装置     ・設置する(工事区分は図示による)	
	<ul><li> ・ 無収縮グラウト材の材料(プレミックス及び現場調合形)</li><li> ・ 混和材 セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によっ)</li></ul>	・ 測定 7     処理作業後     処理作業室内     各()点       ・ 測定 8     (隔離シート 撤工区画周辺 又は敷地境界	6 透水性アスファルト	既存保護層の撤去 ・行う 路床の構成及び厚さ [9.7.3]	
	で膨張する性質を利用するもの)とする。  セメント JIS R 5210 (ポルトランドセメント) による普通又は早強ポルトラン	(1) 施工区画とは、処理作業室、セキュリティーゾーン、廃棄物置場、資材置場等を 含む本処理工事に直接又は間接的に係る区画、施工区画周辺とは、その区画境界の	舗装改修工事	・遮断層 厚さ (mm) ※150・ ・凍上抑制層 厚さ (mm) ※150・	
	ドセメントとする。  (社) 土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するも	前後 1 m以内の範囲をいう。 (2) 処理作業室の面積が 5 0 m 以下の場合は 2 点、3 0 0 m <sup>*</sup> までは 3 点とする。 3 0 0 m <sup>*</sup> を		・フィルター層 厚さ (mm) 車道部 ※150 ・ 歩道部 ※ 50 ・	
	ので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。	超えるような場合は、監督職員と協議する。		路床安定処理 ※添加材料による安定処理	
	無収縮グラウト材の品質及び試験方法 (現場調合形においては標準使用量・配合値) コンシステンシー	測定方法  JIS K 3850-1 (空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微		添加材料の種類	
	練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒   ブリーディング   練混ぜ2時間後のブリーディング率 2.0%以下   凝結開始時間 1時間以上	鏡法)による。 種類 ※位相差顕微鏡法		・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( )	
	終結時間     1 0時間以内       無収縮性     材齢 7日 収縮しないこと	試料採取フィルターを二分割し、一方を位相差顕微鏡法用として使用し、他 方はその結果が高い場合(10本/L以上)に行う位相差・分散顕微鏡法用に		・消石灰( ) 添加量 ( )kg/m <sup>3</sup> (目標CBR ※5以上 ・ )	
	圧縮強度         材齢 3日 20.0 N/mm²以上           材齢 28日 40.0 N/mm²以上	保存しておく。 ・位相差、分散顕微鏡法		・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m <sup>i</sup> 以上	
	付着強度   材齢 28日 2.5 N/mm <sup>1</sup> 以上	測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。		厚さ (mm) 0.5~1.0 引強さ 98N/5cm (10kgf/5cm)以上 透水保数 1.5×10cm/sec以上	
	試験方法 (1) 日本道路公団規格JHS 312-1999(無収縮モルタル品質管理試験 方法)による。 なお、プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレ	測定3		盛土の種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	
	ミックス形のみ試験を行う。 (2) 塩化物量は、JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) の	直径 (mm)     25     25     47       試料の吸引流量 (L/分)     1     5     10		連断層及び凍上抑制層の材料 ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂・	
	9. 6塩化物含有量の試験方法による。	試料の吸引時間     (分)     5     120     240       計数視野数     50     50     50		厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・切込砂利 ・砂	
8 - 7 1 連続繊維補強工	法 連続繊維補強工法 [8.21.7] ・「連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の	定量限界 (本/L)   50   0.5   0.3   測定記録項目		厚さは図示 発生土の処理 ※構外搬出適切処理 ・構内指定場所に敷均し	
続繊維	耐震改修設計・施工指針」((財)日本建築防災協会発行)の第4章 [補強工事の施工]による工法又は同等の性能を有する工法 ・(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法	(1) 除去するアスペスト含有建材の種類 (2) 測定点の位置の図面		<ul><li>・構内指定場所に堆積</li><li>・構内指定場所に処分(搬出調査等を監督職員に提出する)</li></ul>	
当   		(3) 測定日時、天候、気流 (4) 試料採取条件		路床土の支持力比 (CBR) 試験 ※行う・行わない 路床の絞固め度試験 ※行う・行わない	
₩ <u></u>	・炭素繊維 ・アラミド繊維 ・ガラス繊維 ・ 連続繊維の材質 [8. 2. 11]	(5) 標本作製方法 (6) 使用顕微鏡の種類 (開口数を含む)		砂の粒度試験       ※行う ・行わない         路盤材料 ・再生クラッシャラン       [9.7.4]	
	引張強度(含浸硬化後) ・ ( ) N / mm <sup>1</sup> ・ ヤング係数(含浸硬化後) ・ ( ) N / mm <sup>1</sup> ・ 繊維目付け量 ・ ( ) g / m <sup>1</sup> ・	(7) 計数条件(HSEテストスライドの読取りグループ番号を含む) (8) 繊維数濃度(位相差顕微鏡法の場合は総繊維数濃度、位相差・分散顕微鏡法の場合はアスペスト繊維数濃度)		・クラッシャラン鉄鋼スラグ・・	
	**(     ) g / m       シート厚さ     *(     ) mm       ・     *(     ) mm	(9) 定量限界 (10) その他		路盤厚さ (mm) 車道部 ※150 ・ 歩道部 ※100 ・	
	定着方法 ※図示 含浸接着樹脂 ・低臭型 ・	アスペスト含有吹付け材の除去 (レベル 1) ・行う [9. 1. 3]		路盤の締固め度試験 ※行う ・行わない	
	プライマー ・低臭型 ・ 下地処理 [8.21.7]	除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標仕9.1.3(b)(1)(i)~(iv)による・		舗装材料及び厚さ [9.7.5,6] 車道部 ※改質アスファルトI型 厚さ (mm) ※50 ・ 歩道部 ※ストレートアスファルト 厚さ (mm) ※30 ・	
	仕上げモルタルの除去 ※行う ・行わない 下地処理の範囲 ※図示	除去したアスペスト含有吹付け材等の処理 ※密封処理(二重袋梱包) ・セメント固化		透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※行う ・行わない [9.7.9]	
	下地処理の程度 ※図示 柱の隅角部の面取り 箇所 ※図示	除去対象範囲 ※図示 作業場の隔離 ・行う ・行わない			
	大きさ ※図示 下地調整 ※行う ・ [8. 21. 7]	アスベスト含有保温材等の除去 (レベル2) ・行う [9. 1. 4]			
	ひび割れ部改修     ・行う     ・行わない     [8. 21. 7]       種類及び部位     ※図示	除去対象範囲 ※図示			
	引張強度試験     ・行う ・行わない     [8.21.7]       試験数量     ※図示       付着強度試験     ・行う ・行わない     [8.21.7]	アスペスト含有成形板の除去 (レベル3)       ・)行う       [9. 1. 5]         ・ 除去箇所 1階 玄関天井、 既設 女子便所、男子便所 天井			
	刊着独良武装 177 177 177 177 188 188 188 188 188 188				
МЕМО			建築主体工事)		
		DRAINNING 建築改修工事特記仕様書 6	CALE N	A — 0 6	
				I	



外部仕上げ表

					屋根東側落下防止ネット 新設				
E +0	改修後	西側ポーチ屋根:アスファルト防水層 新設 改修ドレイン 1箇所新設	<b>△</b> ₩	改修後	防球ネット 糸太さ 2.7mm マス目 37.5mm H=1.000 L=28.800	<b>;</b> ⇔ 1+	改修後	南側.	入り口屋根鉄骨部 見え掛かり 下地処理後 SOP塗り替え (2か所)
屋 根	<b>TO YO</b>	西側ポーチ屋根:アスファルト防水層 撤去	金物		7レ-ム構成部材 L-50×50×6 @1800	塗り装	*D.VD		
	現況	耐震補強工事(大屋根)にて 改修済み		現況			現況	南側.	入り口屋根鉄骨部 見え掛かり SOP塗 既設塗膜撤去 (2か所)
		劣化部調査、高圧水洗い洗浄、下地調整 C - 1			アルミサッシ カバー工法 一部 撤去工法		現況	改修後	タテ樋 VPΦ75 掴み金物共 新設 西側 4 東側 3 計 7 本
<b>Ы</b> ₽±	改修後	複層塗材RE 外部階段下物入 外壁(RC壁厚100)新設 アルミ扉 1箇所新設	74. 🖯	改修後	内部建具 一部新設(建具図ニヨル )	7 0 14	56,75	現況	既設タテ樋 VUΦ90 掴み金物共 撤去 西側 4 東側 3 計 7 本
外壁		モルタル下地 外装薄塗材 E吹付け	建 具		アルミサッシ	その他	現況	改修後	
	現況	外部階段下物入 外壁(木下地共)撤去 既設 アルミ戸 1箇所共 撤去		現況	内部建具 一部新設(建具図ニヨル )		- 現沈	現況	

## 内部仕上げ表 1

室名		床	巾木		堂	F= 1.1	3A-14	天 井		主   7月/月   三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	備 考
				高さ 塗装		厚さ	塗装		1 1	支   廻縁   天井高 <sup>室名札</sup> <sub>B</sub> (	X X
c	改 仕上 テラゾブロック貼り <sup>野</sup> 修	状のママ 一部モルタル補修 	二丁掛タイル貼り 現状のマ	₹	二丁掛タイル貼り 現状のママ			化粧PB 新設	9.5		
玄関ホール	後 下地 モルタル下地							LGS下地 新設			
	現 仕上 テラゾブロック貼り		二丁掛タイル貼り 現状のマ	マ	二丁掛タイル貼り 現状のママ			ゾラコートゴージャス 撤去 (※アスベスト除去	レベル3)		
	ア地 モルタル下地							木製下地 撤去	6. 0		
Ī	改 仕上 長尺弾性塩ビシート床材則	;り 厚7.5mm以上		SOP	有孔ベニア 厚9.0 全面新設	9. 0	SOP			7730	コートライン引き バスケットゴール 調整
1	後 下地 既存下地処理				木下地 現状のママ			耐震補強工事にて 改修済み		/ / 3 0	(体育器具内容については別紙参照)
体育室	・ 仕上 デックスオデックス仕上			100 SOP	有孔ベニア 厚9.0 全面撤去	9. 0					
3	ア地 モルタル金コテ		ラワン 厚21		木下地 現状のママ						
ī	改 仕上 既設床面サンダー掛け U	C塗装3回塗り 框含む			コペンハーゲンリブ 現状のママ 塗装 塗替		SOP	フジ棚 現状のママ			緞帳 取り替え 操作装置調整一部新設
1	修									5 5 0 0	椅子台車正面 塗装 (
ステージ	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	現状のママ		100	コペンハーゲンリブ 現状のママ			フジ棚 現状のママ			The state of the s
I	現 下地 木床組み		ラワン 厚18							$\dashv$ $\mid$ $\mid$ $\mid$	
		現状のママ	コンクリート打放し 現状のマ	7 7	コンクリート打放し 現状のママ			現状のママ			
1	改   仕上   モルタル金コテ仕上 修				一部ベニア厚6. 0現状のママ					2835	入口建具 塗装塗替
体育用具室	サト モルタル会コテ仕ト	現状のママ	コンクリート打放し 現状のマ	7 7 1 0 0	コンクリート打放し 現状のママ			直天(2階床材表し)			
(IBB)	現	36000	ラワン 厚18		一部ベニア厚6.0現状のママ			現状のママ		_	
		<b>現状のファ</b>	),,,, H. (		コンクリート打放し 現状のママ			STAVA			
1.4	改   仕上   デックスオデックス仕上 修	<b>気水のくく</b>			一部ベニア厚6. 0現状のママ	+ +				2 4 0 0	入口建具 塗装塗替
非常用通路 🕂		THUL OF THE									
	現 仕上 デックスオデックス仕上	現状のママーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		100	コンクリート打放し 現状のママ			大平板 目透かし ラフトン吹付 現状のママ		_	
	ト地 モルダル金コテ		ラワン 厚18		一部ベニア厚6. 0現状のママ			木下地 現状のママ			
1	改 仕上 修				コペンハーゲンリブ 現状のママ 塗装 塗替		ΕP	ロックウール吸音板 一部 新設		2 4 0 0	入口建具 塗装塗替
放送室 │ <sup>{</sup>	後一下地							木下地 現状のママ			
Į	仕上 Pタイル貼り			1 0 0	コペンハーゲンリブ 現状のママ			ロックウール吸音板 一部撤去			
	ア地 モルタル金コテ		ラワン 厚18					木下地 現状のママ			
	改 仕上 モルタル金コテ仕上	現状のママ						フレキシブルボードー部新設 内部用ラフトン吹付	6. 0	2400	│ │ │ 入口建具 塗装塗替
	後一下地							木下地 現状のママ (穴 復旧)		2400	八日在六 至衣至日
1年 王   1	現 仕上 モルタル金コテ仕上	現状のママ			プリント合板 現状のママ			大平板貼り ラフトン吹付 一部撤去	6. 0		
1	元 下地		ラワン 厚18		木下地 現状のママ			木下地 現状のママ			
	改 仕上 磁器質100角タイル貼り	新設	半磁器質100角タイル貼り 新設		半磁器質100角タイル貼 新設			化粧PB 新設	9.5		トイレスクリーン新設
1	修	リート、砕石 新設						LGS下地 新設		塩ビ   2400   ○	入口建具、アルミサッシ(カバー工法) 設備壁面台 新設
女子トイレ -	は上 磁器質モザイクタイル貼	全面撤去	75角タイル貼り 撤去		75角タイル貼り 撤去			大平板貼り ラフトン吹付 撤去	6. 0		既設トイレスクリーン、サッシ(障子の
	現 <sup>況</sup>   下地   モルタル下地 土間共撤記	<u> </u>						木下地 撤去 (※アスベスト除去レベル3)		2 4 0 0	入口建具 撤去
	改 仕上 磁器質100角タイル貼り	—————————————————————————————————————	半磁器質100角タイル貼り 新設					   化粧PB 新設	9.5		トイレスクリーン 新設
1	後 下地 モルタル下地、土間コンク		77114					LGS下地 新設		― 塩ビ 2400	入口建具、アルミサッシ(カバー工法) 設備壁面台 新設
男子トイレ ―			75角タイル貼り 撤去		 			大平板貼り ラフトン吹付 撤去	6. 0		既設トイレスクリーン、サッシ(障子の
Į	現     一       IR     下地       Th     モルタル下地       上間共撤去		/ リカティル知り 一 版本		/ 5 円 2 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1			大千板船り フフトン吹り 撤去 木下地 撤去 (※アスベスト除去レベル3)		2 4 0 0	入口建具 撤去

(注記:緞帳、カーテンについては別紙参照)

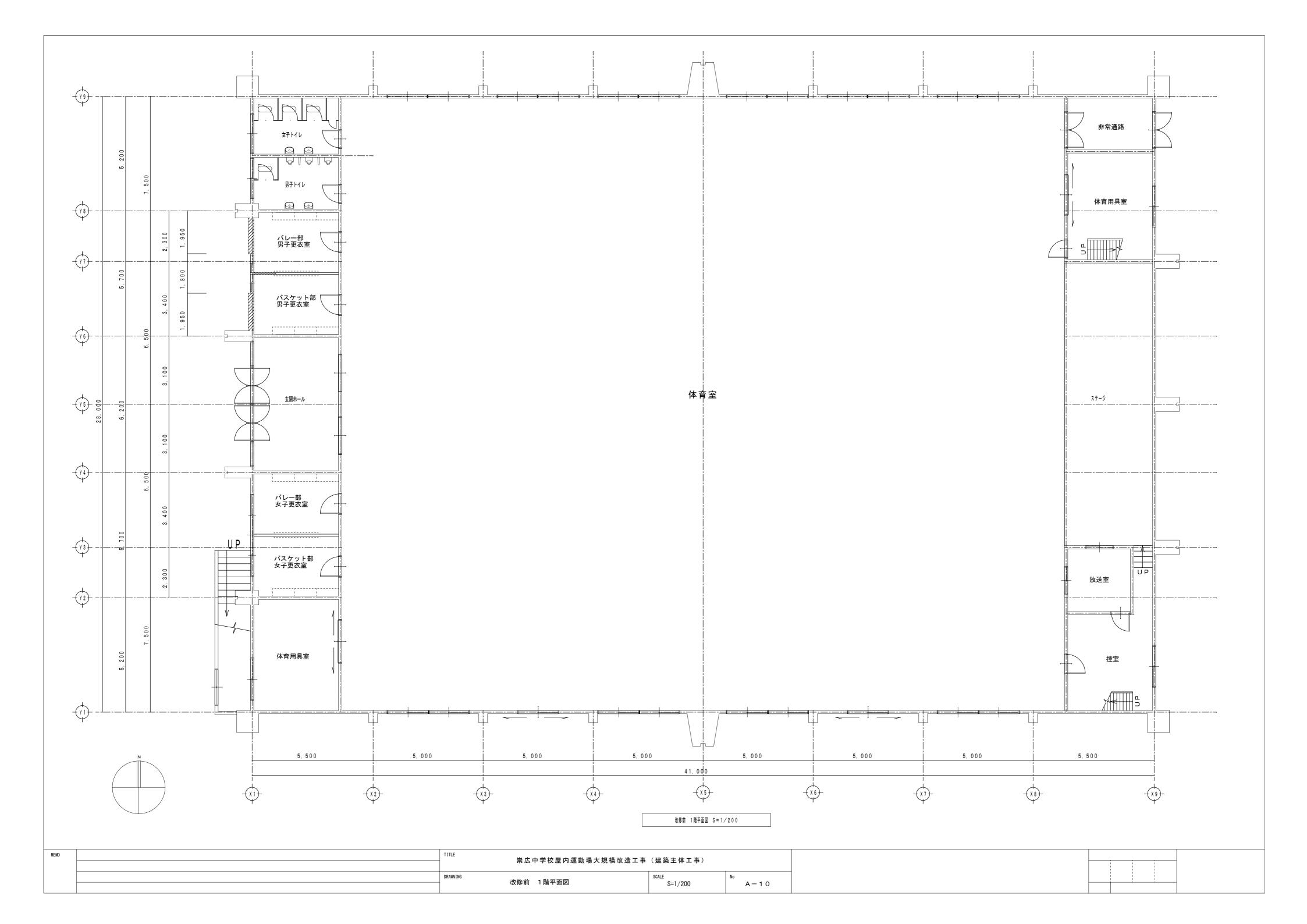
MEMO	TITLE	崇広中学校屋内運動場大規模改造工事			
	DRAWNING	仕 上 表 1	SCALE	No A — 0 8	

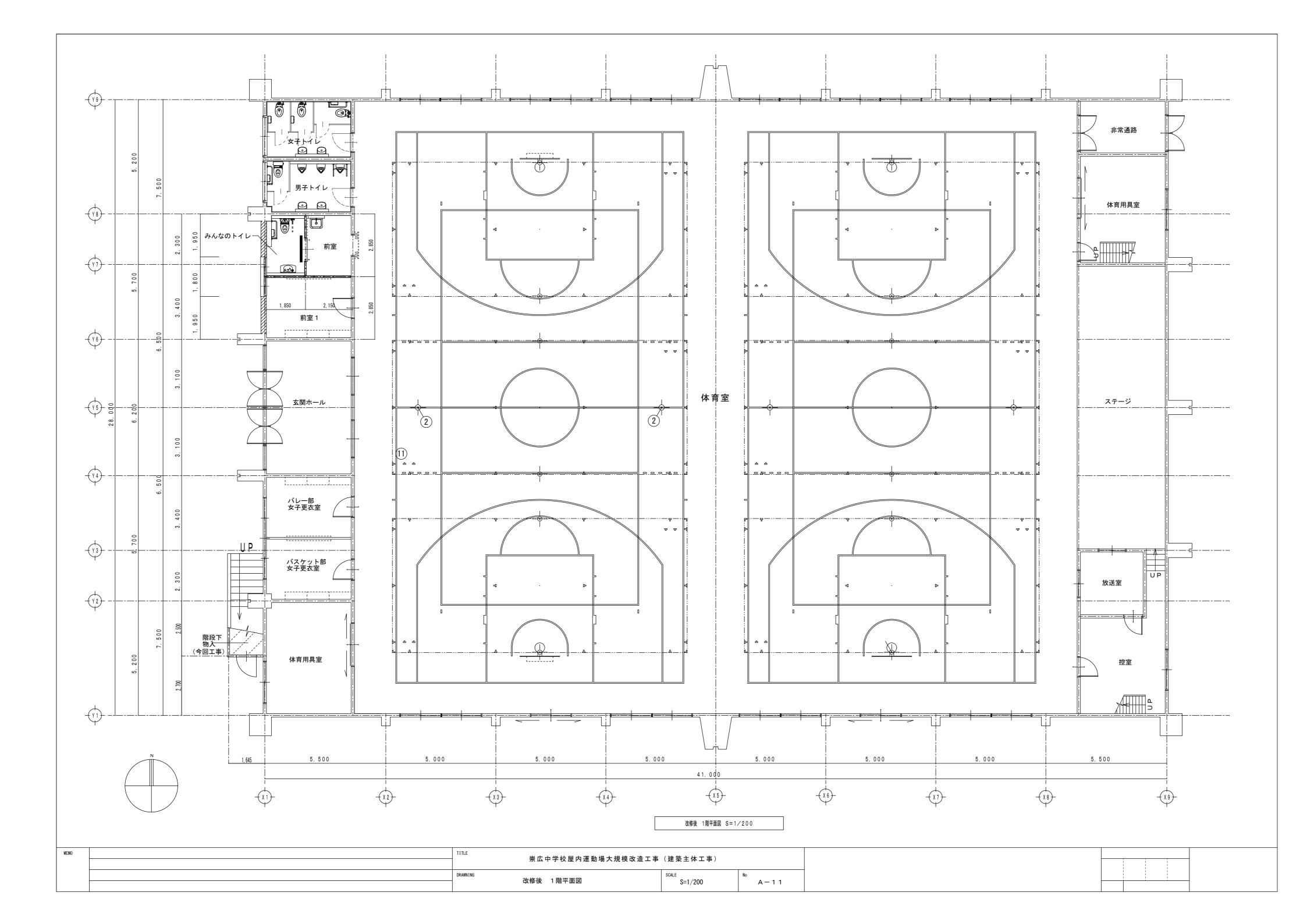
内部仕上げ表 2

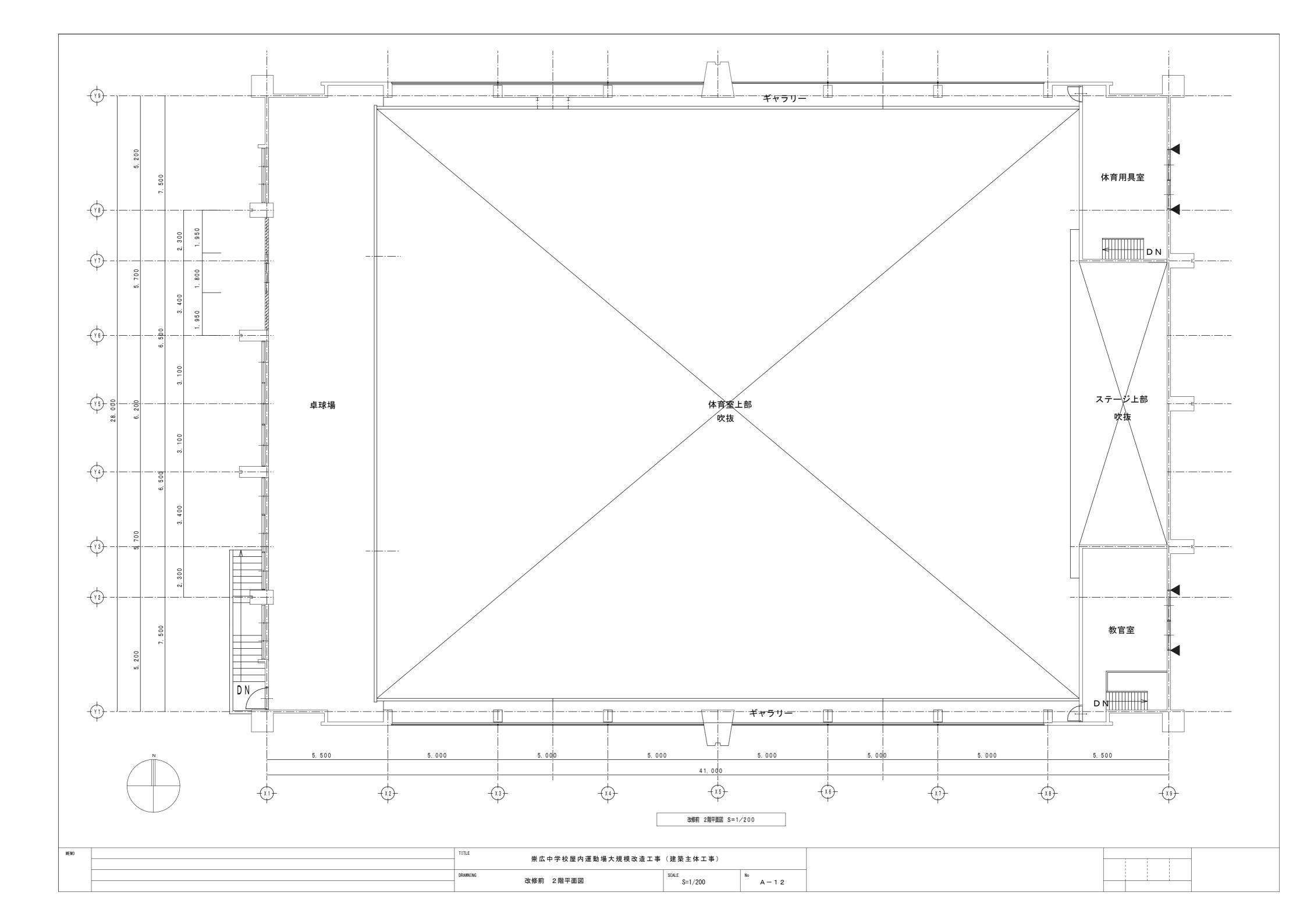
凡例 ①は、みんなのトイレの仕上、下地を示す ②は、前室の仕上、下地を示す

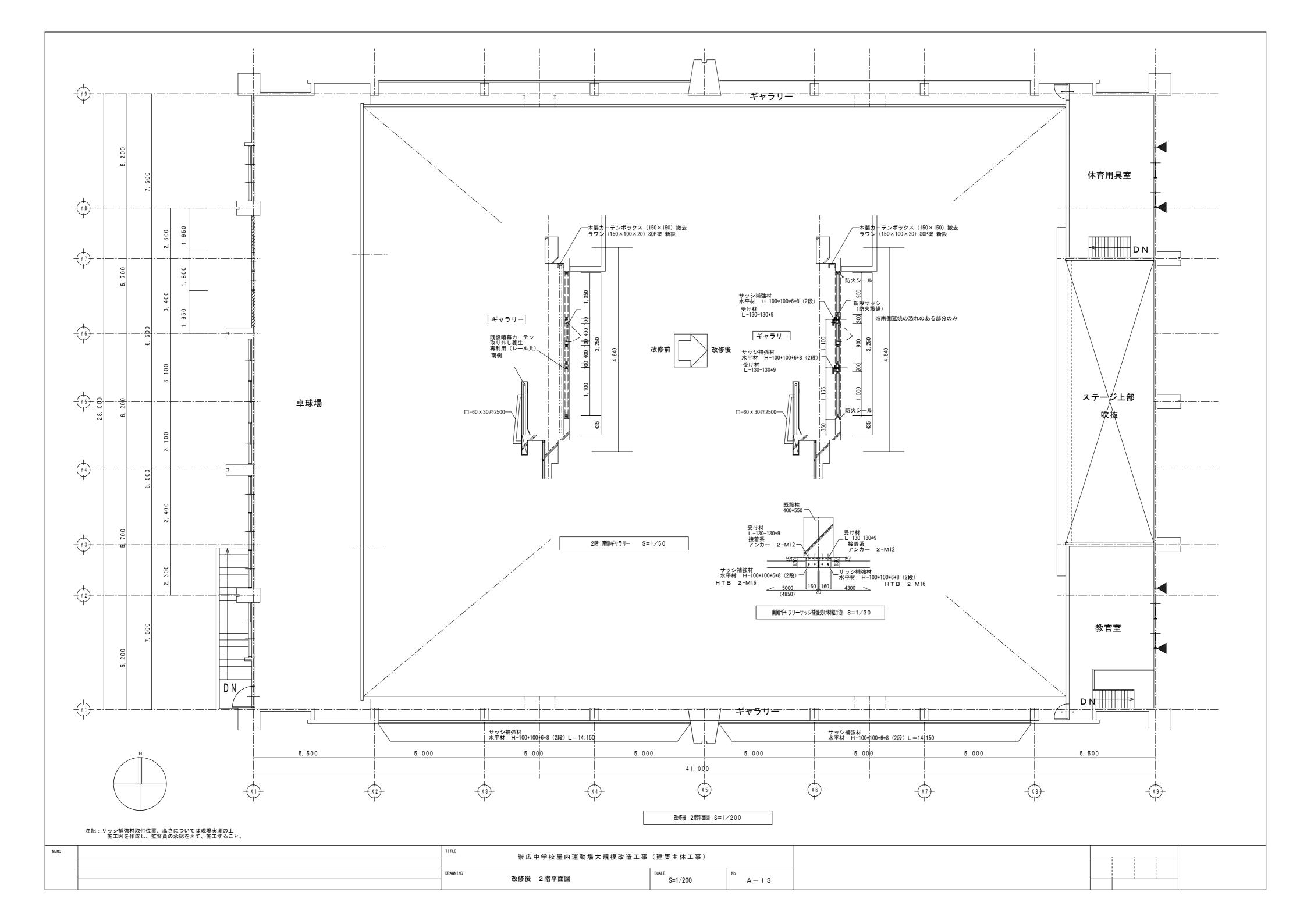
室名		床	巾木	高さ 塗装	望	塗装	天;		涂壮	室名札 <sup>九-〒)</sup>	備考
	改 仕上	①磁器質100角タイル貼り 新設	①陶器質100角タイル貼り 新設		①陶器質100角タイル貼り 新設		①②化粧PB 新設	9.5	<u> </u>	四條   入介向   日日	入口建具 新設
みんなのトイレ 前室	修   <u>                                 </u>	②防滑性長尺塩ビシート貼り 厚2.5 新設  ①モルタル下地、土間コンクリート、砕石 新設 ②モルタル金コテ仕上、土間コンクリート 新設	②ビニル巾木 新設	60	②ケイカル板 目透かし張り 新設 ②塗装 塗り替え     9.0       ①耐水ベニヤ下地、LGS65@300 新設     9.0       ②LGS65@300 新設		①②LGS下地 新設	0.0		塩ビ 2400	SUSグレーチングW100 ノンスリップ
バレー男子	<sub>13</sub> 仕上	パンチカーペット貼り 撤去	塗装仕上		塗装仕上		塗装仕上				入口建具 撤去
更衣室	況 下地	①モルタル金コテ仕上、土間共 撤去 ②モルタル金コテ仕上 撤去	コンクリート打放し		コンクリート打放し		コンクリート打放し			2680	
前室 1	改仕上修	パンチカーペット貼り 現状のママ	塗装 塗り替え	EP	塗装 塗り替え	EP	塗装 塗り替え		EP	2400	
	後一下地									_	
バスケット	現世上	パンチカーペット貼り 現状のママ	塗装仕上		塗装仕上		塗装仕上				
男子更衣室	況   <sub>下地</sub>	モルタル金コテ仕上	コンクリート打放し		コンクリート打放し		コンクリート打放し				
バレー女子	改   仕上   修     後   下地	パンチカーペット貼り 現状のママ	☆装 塗り替え 	EP	塗装・塗り替え	EP	塗装 塗り替え		ΕP	2680	
更衣室					2011	-					
	現せ上	パンチカーペット貼り 現状のママ モルタル金コテ仕上	塗装仕上 コンクリート打放し		塗装仕上 コンクリート打放し		参装仕上 コンクリート打放し				
	下地										
バスケット	改 仕上 修 下地	パンチカーペット貼り 現状のママ	塗装 塗り替え	EP	塗装・塗り替え	ΕP	塗装 塗り替え		ΕP	2 6 8 0	
女子更衣室	日 仕上	パンチカーペット貼り 現状のママ	塗装仕上		塗装仕上		塗装仕上				
	現 <u></u>	モルタル金コテ仕上	コンクリート打放し		コンクリート打放し		コンクリート打放し				
	改仕上修	モルタル金コテ仕上 現状のママ	コンクリート打放し 現状のマ	7	コンクリート打放し 現状のママ		コンクリート打放し 現状のママ			2680	
体育用具室	後下地										
(IBA)	現 仕上 下地	モルタル金コテ仕上 現状のママ	コンクリート打放し 現状のマ	₹	コンクリート打放し 現状のママ		コンクリート打放し 現状のママ				
		/ de a addul libite									
	改 仕上 修 後 下地	モルタル金コテ仕上 現状のママ (一部:ひび割れ補修)	モルタル金コテ仕上現状のママ		コンクリート打放し 現状のママ		耐震補強工事にて 改修済み				R C 腰壁: 下地処理後 E P 塗 スチール防護手すり: 塗装塗り替え S O P
ギャラリー		モルタル金コテ仕上 現状のママ	モルタル金コテ仕上現状のママ		コンクリート打放し 現状のママ						暗幕カーテン 新設(南側6組既設再利用)
	別 別 下地										暗幕カーテン 撤去
	改仕上	フロアーブロック(ブナ) サンダー掛け ウレタン塗装	塗装 塗り替え	EP	塗装 塗り替え	ΕP	耐震補強工事にて 改修済み				暗幕カーテン 新設
卓球場	後下地	サンドクッション	セメント系下地吹付		セメント系下地吹付						木製カーテンBOX 150×150 SOP
<b>平</b>	日 仕上	フロアーブロック (ブナ)	サテン塗り		サテン塗り						暗幕カーテン 撤去
	況下地	サンドクッション	コンクリート打放し		コンクリート打放し						木製カーテンBOX 150×150 撤去
	改仕上	フロアーブロック (ブナ) 現状のママ		100	コンクリート打放し 現状のママ		耐震補強工事にて 改修済み				
体育用具室		サンドクッション	ラワン 厚15 現状のママ		一部ベニア厚6. 0現状のママ						
	現世上	フロアーブロック(ブナ) 現状のママ		1 0 0	コンクリート打放し 現状のママ						
	況   下地	サンドクッション	ラワン 厚15 現状のママ		一部ベニア厚6. 0現状のママ						
	改仕上	フロアーブロック(ブナ) サンダー掛け ウレタン塗装		100	プリント合板貼り 現状のママ		耐震補強工事にて 改修済み				
教官室		サンドクッション	ラワン 厚15 現状のママ								
<b>教旨主</b>	現	フロアーブロック(ブナ) 現状のママ		100	プリント合板貼り 現状のママ						
		サンドクッション	ラワン 厚15 現状のママ								
	改 仕上										
	後下地										
	現世上										
	況下地										
	改生										
	後一下地										
	現										
	下地 下地										

#広中学校屋内運動場大規模改造工事		
DRAWNING	SCALE	No A — (

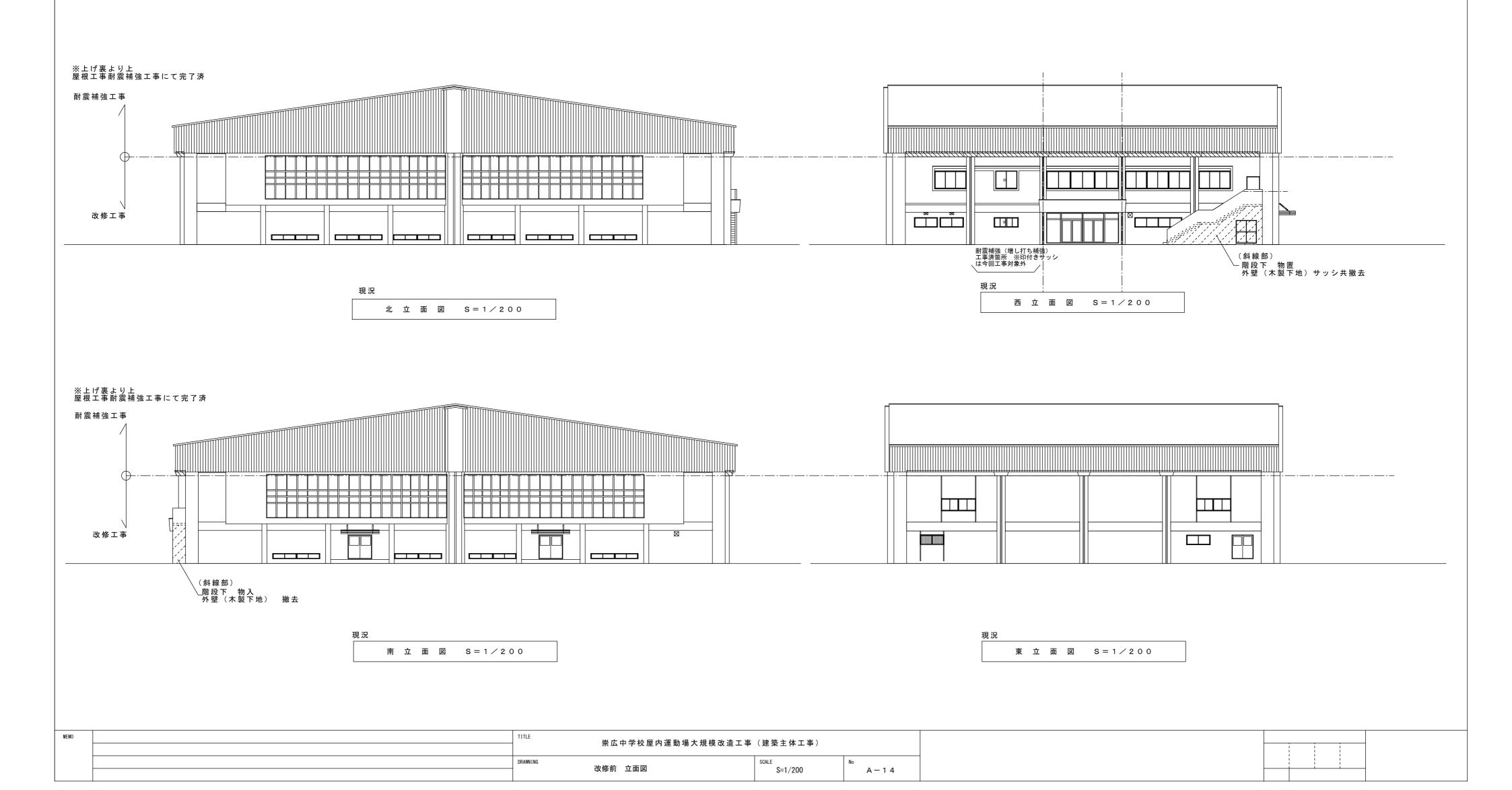




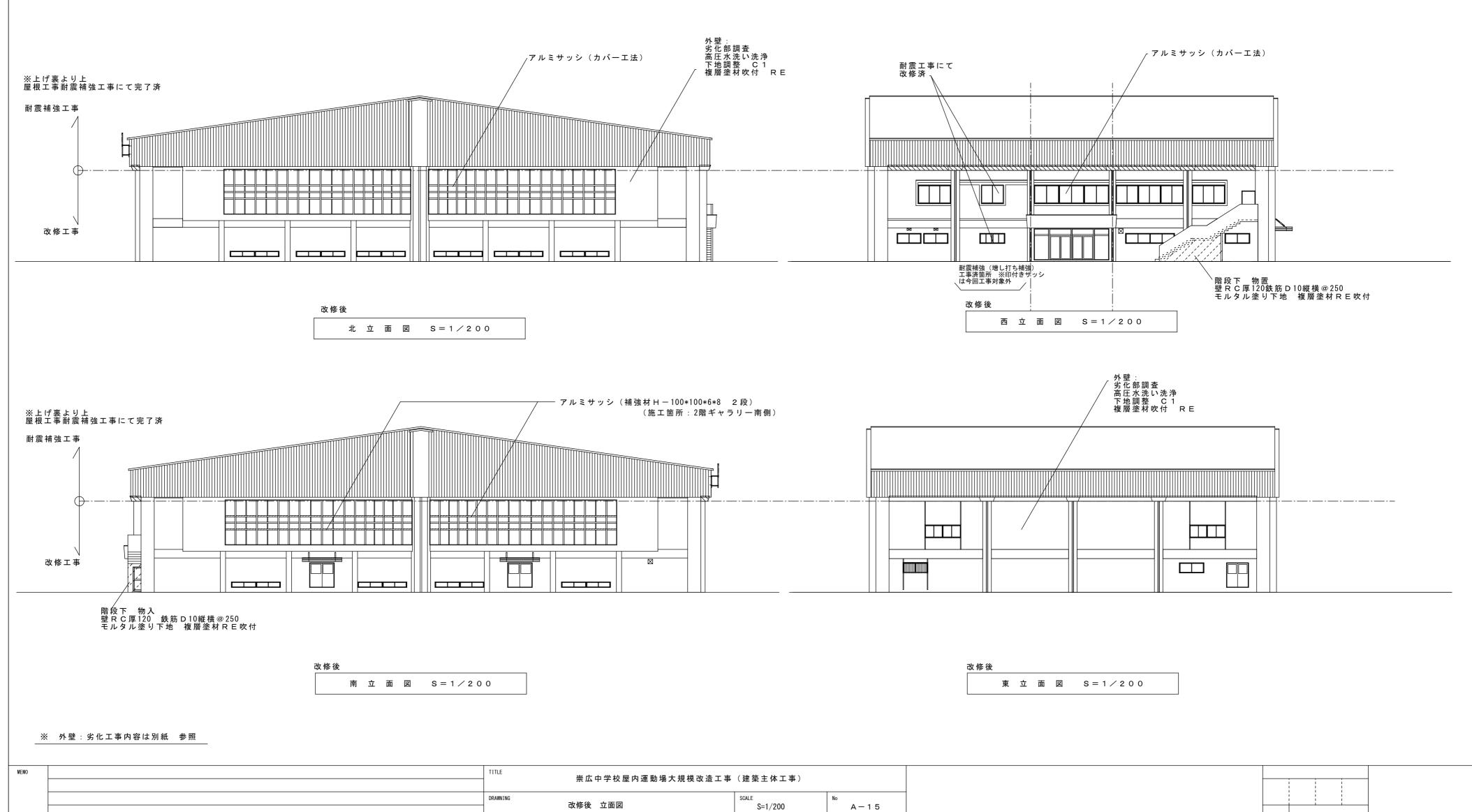


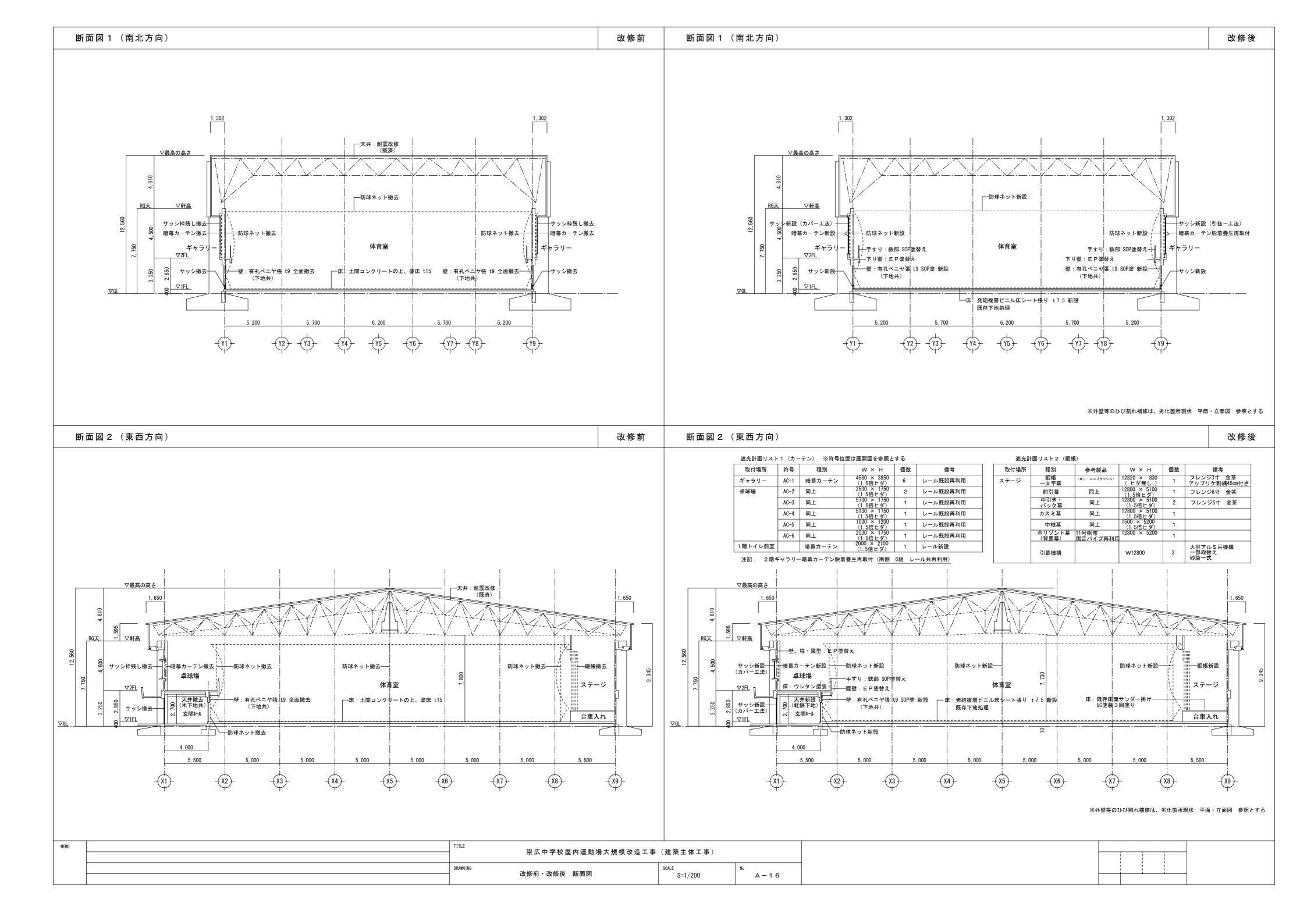


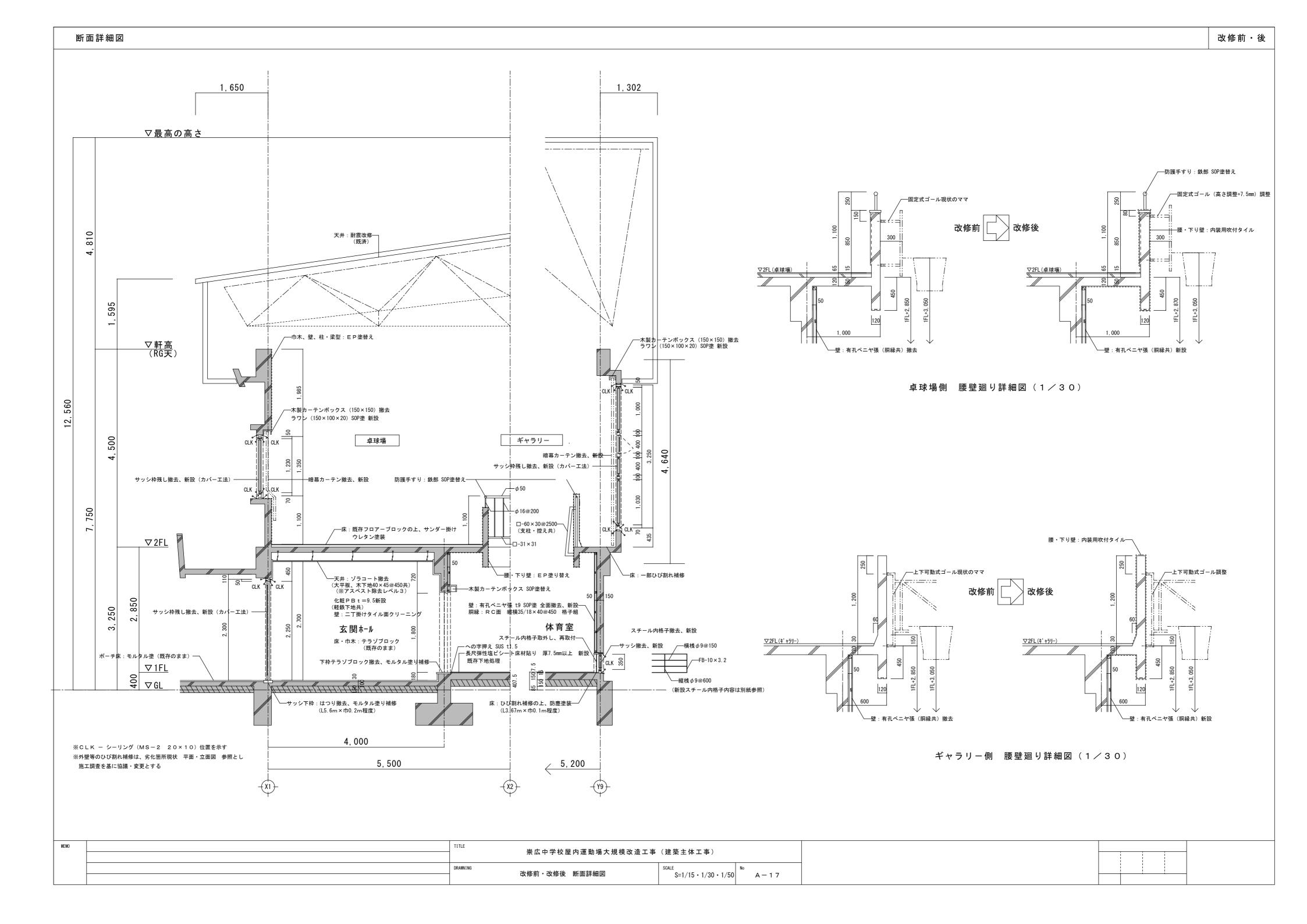
外部仕上げ表	Ę				•				
					屋根東側落下防止ネット 新設				
E +0	改修後	西側ポーチ屋根:アスファルト防水層 新設 改修ドレイン 1箇所新設	<b>△</b> +/	改修後	防球ネット 糸太さ 2.7mm マス目 37.5mm H=1.000 L=28.800	\$\$~ ¥+	改修後	南側入	り口屋根鉄骨部 見え掛かり 下地処理後 SOP塗り替え (2か所)
屋根		西側ポーチ屋根:アスファルト防水層 撤去	金物		7レ-ム構成部材 L-50×50×6 @1800	塗装			
	現況	耐震補強工事(大屋根)にて 改修済み		現況			現況	南側入	り口屋根鉄骨部 見え掛かり SOP塗 既設塗膜撤去 (2か所)
		劣化部調査、高圧水洗い洗浄、下地調整 C - 1			アルミサッシ カバー工法 一部 撤去工法		現況	改修後	タテ樋 VPΦ75 掴み金物共 新設 西側 4 東側 3 計 7 本
<b>-</b> □±	改修後	複層塗材RE 外部階段下物入 外壁(RC壁厚100)新設 アルミ扉 1箇所新設	74. 🖯	改修後	内部建具 一部新設(建具図ニヨル )	スの仏	- 現流	現況	既設タテ樋 VUΦ90 掴み金物共 撤去 西側 4 東側 3 計 7 本
外 壁		モルタル下地 外装薄塗材 E吹付け	建二具		アルミサッシ	その他			
	現況	外部階段下物入 外壁(木下地共)撤去 既設 アルミ戸 1箇所共 撤去		現況	内部建具 一部新設(建具図ニヨル )				

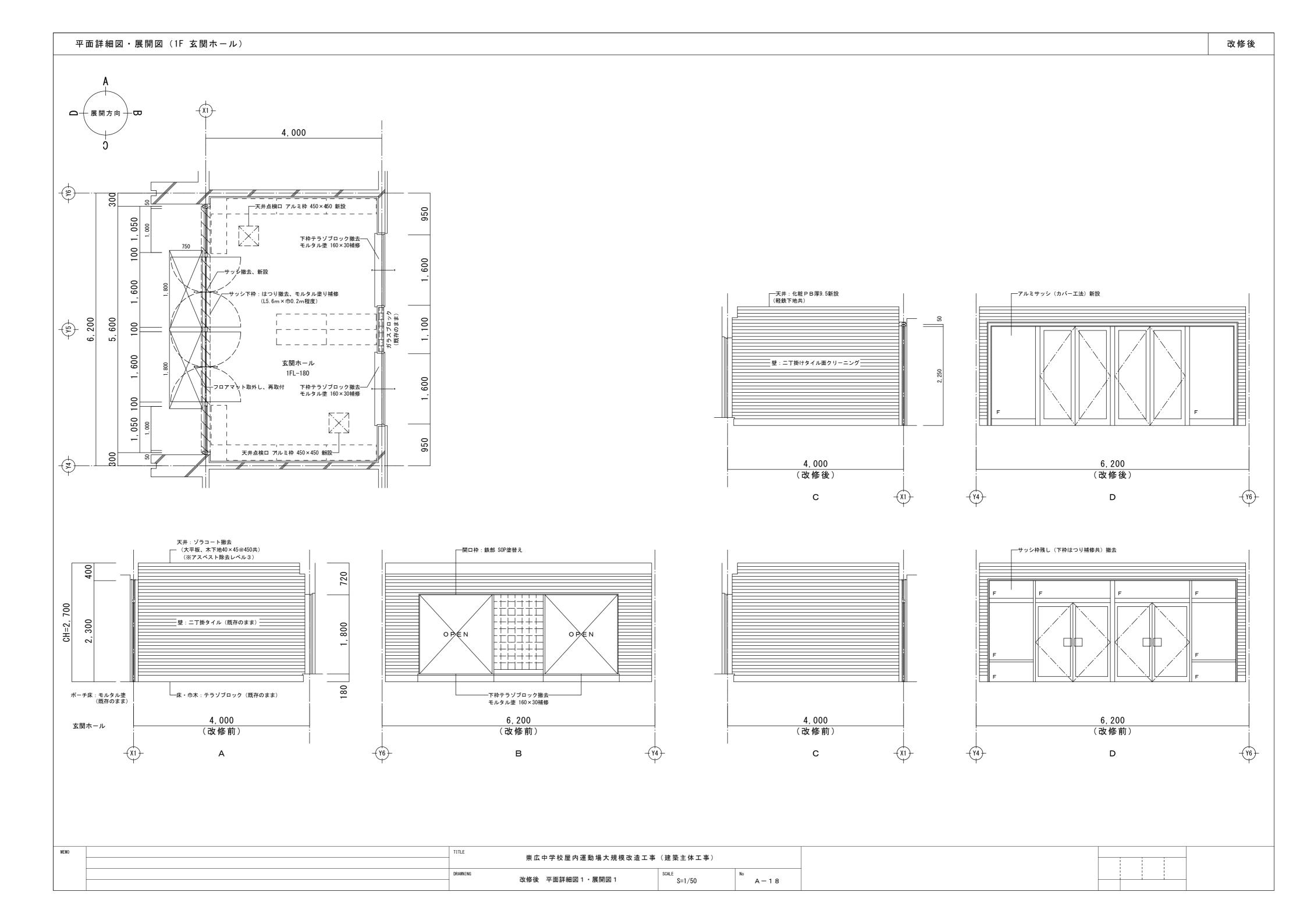


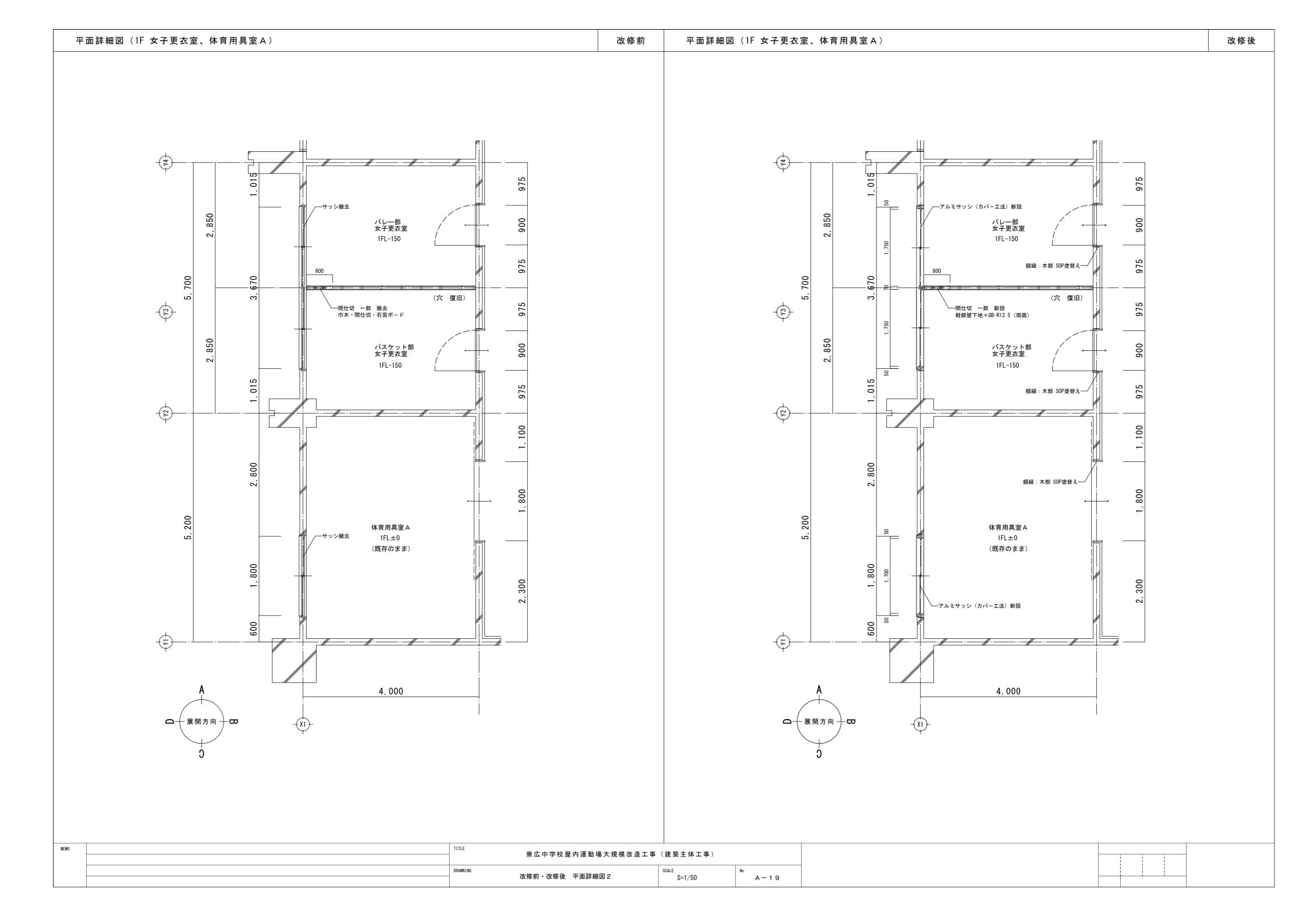
					屋根東側落下防止ネット 新設				
= 40	改修後	西側ポーチ屋根:アスファルト防水層 新設 改修ドレイン 1箇所新設	A 4L	改修後	防球ネット 糸太さ 2.7mm マス目 37.5mm H=1.000 L=28.800	2 <u>~</u> 11+	│ 改修後 │	南側之	入り口屋根鉄骨部 見え掛かり 下地処理後 SOP塗り替え (2か所)
屋根		西側ポーチ屋根:アスファルト防水層 撤去	金物		7レ-ム構成部材 L-50×50×6 @1800	塗装			
	現況	耐震補強工事(大屋根)にて 改修済み		現況			現況	南側之	人り口屋根鉄骨部 見え掛かり SOP塗 既設塗膜撤去 (2か所)
		劣化部調査、高圧水洗い洗浄、下地調整 C - 1			アルミサッシ カバー工法 一部 撤去工法		18:0	改修後	タテ樋 VPΦ75 掴み金物共 新設 西側 4 東側 3 計 7 本
LI 0+	改修後	複層塗材RE 外部階段下物入 外壁(RC壁厚100)新設 アルミ扉 1箇所新設		改修後	内部建具 一部新設(建具図ニヨル )	7 0 114	現況	現況	既設タテ樋 VUΦ90 掴み金物共 撤去 西側 4 東側 3 計 7 本
外 壁		モルタル下地 外装薄塗材E吹付け	建具		アルミサッシ	その他			
	現況	外部階段下物入 外壁 (木下地共) 撤去 既設 アルミ戸 1箇所共 撤去		現況	内部建具 一部新設(建具図ニヨル )				

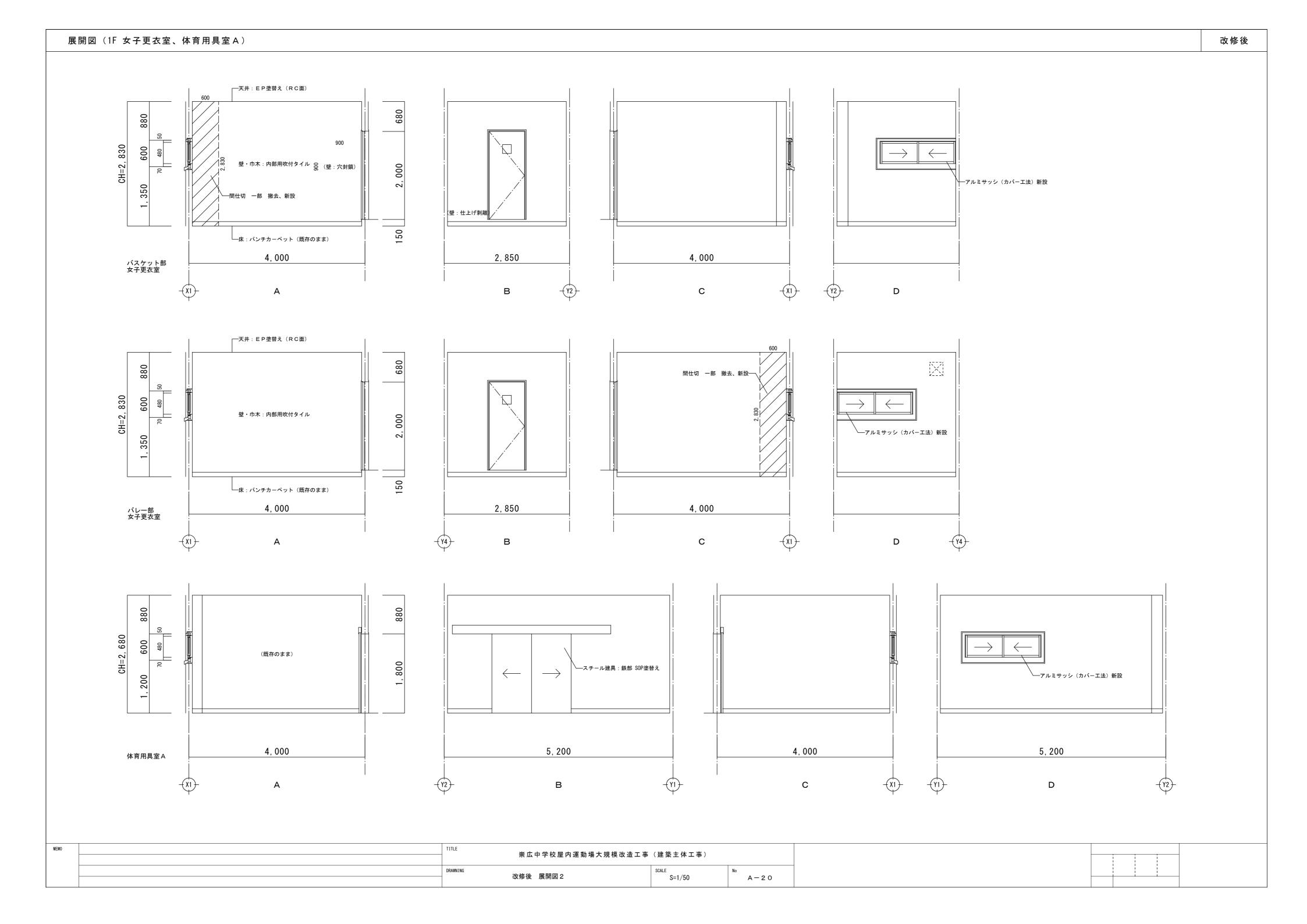


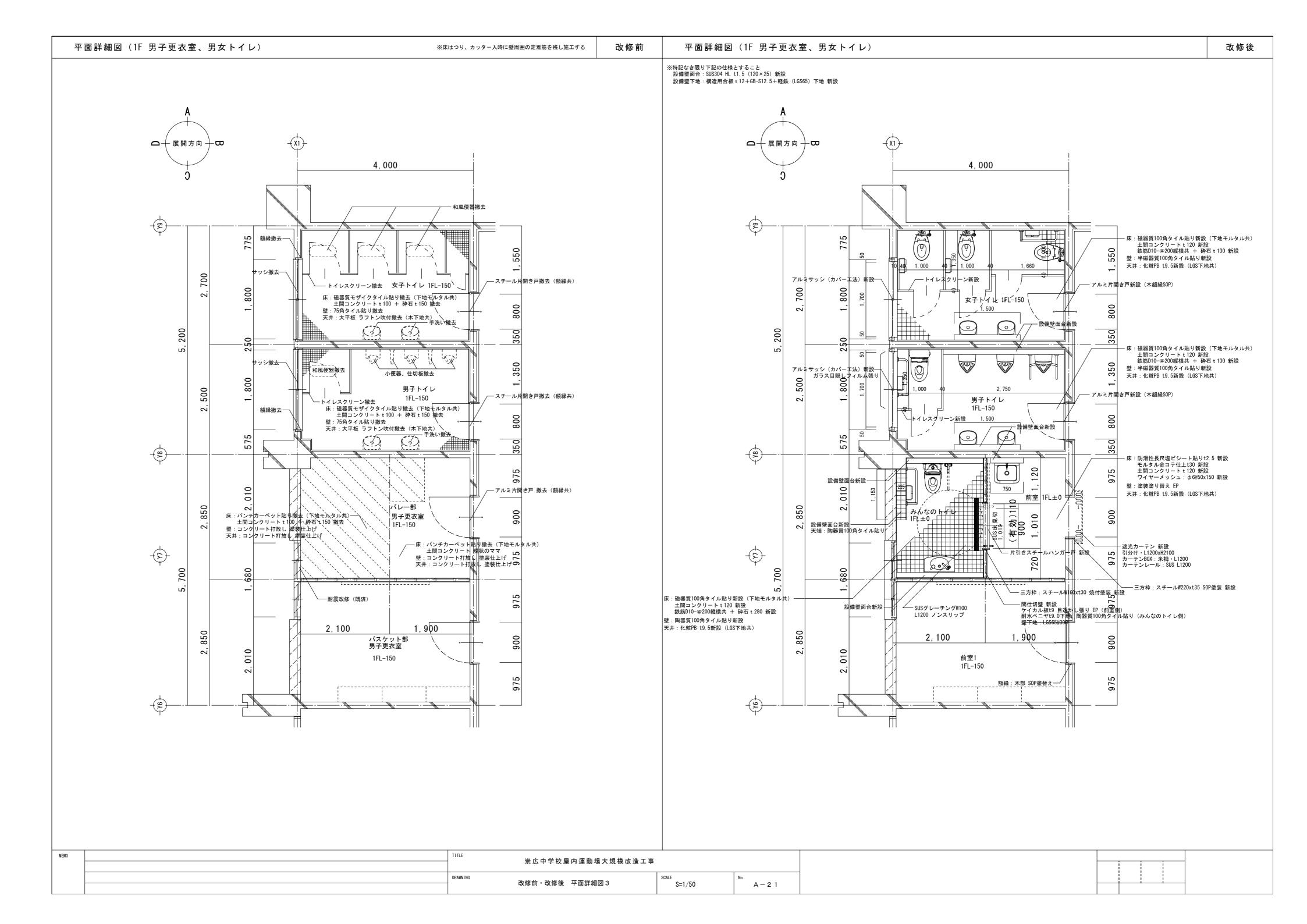


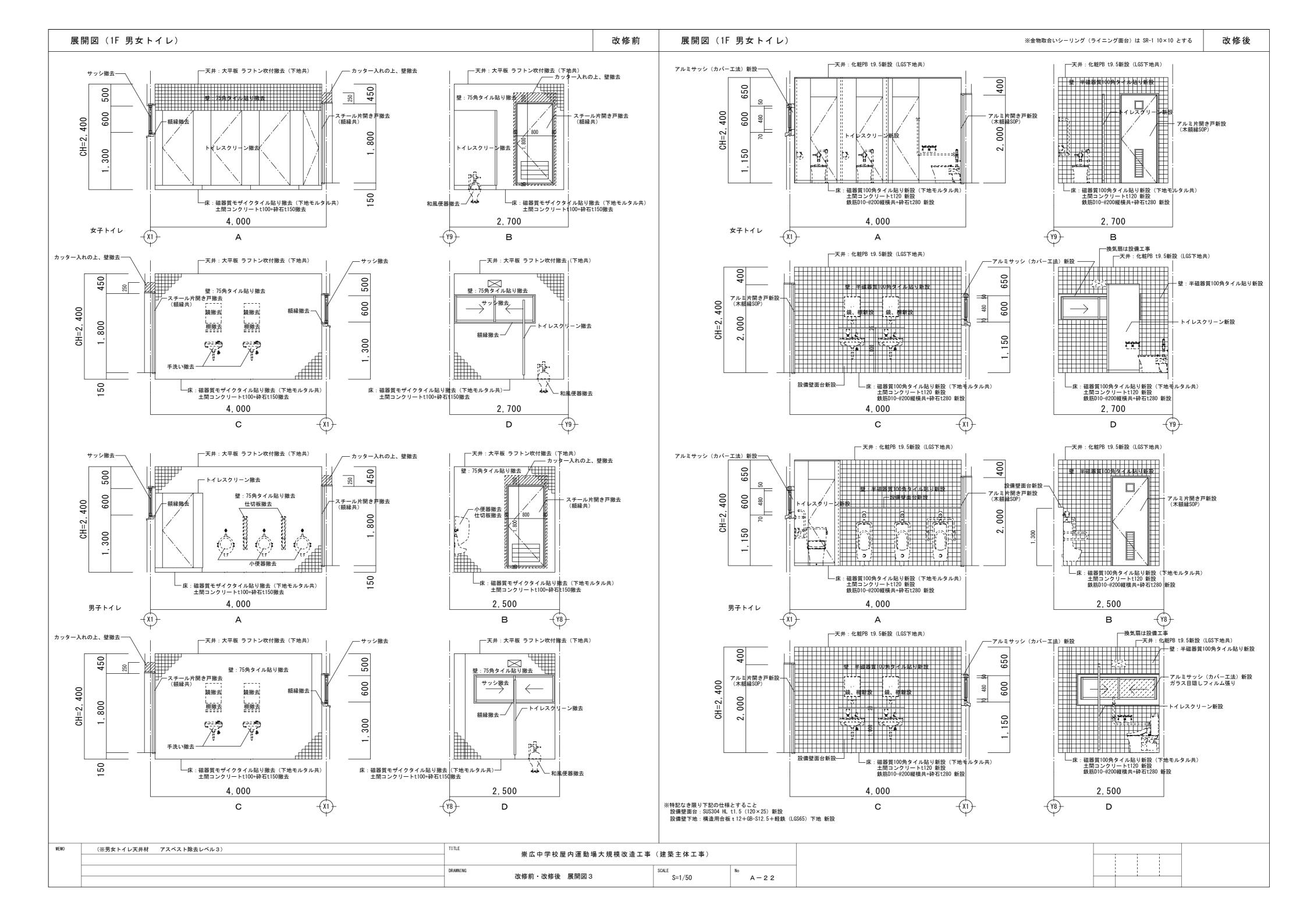


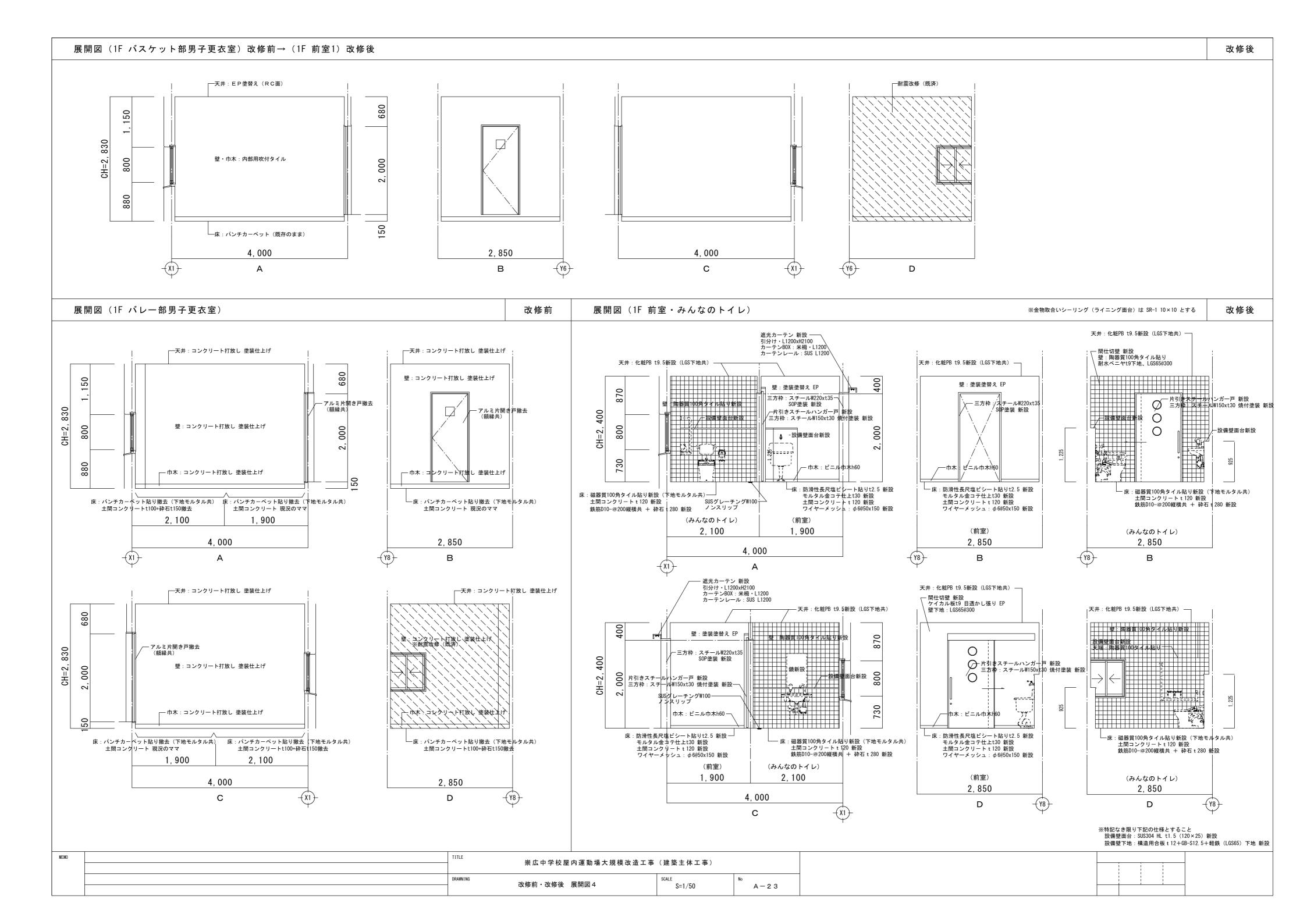


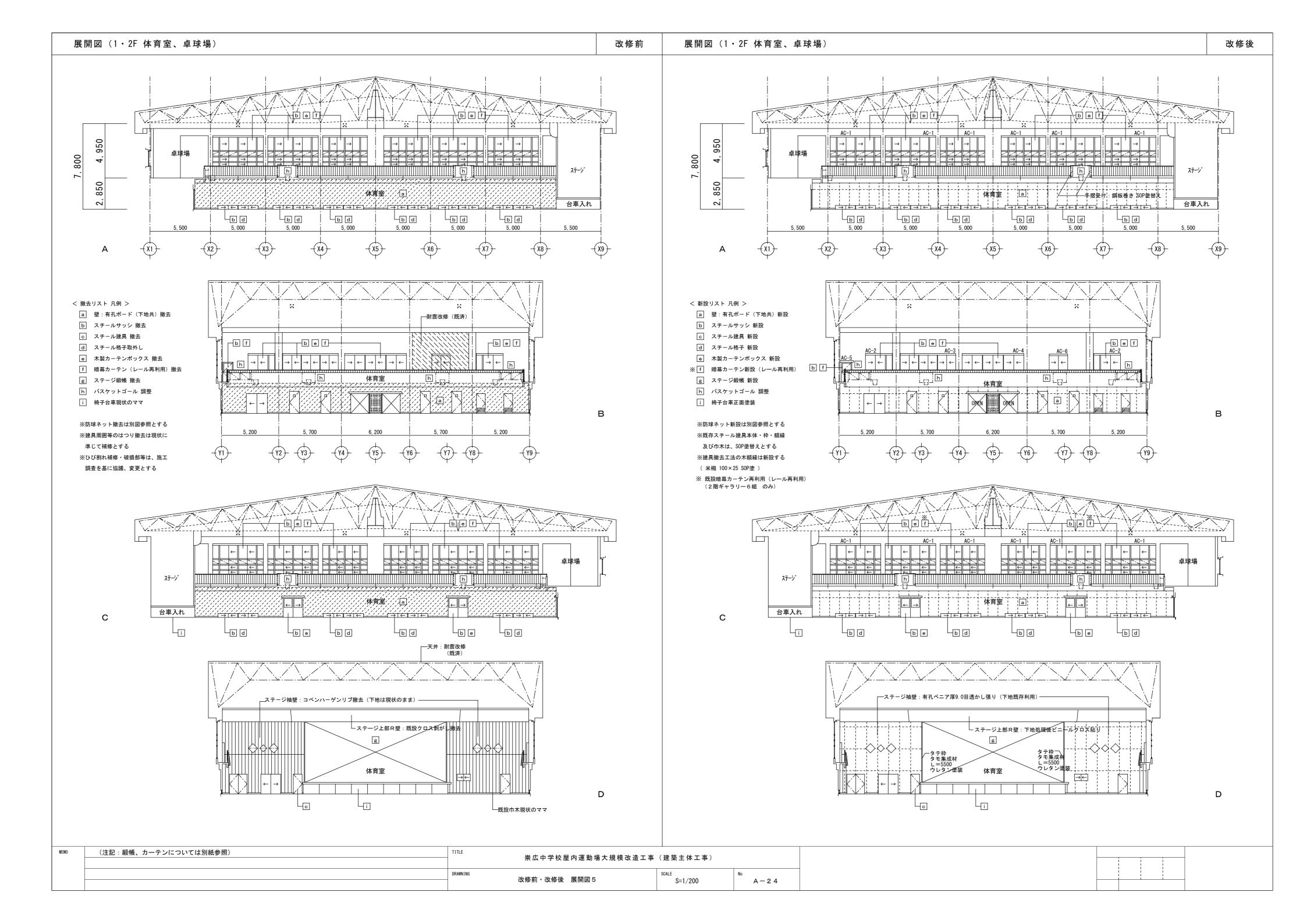


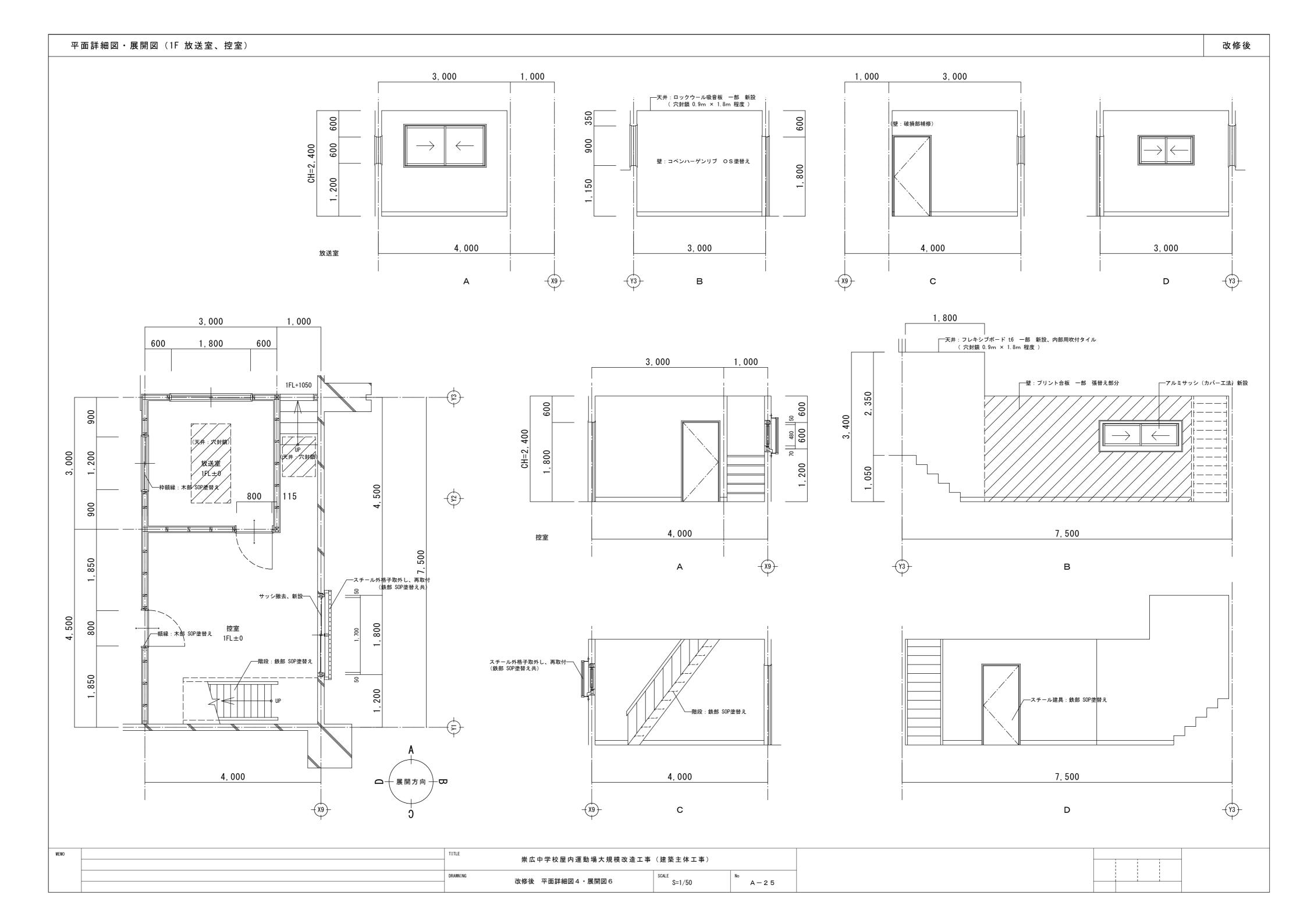


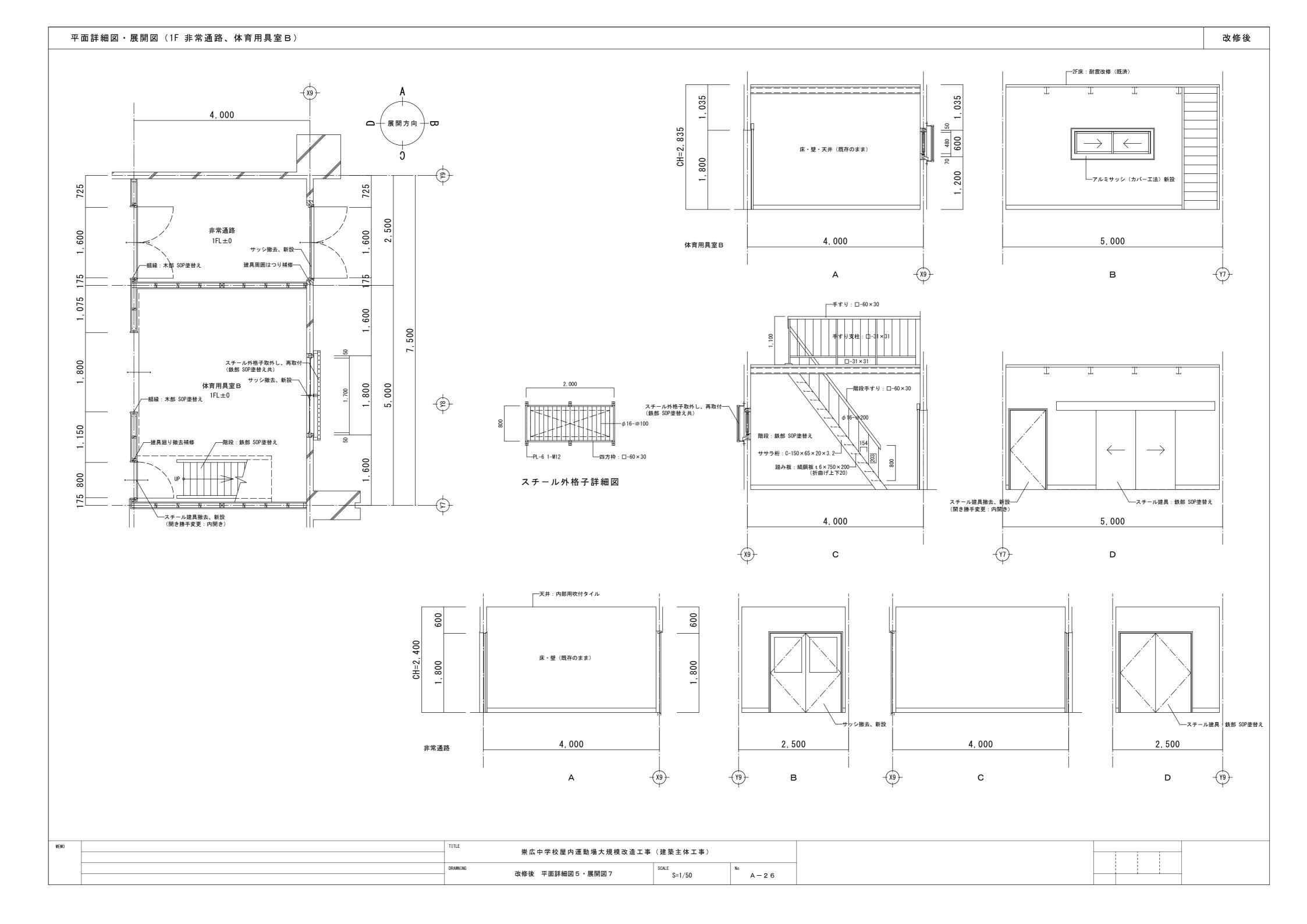


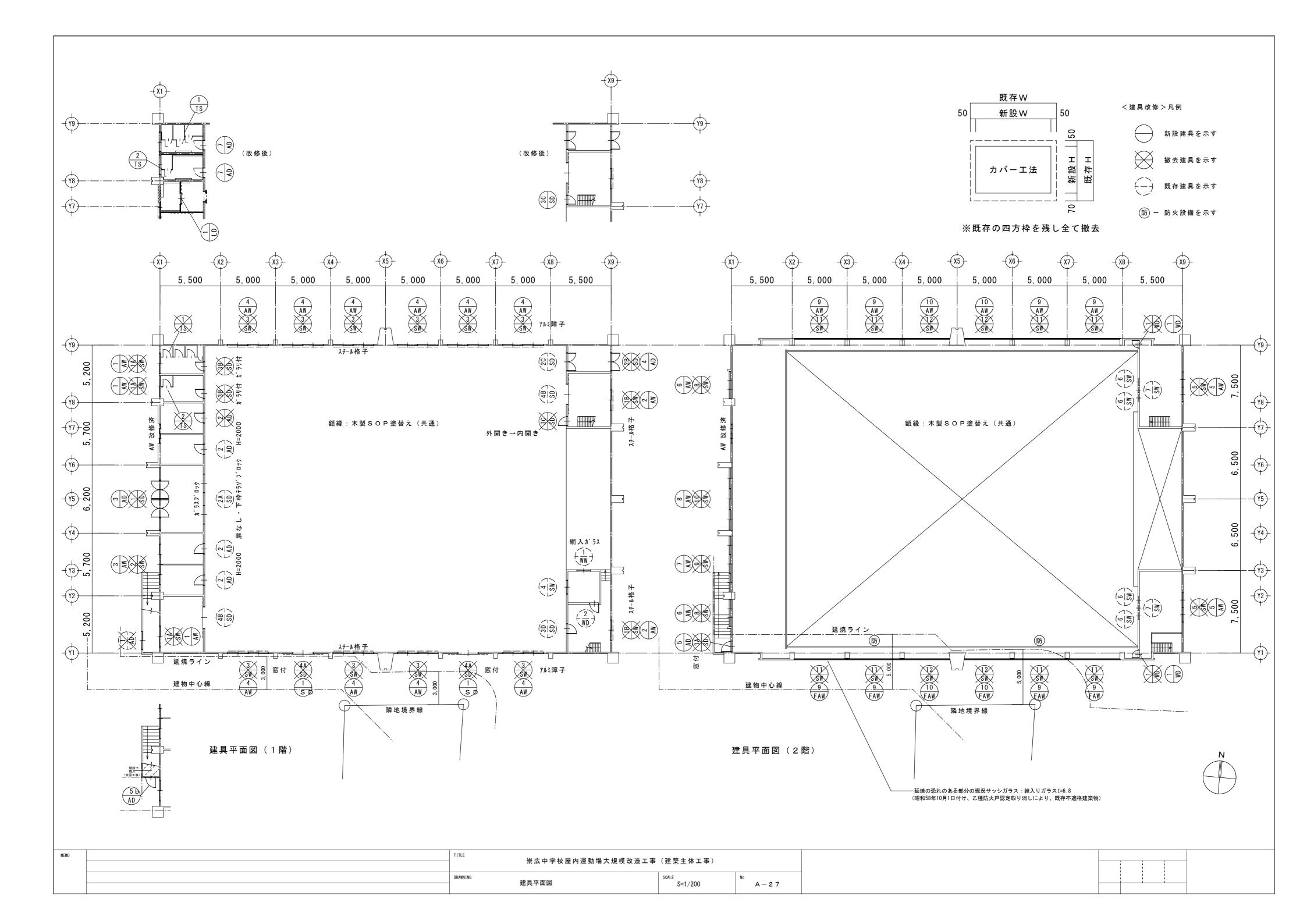










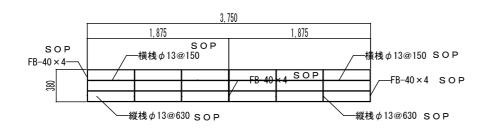


符号	使用箇所	形式機構(改修工	<b>注</b> )	数量	内法寸法(W×H)	ガラス	材質仕上	建具金物 附属品	備考(改修項目)	※ 注 記
		形 凡 饿 伟 ( 以 修 上	<i>I</i> Δ /		M A A A C M A 日)					1)金属製建具は全て現寸図提出の上係員の承認を得ること。 2)現寸図又は現場の納り上多少の形状寸法の変更はあるものとする。
AD	1F 倉庫(外階段下)		引違い框戸	撤去 1	1,700 × 2,000	F4 AP3	アルミ押出し型材 (シルバー)	戸車レール、引手 クレセント		3) 外部金属建具(RC部等取合い)周囲は充分に防水モルタル詰めを行い 枠四周はシーリング材(種別は特記による)を充てんすること。 4) 建具金物は特記を除きステンレス製HL仕上とする。
S AD		世 東:アルミ t = 3.0 見込 70	ハイル 引開き框戸	新設 1	900 × 1, 800	FW6.8	アルミ押出し型材 (シルバー)	BH, DC, DS, NH, SUF ALC	アルミ額縁付 100×25	5)本建具表の見付有効、見込寸法は仕上り寸法を示すものとする。 6)合板フラッシュに使用する合板は特記を除きシナ厚4mmとし耐水合板は I類とする。
	1F 男女更衣室 (バレー部)	Na T	片開きフラッシュ戸	撤去 1	800×2,000 小窓 200× 200	F4	アルミ押出し型材 (シルバー)	ドアクローザ、丁番 握玉付本締錠	木額縁	7) 練付化粧合板、プリント合板、ポリエステル化粧合板等の仕様は内装工事に準ずる。 8) 網戸は特記を除きサランネット貼(ブラック)とし、特記を除きメッシ
$\left(\frac{2}{AD}\right)$	(バスケット部)		(バレー部:撤去) スケット部:既存のまま)	既存のまま	800 × 2, 000	F4	+ アルミ押出し型材 (シルバー)	 ドアクローザ、丁番 握玉付本締錠	 木額縁:SOP塗替え	- 3) 桐戸は特記を味さりプライット組(ブブッケ)とし、特記を味さメップ - 18とする。 - 9) アルミサッシの表面は高耐候型複合皮膜処理とする。
	   1F 玄関ホール	見込 70 1,000·50 日 1,000·50 日 1,000·100	二 欄間·両袖FIX窓付	3	小窓 200× 200 5,600×2,300 扉1,700×1,800	Т8	スチール SOP	フロアヒンジ、押板シリンダー錠	欄間FIX有り	建具符号凡例 AD・アルミニウム製ドア TS・トイレスクリーン
3 AD	(外部)		両開き戸 (カバーエ法)	新設 1	FÍX1,000×1,800 5,500×2,250 扉1,700×2,250		     アルミ押出し型材	ンリンター錠  FH、DS、CK、PUB、ALC	内部アングルピース付  欄間FIX無し	_ AW・アルミニウム製窓 TL・トップライト AG・アルミニウム製ガラリ GW・ガラス窓
AD		下枠はつり 見込 70 見込 70		析説Ⅰ	FIX 900 × 2, 250		(シルバー)		木額縁 100×25 SOP塗	AP・アルミニウム製パーティション WD・木製ドア SD・スチール製ドア WW・木製窓 SW・スチール製窓 F・襖戸
$\left(\frac{\widehat{2A}}{\widehat{SD}}\right)$	1F 玄関ホール (内部)	ガラスブロック OPEN BOOKN O	ガラスブロック付 開口枠	1	4,300×1,800 開口1,600×1,800	GB150	スチール SOP		内部アングルピース付 木三方枠、額縁:SOP塗替え	SP・スチール製パーティション
		▽玄関ホール F L <u> </u>	(既存のまま) 法 → モルタル塗り補修							SS・ステンレス製シャッター LD・軽量スチール製ドア 特 ・特定防火設備を示す。 DP・スライディングウォール じ ・防火設備を示す。
2B SD	1F 非常通路		両開きフラッシュ戸	撤去 1	1,600 × 1,800	FW6.0	スチール SOP	丁番 握玉付本締錠	内部アングルピース付	A C・アコーディオンドア (符号前にF表示) 建具金物符号凡例
4 AD	(外部)	下枠はつり 見込 60 見込 70	腰窓(撤去工法)	新設 1	1, 600 × 1, 800	FW6.8	アルミ押出し型材 (シルバー)	BH, DC, DS, NH, SUF ALC	木額緣 100×25 SOP塗	BH ・ステンレス丁番3枚吊 PH ・ピポットヒンジ
	1F 非常通路	[本]	両開きフラッシュ戸		1, 600 × 1, 800		スチール SOP	丁番 握玉付本締錠	内部アングルピース付 木三方枠、額縁:SOP塗替え	F H ・フロアーヒンジ、(NS)はストッパー無しを示す。 A H ・オートヒンジ L B H・ラバトリーヒンジ
$\left(\frac{\widehat{2C}}{SD}\right)$	(内部)	扉:SOP塗替え	(既存のまま)	1						DC ・ドアクローザー、(NS)はストッパー無しを示す。 CDH・隠ぺい型ドアクローザー、(NS)はストッパー無しを示す。 DS ・戸当り
3A \$b	2F 卓球場	見込 60	片開きフラッシュ戸	撤去 1	800 × 1, 800	FW6.0	スチール SOP	ピポットヒンジ	内部アングルピース付	
	(外階段)		腰窓				ステール SUP  アルミ押出し型材	握玉付本締錠  BH、DC、DS、NH、SUF		LH ・シリンダー錠付レバーハンドル、(N)は空錠を示す。 CH ・シリンダー錠付ケースハンドル、(N)は空錠を示す。 GH ・グレモンハンドル・グレモン締まり
5 AD		下枠はつり 見込 60 見込 70	(撤去工法)	新設 1	800 × 1, 800	PW6. 8	(シルバー)	ALC	木額縁 100×25 SOP塗	MK ・モノロック錠、 (ST) はサムターン付を示す。 - CK ・シリンダー本締り錠、 (ST) サムターン付を示す。
3B SD	1F 男女トイレ		片開きフラッシュ戸	撤去 2	800 × 1, 800		スチール SOP	ピポットヒンジ 握玉付本締錠 	内部アングルピース付 木三方枠、額縁:SOP塗替え	」 BK ・浴室錠
AD AD		マ男女トイレFL     見込 70	(撤去工法)	新設 2	800 × 2, 000	F4	アルミ押出し型材 (シルバー)	BH, DC, DS, NH, SUF ALC	木額縁 180×25 SOP塗 アルミガラリ	KR ・クレセント(防犯サブロック付)         SH ・締まりハンドル、(NS) はストッパー無しを示す。         PUH・押板・引手・取手
	1F 体育用具室 B	ГЛ	片開きフラッシュ戸		800 × 1, 800		スチール SOP	ピポットヒンジ 握玉付本締錠	内部アングルピース付	PUB・押棒・引棒(特記以外はステンレス製とする) OP ・高所、排煙用オペレーター装置(一式)FL+1200 AT ・自動開閉装置(一式)スイッチ位置は施工時確認とする
3C SD		扉: SOP塗替え	(既存のまま)	1						DR ・戸車 ALF・アルミ製水切 ALC・アルミ製額縁 (特記以外25×70とする)
	 	見込 60	片開きフラッシュ戸		800 × 1, 800		スチール SOP	ピポットヒンジ	内部アングルピース付	A L P ・額縁取り付け用アングルピース S D S ・スランレス製沓摺(特記以外は、□ -40 × 20 × 1.5とする)
$(\frac{3D}{SD})$	'' <u>                                  </u>	扉:SOP塗替え		1	300 / 1,000		77 70 001	握玉付本締錠	│ 木三方枠、額縁:SOP塗替え │ │	UR ・ステンレス製U形レール、( )内は巾を示す。 VR ・ステンレス製V形レール、( )内は巾を示す。 HR ・ハンガーレール
		見込 60	(既存のまま) 							HR ・ハンカーレール  -   ガラス符号凡例
4A SD	1F 体育室(南)		引分けフラッシュ ハンガー戸 腰窓	撤去 2	1,800 × 1,800	FW6.0	スチール SOP	上下レール 引手 		F L 3・5・6 フロート板ガラス F 4・6 型板ガラス
1 S D			(撤去工法)	新設 2	1,800 × 1,800	FW6.8	高耐候性粉体塗装鋼鈑 t=0.8	HR, PUB, CK, SUF	木額縁 100×25 SOP塗	T 4・5・8 強化板ガラス R 6 熱線反射ガラス S G 3・5 スリ板ガラス
(AR)	1F体育用具室 A・B		引分けフラッシュ		1,800 × 1,800		スチール SOP	上下レール 引手	木三方枠、額縁:SOP塗替え	GB150 ガラスブロック ※特記を除き150角(乳白)とする。
$\left(\frac{\widehat{4B}}{\widehat{SD}}\right)$	(西・東)	← → 扉: SOP塗替え 	ハンガー戸 (既存のまま)	2						AP3 アルミパネル
		見込 35								注)・防火設備のガラス留材はシーリングとし、その他は特記を除きシーリング又はガスケット施工とする。 ・衝突防止シールは、SUS304 HL 70.8×30¢(両面)程度とする。
MEMO AD	-6は欠番		TITLE	崇広	中学校屋内運動場大規模改造コ		体工事)			
			DRAWNING	建具表	1	SCALE S=1/	/200 A - 2 8			

符号	使用箇所	形式機構(改修工法)		数量	内法寸法(W×H)	ガラス	材質仕上	建具金物附属品	備考(改修項目)	※ 注 記 1)金属製建具は全て現寸図提出の上係員の承認を得ること。
TAX SW	15 男女トイレ	→ <del>-</del> → -	引違い窓	撤去3	1,800× 600	F4	スチール SOP	クレセント	内部アングルピース付	2) 現寸図又は現場の納り上多少の形状寸法の変更はあるものとする。 3) 外部金属建具(RC部等取合い)周囲は充分に防水モルタル詰めを行い 枠四周はシーリング材(種別は特記による)を充てんすること。
1 AW	体育用具室 A	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(カバーエ法)	新設 3	1,700× 480	T4	アルミ押出し型材 (シルバー)	KR、 ALF、 ALC	網戸	→ 4)建具金物は特記を除きステンレス製HL仕上とする。 5)本建具表の見付有効、見込寸法は仕上り寸法を示すものとする。 6)合板フラッシュに使用する合板は特記を除きシナ厚4mmとし耐水合板は Ⅰ類とする。
IB/SW	1F 体育用具室 B	スチール外格子 アルミ外格子	引違い窓 格子付	撤去 2	1,800× 600	F4	スチール SOP	クレセント	内部アングルピース付 外格子	フ)練付化粧合板、プリント合板、ポリエステル化粧合板等の仕様は内装工事に準ずる。 8)網戸は特記を除きサランネット貼(ブラック)とし、特記を除きメッシ
2 AW	控室	型.F.L	(カバーエ法)	新設 2	1,700× 480	T4	アルミ押出し型材 (シルバー)	KR、ALF、ALC	網戸、外格子	ュ18とする。 9)アルミサッシの表面は高耐候型複合皮膜処理とする。
2 \$W	1F 男女更衣室 (バレー部)	→ ←   →   →	引違い連窓 2連	撤去 1	3,670× 600 窓1,800× 600	F4	スチール SOP	クレセント	内部アングルピース付	→ 建具符号凡例 A D・アルミニウム製ドア T S・トイレスクリーン 」 A W・アルミニウム製窓 T L・トップライト
AW)	(バスケット部)	▽休育室FL     □       □     □       <	(カバー工法)	新設 1	3,570× 480 窓1,750× 480	T4	アルミ押出し型材 (シルバー)	KR、ALF、ALC	網戸	A G・アルミニウム製ガラリ G W・ガラス窓 A P・アルミニウム製パーティション W D・木製ドア S D・スチール製ドア WW・木製窓
3	   1F 体育室(南・北) 	新設 丸鋼Φ13 SOF	。 引違い連窓 2連 格子(別紙参照)	撤去10	3,670× 350 窓1,800× 350	AP3 (縦リブ) 	スチール SOP	クレセント	内部アングルピース付	□ SW・スチール製窓 F ・襖戸 SG・スチール製ガラリ S ・障子 SH・スチール製シャッター R ・欄間 □ SP・スチール製パーティション
4 AW		- 見込 70 - 見込 70	(撤去工法)	新設10	3,670× 350 窓1,800× 350	AP3 (縦リフ゛)	アルミ押出し型材 (シルバー)	KR、ALF、ALC	内部アングルピース付、額縁 網戸、内格子:取外し、復旧	SS・ステンレス製シャッター
$\left(\frac{4}{\text{SW}}\right)$	   1F 放送室	→ ←  窓枠:SOP塗替え	引違い窓	1	1, 200 × 600	₹5-FL5	スチール SOP	クレセント	内部アングルピース付 窓枠、額縁:SOP塗替え	A C・アコーディオンドア (符号前にF表示) 建具金物符号凡例
sw/		<u>▽放送室 F L</u>	(既存のまま)	<u> </u>						BH ・ステンレス丁番3枚吊 PH ・ピポットヒンジ 「FH ・フロアーヒンジ、(NS)はストッパー無しを示す。
5	2F 体育用具室 教官室		引違い連窓 2連	撤去 2 	2,670× 900 窓1,300× 900	F4	スチール SOP	クレセント	内部アングルピース付	A H ・オートヒンジ LBH・ラバトリーヒンジ — DC ・ドアクローザー、(NS)はストッパー無しを示す。
S AW	<i></i>	▼2 F L        見込 70     見込 70	(カバーエ法)	新設 2	2,570× 780 窓1,250× 780	T4	アルミ押出し型材 (シルバー)	KR, ALF, ALC	網戸	CDH・隠ぺい型ドアクローザー、 (NS) はストッパー無しを示す。 DS ・戸当り LBS・ラバトリーストッパー (帽子掛け、戸当り付)
$\left(\frac{6}{\text{sw}}\right)$	2F 体育用具室 教官室	88 窓枠: SOP塗替え	滑出し窓	4	600× 600	FL3	スチール SOP	滑出しアーム、締り ハンドル	内部アングルピース付 窓枠、額縁:SOP塗替え	FB ・フランス落し         NH ・シリンダー錠付握り玉、(N)は空錠を示す。         LH ・シリンダー錠付レバーハンドル、(N)は空錠を示す。         CH ・シリンダー錠付ケースハンドル、(N)は空錠を示す。
SW/		▽2.F L	(既存のまま)							G H ・グレモンハンドル・グレモン締まり M K ・モノロック錠、(ST)はサムターン付を示す。 
$\left(\frac{7}{\text{sw}}\right)$	2F 体育用具室 教官室	SP	滑出し窓	2	450 × 450	FL3	スチール SOP	滑出しアーム、締り ハンドル	内部アングルピース付 窓枠、額縁:SOP塗替え	E C K・非常開放装置付シリンダー錠 T K ・点検口用錠 B K ・浴室錠
		<u>▽2.F L</u>	(既存のまま)							KR ・クレセント(防犯サブロック付)   SH ・締まりハンドル、(NS)はストッパー無しを示す。   PUH・押板・引手・取手   PUB・押棒・引棒(特記以外はステンレス製とする)
8 8 8 8 9 9	2F 卓球場(西)		FIX付引違い窓	撤去 2	2, 600×1, 350 窓1, 800×1, 350 FIX 700×1, 350	FW6.0	スチール SOP	クレセント	内部アングルピース付 	OP ・高所、排煙用オペレーター装置 (一式) FL+1200 AT ・自動開閉装置 (一式) スイッチ位置は施工時確認とする ── DR ・戸車
6 AW		▽2 F L     □       見込 70     見込 70	(カバー工法)	新設 2	2,500×1,230 窓1,750×1,230 FIX 650×1,230	T4	アルミ押出し型材 (シルバー)	KR、ALF、ALC	網戸	A L F・アルミ製水切 A L C・アルミ製額縁(特記以外25×70とする) A L P・額縁取り付け用アングルピース
9 \$W	2F 卓球場(西)		引違い連窓 3連	撤去 1 	5, 100×1, 350 中窓1, 700×1, 350 袖窓1, 600×1, 350	FW6.0	スチール SOP	クレセント	内部アングルピース付 	SDS・ステンレス製沓摺(特記以外は、□ -40×20×1.5とする) SUF・ステンレス製下枠(特記以外は水切型とする) UR ・ステンレス製U形レール、( )内は巾を示す。 VR ・ステンレス製V形レール、( )内は巾を示す。
AW AW			(カバーエ法)	新設 1	5,000×1,230 窓1,600×1,230	T4	アルミ押出し型材 (シルバー)	KR、ALF、ALC	網戸	HR ・ハンガーレール 一 ガラス符号凡例
\$100 \$100	2F 卓球場 (西)		引違い連窓 3連	撤去 1	5, 600 × 1, 350 窓1, 800 × 1, 350	FW6.0	スチール SOP	クレセント	内部アングルピース付	F L 3・5・6 フロート板ガラス F 4・6 型板ガラス T 4・5・8 強化板ガラス
8 AW		D	(カバー工法)	新設 1	5,500×1,230 中窓1,800×1,230 袖窓1,750×1,230	T4	アルミ押出し型材 (シルバー)	KR、ALF、ALC	網戸	R 6 熱線反射ガラス SG3・5 スリ板ガラス FW6.8 網入型板ガラス ※特記を除き菱クロスワイヤーとする。
	2F ギャラリー (南・北)	000 000 000 000 000 000 000 000 000 00	FIX·滑出し FIX付引き違い窓	撤去 8	5,000×3,350 中窓1,600×1,100 袖窓 700×1,100	PW6.0	スチール SOP	滑出しアーム、締り ハンドル、クレセント 	内部アングルピース付	PW6.8網入磨板ガラス ※特記を除き菱クロスワイヤーとする。GB150ガラスブロック ※特記を除き150角(乳白)とする。AP3アルミパネル
9 9 AW FAW		<u>00</u>	FW-9 (カバーエ法) FAW-9 (引抜きエ法)	FW-9 新設 4 FAW-9 新設 4 (防火設備)		PW6.8	アルミ押出し型材 (シルバー)	滑出しアーム SH、KR、ALF、ALC	網戸	注1)・防火設備のガラス留材はシーリングとし、その他は特記を除きシー リング又はガスケット施工とする。
12 SW	2F ギャラリー (南・北)	300 400 400 400 400 400 400 400 400 400	FIX・滑出し FIX付引き違い窓 FW-10 (カバーエ法)	撤去 4	中窓1,300×1,100 袖窓 700×1,100	PW6.0	スチール SOP	滑出しアーム、締り ハンドル、クレセント 	内部アングルピース付	・衝突防止シールは、SUS304 HL 70.8×30φ (両面) 程度とする。
10 10 AW FAW		<u>1.300</u> 1.300	FAW-10 (ガバーエ法) FAW-10 (引抜き工法)	FW-10 新設 2 FAW-10新設 2 (防火設備)	中窓1,300×1,030	PW6.8	アルミ押出し型材 (シルバー)	滑出しアーム SH、KR、ALF、ALC	網戸	注2) ・2階南側ギャラリーAFW-9、AFW10部については 補強材 H-100*100*6*82段式 を建築工事で行う事。
MEMO			TITLE	崇広』	中学校屋内運動場大規模改造					
			DRAWNING	建具表 2	2	SCALE S=1/	200 No A - 2 9			

符号	使用箇所		形式機構(改修	工法)	数量	内法寸法(W×H)	ガラス	材質仕上	建具金物附属品	備考(改修項目)	※ 注 記 1) 金属製建具は全て現寸図提出の上係員の承認を得ること。
WD.	2F ギャラリー (南・北)	N	Ŋ	片開きフラッシュ戸	撤去 1	600 × 1, 800		プリント合板 (メラミン)	丁番、取手 アームストッパー	木三方枠、額縁:SOP塗替	2) 現寸図又は現場の納り上多少の形状寸法の変更はあるものとする。 え 3) 外部金属建具(RC部等取合い)周囲は充分に防水モルタル詰めを行 枠四周はシーリング材(種別は特記による)を充てんすること。 4) 建具金物は特記を除きステンレス製HL仕上とする。
$\frac{1}{WD}$	( <b>肖</b> · <b>礼</b> )	見込 33	見込 33	(撤去工法)	新設 2	600 × 1, 800		プリント合板 (メラミン)	丁番、取手 アームストッパー	木三方枠、額縁:SOP塗替	
(1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	1F 放送室			片開きフラッシュ戸	撤去 1	800 × 1, 800		プリント合板 (メラミン) 内部クロス貼	丁番 握玉付本締錠	木三方枠、額縁:SOP塗替	● 1
$\bigcirc$ WD		見込 33		(撤去工法)	新設 1	800 × 1, 800		ポリ合板	丁番 握玉付本締錠	木三方枠、額縁:SOP塗替	ュ18とする。 え 9) アルミサッシの表面は高耐候型複合皮膜処理とする。
(T)	1F 放送室		→ ←	引違いガラス戸 (既存のまま)	1	1,800× 900	PW6.0	ラワン生地	レール、ネジ締り	額縁:SOP塗替え	世具符号凡例 A D・アルミニウム製ドア T S・トイレスクリーン A W・アルミニウム製窓 T L・トップライト G W・ガラス窓 A P・アルミニウム製パーティション W D・木製ドア S D・スチール製ドア WW・木製窓
	1F 女子トイレ	1,1,1,1,		<u>                                    </u>	撤去 1	3,850+1,000×1,700 扉 700×1,700 扉 450×1,700		プリント合板 (メラミン)	固定金物、頭繋ぎSUS 取付金物、取手		SW・スチール製窓 F・襖戸 SG・スチール製ガラリ S・障子 SH・スチール製シャッター R・欄間 SP・スチール製パーティション
1 TS		見込 30	見込 40	※扉H=1900   扉以外のパネルはハイパネル   仕様 H=2400とする。		2,210+1,350×2×2,000 (700×2,400) 1,160+1,000×2,400 扉 600×1,900		メラミン樹脂化粧板 心材ペーパーコア	内掛錠、LBH・LBS 笠木・巾木SUS HL		SP・ステール器パーティション   SS・ステンレス製シャッター   LD・軽量スチール製ドア
2 1s	1F 男子トイレ	ķ <u>1</u>	40 1 350	トイレスクリーン	撤去 1	1, 000+1, 100×1, 700 扉 700×1, 700		プリント合板 (メラミン) 	固定金物、頭繋ぎSUS 取付金物、取手		A C・アコーディオンドア (符号前にF表示)  建具金物符号凡例
(Z) TS		見込 30	見込 40	※扉H=1900 扉以外のパネルはハイパネル _仕様 H=2400とする。	新設 1	1,040+1,350×2,400 扉 600×1,900		メラミン樹脂化粧板 心材ペーパーコア	内掛錠、LBH・LBS 笠木・巾木SUS HL		B H ・ステンレス丁番3枚吊 P H ・ピポットヒンジ
	1F みんなのトイレ	※有効f F4 φ200-	開口900 引き残し110 1000 円 1000	軽量片引きハンガードア 自閉式	新設 1	1, 030 × 2, 000	F4. 0	扉:化粧鋼鈑	自閉式(傾斜機能) CK(ST)、PUB	三方枠:スチールW160×30 焼付塗装	F H ・フロアーヒンジ、 (NS) はストッパー無しを示す。 A H ・オートヒンジ L B H・ラバトリーヒンジ D C ・ドアクローザー、 (NS) はストッパー無しを示す。 C D H・隠ぺい型ドアクローザー、 (NS) はストッパー無しを示す。 D S ・戸当り L B S・ラバトリーストッパー(帽子掛け、戸当り付)
											FB ・フランス落し NH ・シリンダー錠付握り玉、(N)は空錠を示す。 LH ・シリンダー錠付レバーハンドル、(N)は空錠を示す。 CH ・シリンダー錠付ケースハンドル、(N)は空錠を示す。 GH ・グレモンハンドル・グレモン締まり MK ・モノロック錠、(ST)はサムターン付を示す。 ── CK ・シリンダー本締り錠、(ST)サムターン付を示す。 ECK・非常開放装置付シリンダー錠
											TK ・点検口用錠 BK ・浴室錠 KR ・クレセント(防犯サブロック付) SH ・締まりハンドル、(NS)はストッパー無しを示す。 PUH・押板・引手・取手 PUB・押棒・引棒(特記以外はステンレス製とする)
											OP・高所、排煙用オペレーター装置(一式)FL+1200AT・自動開閉装置(一式)スイッチ位置は施工時確認とするDR・戸車ALF・アルミ製水切ALC・アルミ製額縁(特記以外25×70とする)ALP・額縁取り付け用アングルピース
											SDS・ステンレス製沓摺(特記以外は、□ -40×20×1.5とする) SUF・ステンレス製下枠(特記以外は水切型とする) UR ・ステンレス製U形レール、( ) 内は巾を示す。 VR ・ステンレス製V形レール、( ) 内は巾を示す。 HR ・ハンガーレール
	1	I						1	1	1	── ガラス符号凡例 FL3・5・6 フロート板ガラス

4 AW スチール格子 (1階体育室 南、北側) 数量 10ヶ所

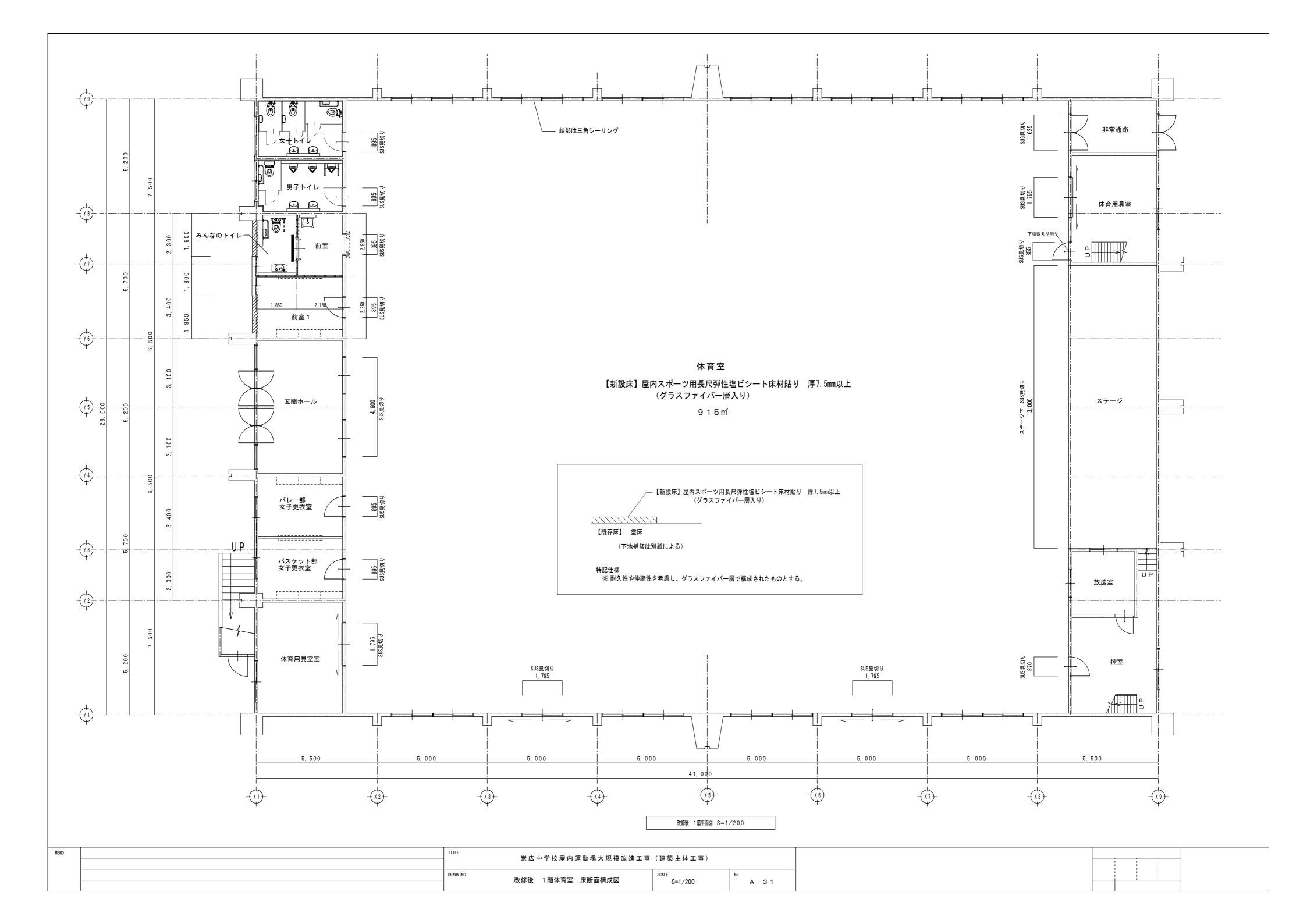


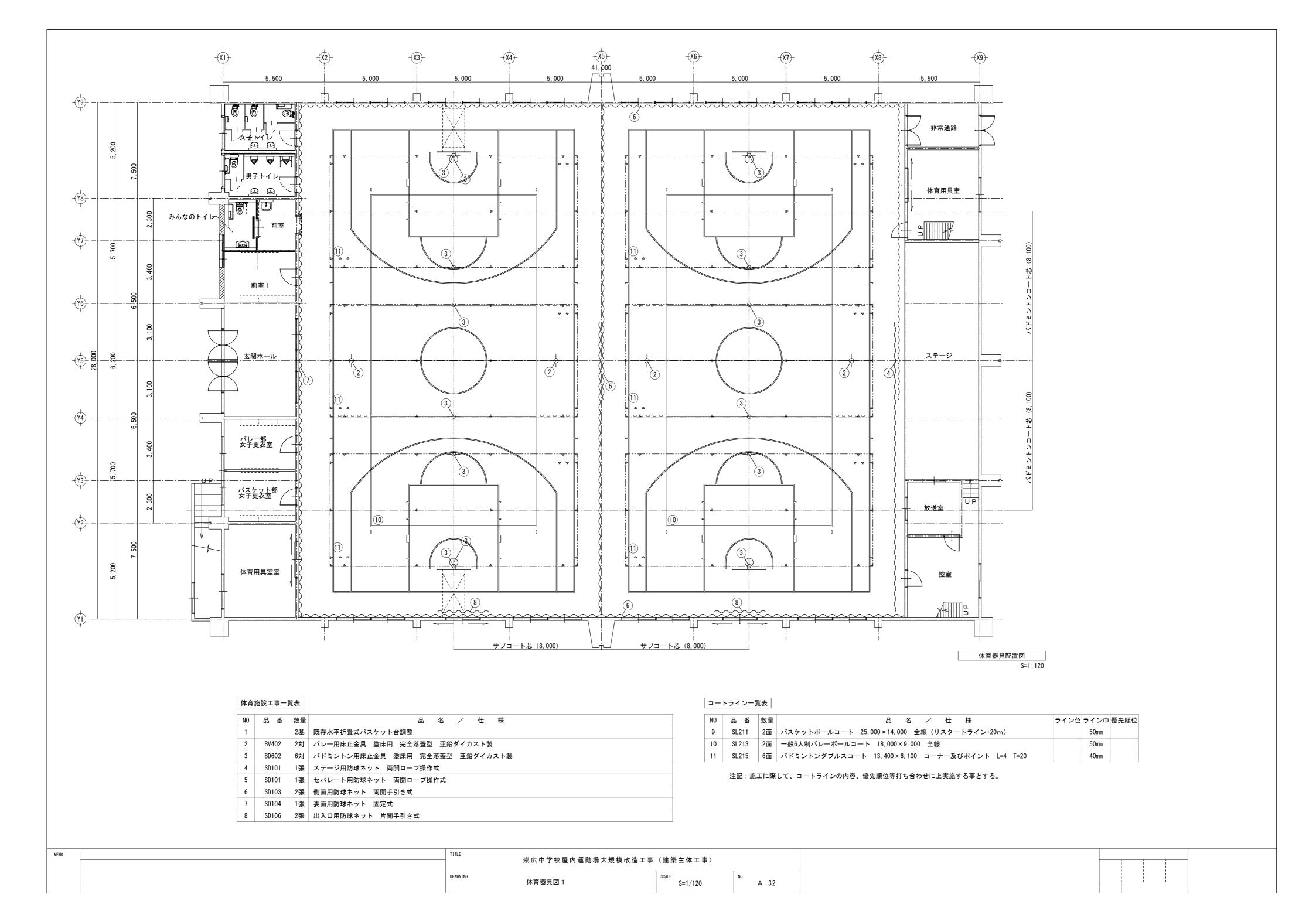
F 4・6型板ガラスT 4・5・8強化板ガラスR 6熱線反射ガラス 熱線反射ガラス SG3 · 5 スリ板ガラス

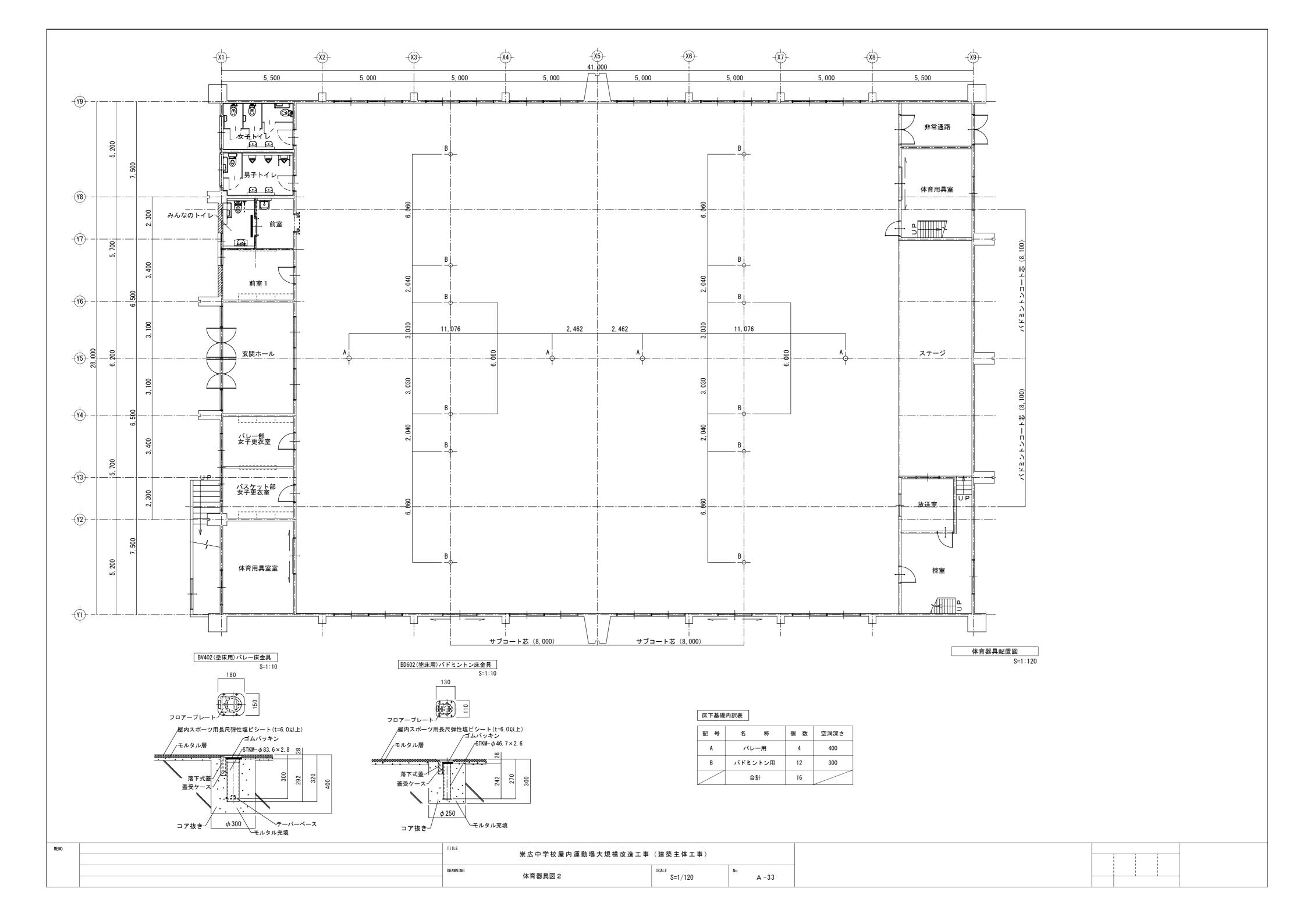
FW6.8 網入型板ガラス ※特記を除き菱クロスワイヤーとする。 PW6.8 網入磨板ガラス ※特記を除き菱クロスワイヤーとする。 GB150 ガラスブロック ※特記を除き150角(乳白)とする。 AP3 アルミパネル

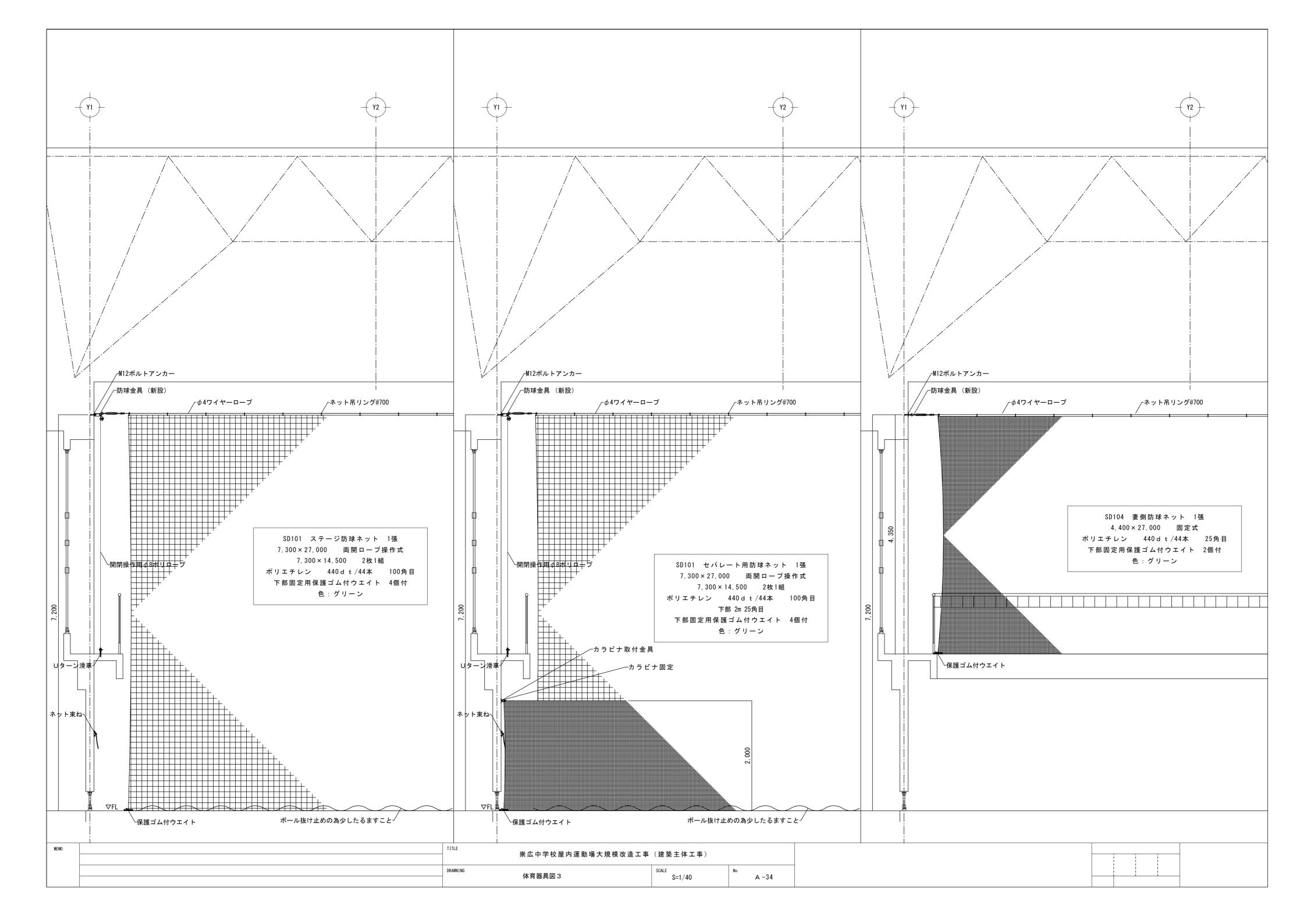
注)・防火設備のガラス留材はシーリングとし、その他は特記を除きシーリング又はガスケット施工とする。 ・衝突防止シールは、SUS304 HL 70.8×30 φ (両面)程度とする。

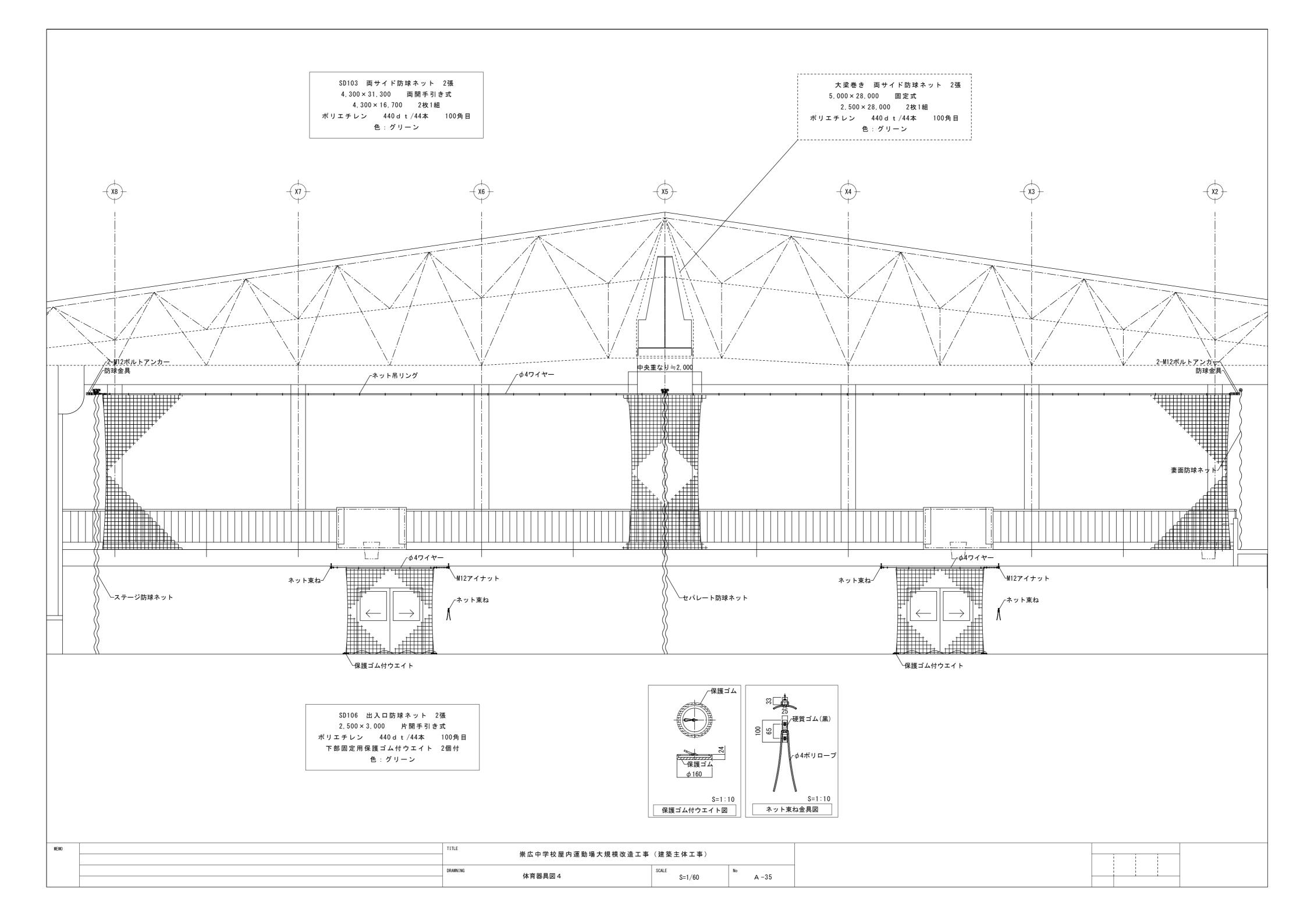
МЕМО	TITLE	崇広中学校屋内運動場大規模改造工事	(建築主体工事)	
	DRAWNING	建具表 3	SCALE S=1/200	No A — 3 O

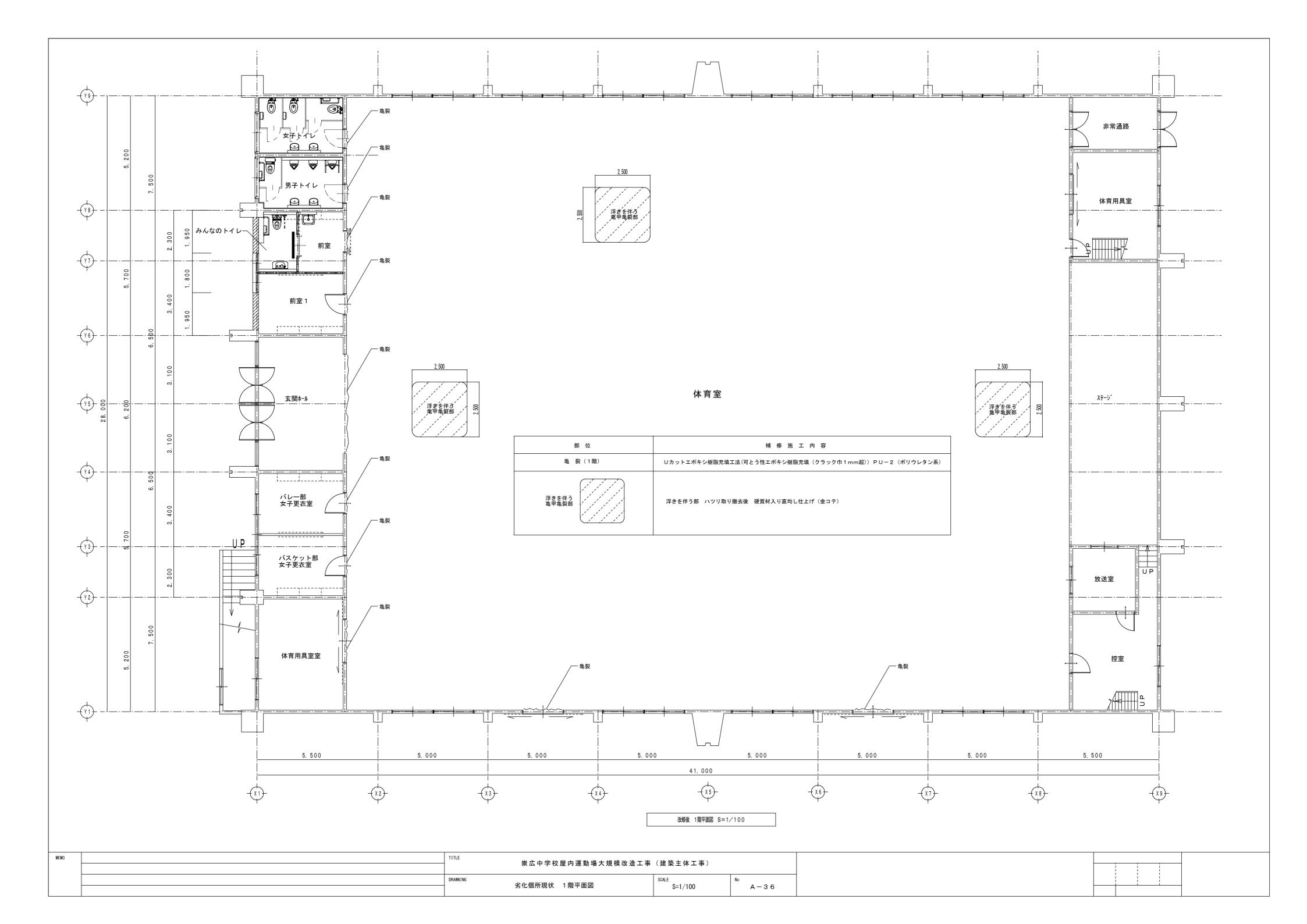


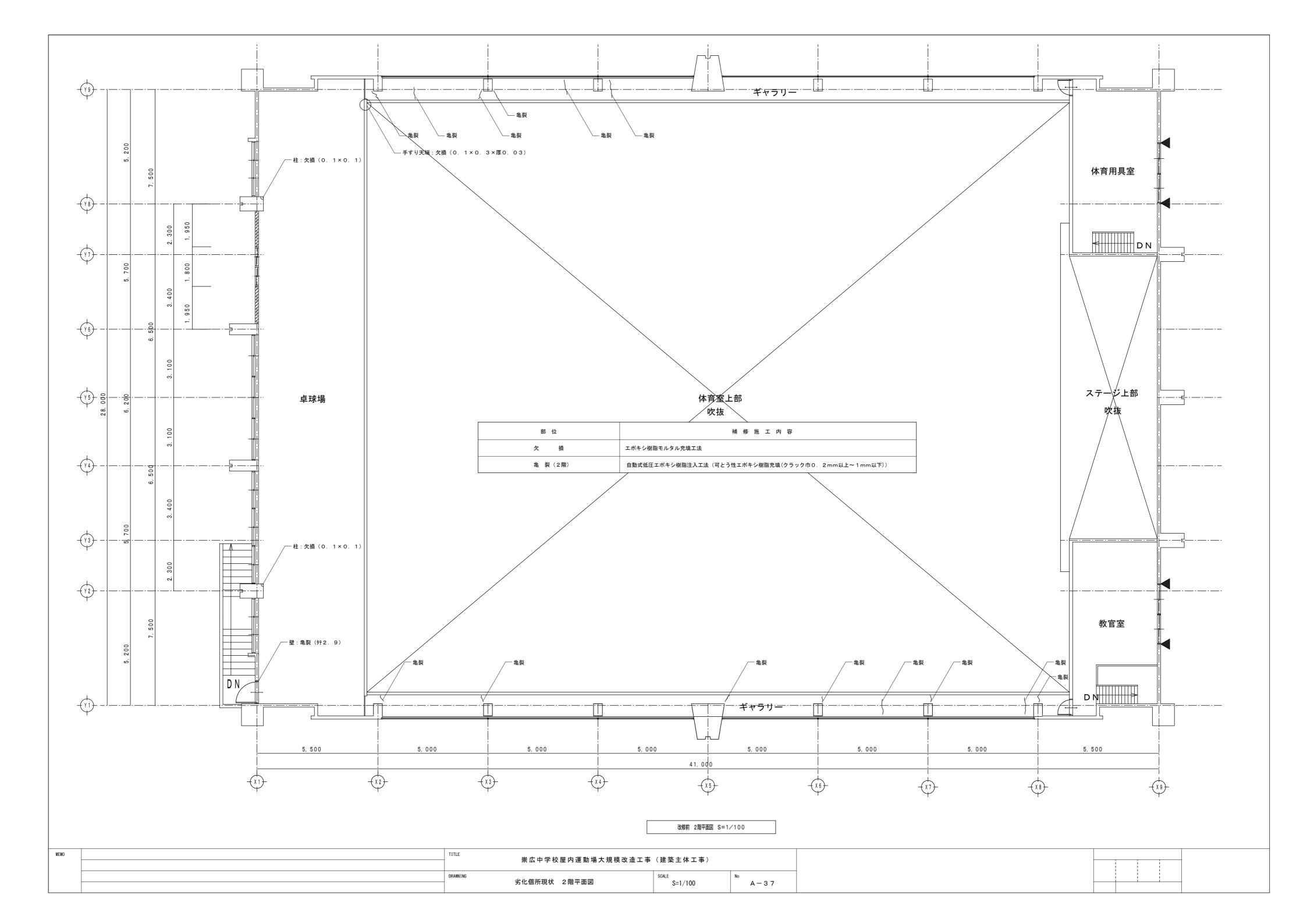


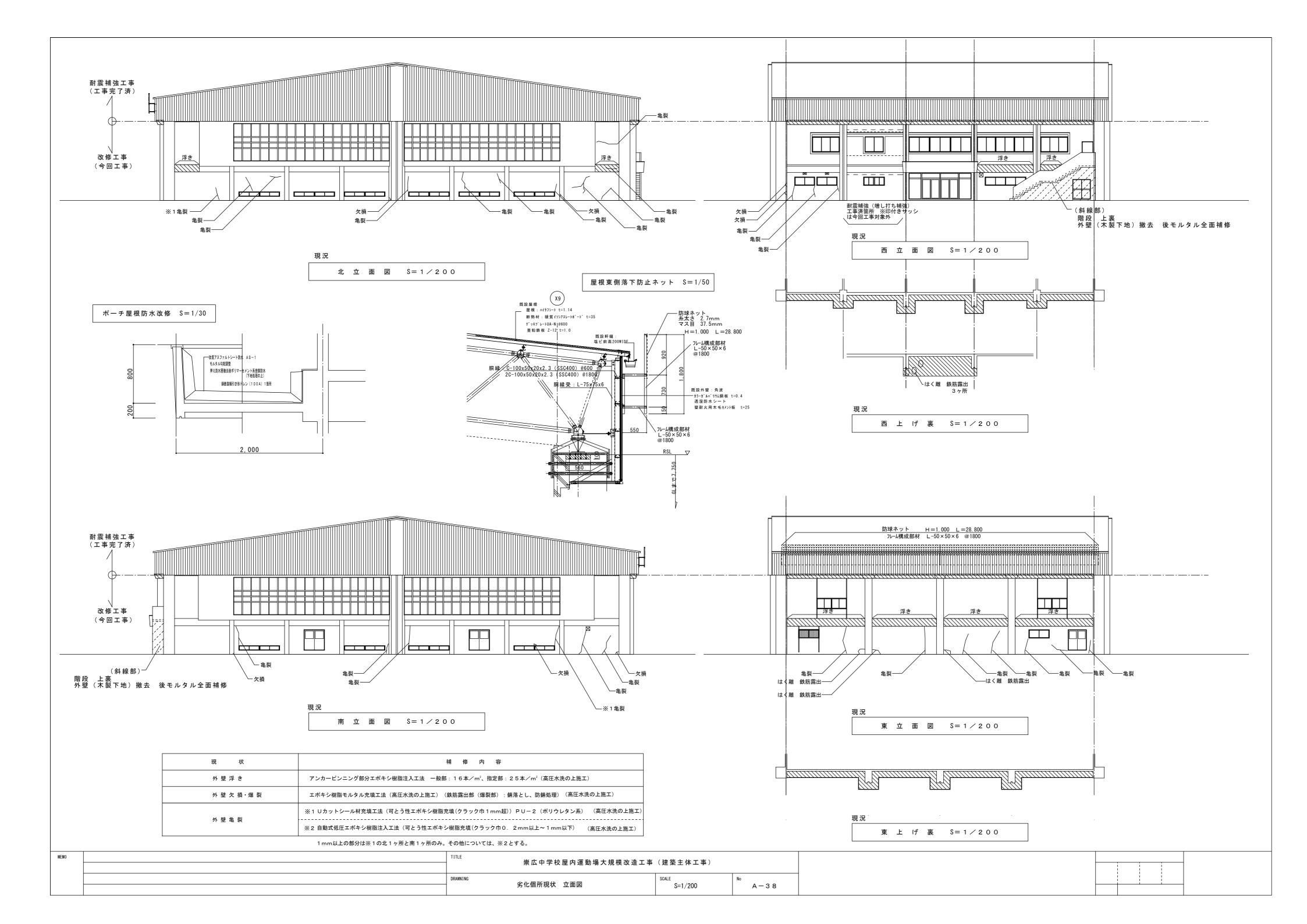


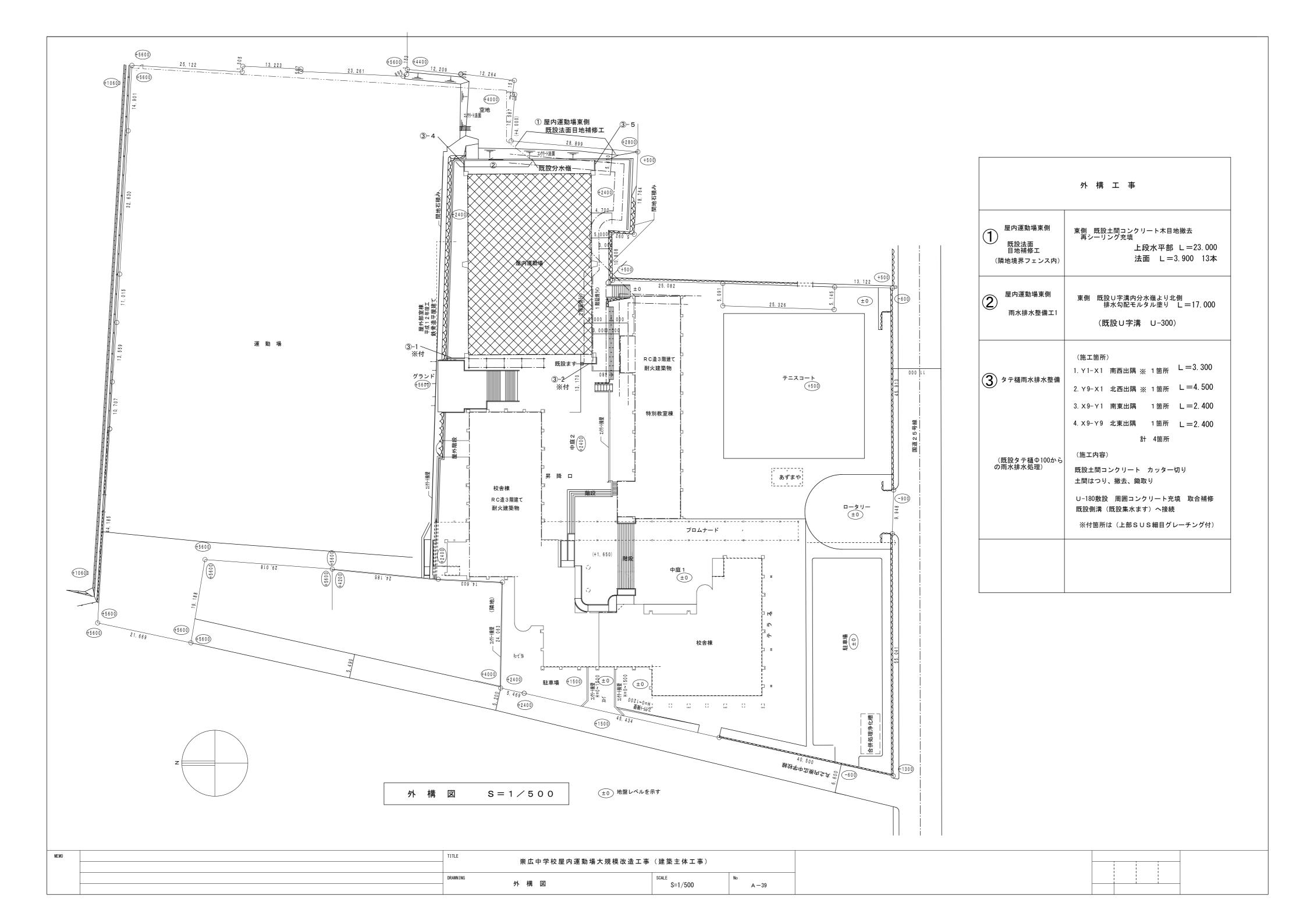












[										
		C 事 特 記 仕 様	・ 童 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	たものを本工事に適用する。	工事範囲				○ 設計空気条件	<夏季>   乾球温度℃   湿球温度℃   相対湿度%   <冬季>   乾球温度℃   湿球温度℃   相対湿度%
	1成 1瓜		· 音	こものを本工事に適用する。	」 │ ◎ 給水方式	◎ 水道直結方式			(指示なきは建設省建築	「大変字/   記水温度
建築概要						○ 高架水槽方式	○市水		機  設備設計基準による)	室内条件 28.0 室内条件 20.0
工事名称	崇 広 中 学 校 屋 内 運 動 場 大 規 模 改 造 工	事				○ 圧送方式	○ 圧力タンク ○ 回転数制御		]   設 	至约末件 20.0
工事場所	三重県 伊賀市 地内		* 建築	仕 様 書 参 照	□	○ FRP製	○ 一体型 ○ 複合板 ○ 単板		備   熱源機器	○ 冷温水発生機 ○ チラー (○ 空冷HP ○ 空冷 ○ 水冷HP ○ 水冷)
7+ 44		77 2 71+			-		○ パネル型 ○ 複合板 ○ 単板			○ 温水ボイラー ○ 氷蓄熱
	日本 構造 階数	延べ面積		備考		○ ステンレス製	<ul><li>○ 一体型</li><li>○ パネル型</li></ul>		○ 放熱器	O EHP O GHP O FCU O ACU
屋内注	軍動場 R C造 2階建て	r	n <sup>2</sup>			〇 鋼鈑製	<ul><li>○ 一体型</li><li>○ パネル型</li></ul>		○ その他	$\bigcap$
					高架水槽 本体		○ 一体型 ○ 複合板 ○ 単板		○ 配管方式	○ 冷媒配管 ○ 冷温水配管 ○ 冷却水配管 ○ 温水配管
一般事項						011112	○ パネル型 ○ 複合板 ○ 単板		○配管材料	○ 冷媒管       ○ 冷媒用鋼管       ○ 冷媒用被覆鋼管
<u>した。                                   </u>		女工市研准从长妻 / 懒绿乳供	- 本伝〉.		-	○ ステンレス製	○ 一体型 ○ パネル型			○ 冷温水管 ○ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管
週用は体音	● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建				■ II # H W				-  管	
		<b>染改修工事標準仕様書(機械</b>			□ □ ◎ 配管材料	◎ ライニング鋼管				○ 冷水・温水管 ○ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○ マスパットル ○
		&設備工事標準図(機械設備					地中 VD PD SUS		1/10   	○ 冷却水管       ○ ライニング鋼管 (○ VA ○ VB)       ○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)       ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P)
		<b>桑改修工事標準仕様書(機械</b>				● 硬質ポリ塩化ビニル	_	○ VP ○ ポリ管		○ ドレン管       ○ 配管用炭素鋼鋼管 (白)       ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○ 断熱ドレンホース
	_	ロ・衛生設備工事標準仕様書	:]			○ さや管工法	○ 架橋ポリ管 ○			○ 油管     ○ 配管用炭素鋼鋼管 (黒)     ○ 外面塩ビ被覆鋼管
		<b>⋕工事共通仕様書</b> 」			│ │	直結部分	◉ 水道業者指定品			<ul><li>○ 蒸気管</li><li>○ 配管用炭素鋼鋼管(黒)</li></ul>
	● 所轄水道局 ○ ガス供給社内規 ◎ 消防	関係法規(所轄署指導要網含	む) 📵 その他関連法規			その他の部分		kgf/cm2	○ 弁 類	$\bigcirc$ JIS 5 kgf/cm2 $\bigcirc$ JIS 10 kgf/cm2
優先順位	1. 現場説明事項·質疑応答書 2. 本特記	±様書 3.設計図書	4. 工事共通仕様書		□ 量水器	○ 貸与品	○ 買取品(私設)			呼び径100A以上の弁は係員と協議の上バタフライ弁を使用してよい。
申請手続	工事に伴う官公署への申請・届出は請負者におい	て行う。これに伴う費用も本	工事の含む。		○ 引込加入、市納金	等 〇 要	○ 別途工事 ○ 本工事		○その他	0
疑 義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明	は事に起因する問題点、疑義	についてはその都度監督員	と協議する事。	1   1	○ 不要			〇 〇 風 道	○ 低速風道 ○ 高速風道
変更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法	見上当然必要と認められるも	のについては、本工事に含む	 むものとする。	<ul><li>● その他</li></ul>		 マーが生じる恐れのある配管経路へは有効な防止機器を取っ	付ける	ダ ○ 風道材質	○ 亜鉛鉄板 ○ 塩化ビニルライニング鋼鈑 ○ ステンレス鋼鈑 ○ グラスウールダクト ○ 消音フレキ
工程表	実施工程表、月間工程表を関連業者間にて十分協						I) は抜け防止措置を施すこと		1 1 0 1 1 1 1 1	<ul><li>○ アルミニウム製 ○ 鋼鈑製 (指定色焼付塗装)</li></ul>
施工図	請負者は施工に先立ち、施工計画書、工種別施工			- <i>L</i>	●排水方式	屋内	<ul><li>⑥ 分流方式</li><li>⑥ 合流方式</li></ul>		備	O THIS O SHAWA (III.C IIII) EAT
	施工図等の作成に際し、施工上密接に関連する工			<b></b> 0		屋外	● 分流方式 ○ 合流方式		● 換気方式	<ul><li>○ 集中換気</li><li>⑥ 個別換気</li></ul>
   機器及び材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め			±4□1j	-     i	雨水			<ul><li>● 模式方式</li><li>●</li></ul>	○ 低速風道 ○ 高速風道
川波加及い竹村寺	本事に関用する機器及び材料寺に Jいては、アの1 その他諸資料を事前に届け出ること。 尚、図面1				水● 放流先	汚 水		併処理槽 ○ 既存桝		<ul><li>○ 16迷風退</li><li>○ 車鉛鉄板</li><li>○ 塩化ビニルライニング鋼鈑</li><li>○ ステンレス鋼鈑</li><li>○ 硬質塩化ビニル管 (VU) ® スパイラルダクト</li></ul>
					設					
	メーカーの選定にあったっては、同等品以上の性情			調達推進に関する法律	VIII	雑排水	○ 下水管 ● 既設合併処理槽 ○ 側溝又			○ アルミニウム製 ○ 鋼鈑製(指定色焼付塗装)
	(グリーン購入法)を考慮し、再生品などの環境に			at the selection		雨水		は河川	備 ○ 耐火被覆	○ 湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、	工事写真、日報、材料検収簿、完成	成写真、竣工図、取扱説明書等 と	:りまとめ提出すること。	● 配管材料	屋内汚水管		塩ビライニング鋼管(可とう継手又はMD継手)	● その他	0
	完成原図1部, 青焼A3版2つ製本(文字入, 表紙, 背共)28	B, 青焼A2版2つ製本(文字入, 表	長紙, 背共) 2 部, 完成図面電子デ-	-タJWW形式CDR1枚	<u> </u>		<ul><li>● 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 耐火被</li></ul>	覆ビニル管	□ 風道材質	○ 亜鉛鉄板 ○ 普通鋼鈑(厚 1. 6 mm)
工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の持	最り方(改訂版)一建築設備	編」によるほか、監督員の	指示により撮影し提出する。		雑排水管	○ 配管用炭素鋼鋼管(白)	塩ビライニング鋼管(可とう継手又はMD継手)	│	<ul><li>○ 天井取付 (○ スリット形 ○ スイング形)</li></ul>
	全写真のサムネールを印刷そたもの(A4版)1部,代表	₹的写真を抽出し, L版相当サイン	ズで印刷(A4版用紙に1ペー	ジ3枚)印刷したもの1部			● 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	覆ビニル管 🔾 耐熱塩化ビニル管(HT)	││排│ ○ 排煙口開放装置	○ 手動 ○ 手動及び遠隔操作可能なもの
耐震措置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐	震設計・施工指針」による。			7	通気管	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) ● 硬質ポリ塩化ビニル	ル管(VP)   〇 耐火被覆ビニル管	□	○ 遠隔形 ○ 手元形
発生材処分	発生材を処分する場合は、「廃棄物の処理及び清	- 帚に関する法律」及び「再生	資源の利用の促進に関する	法律」に基づいて適正に	7	屋外排水管	○ 遠心力鉄筋コンクリート管 (外圧管	○ 2種 ○ 1種)	備 ○ 排煙風量測定	② 建築設備定期検査業務指導書(日本建築設備安全センター)の排煙風量の検査方式に準ずる。
	処理する。(マニフェストA、、D、Eの写しを	是出すること)					○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○ 硬質ポ	リ塩化ビニル管(VU)[150以上]	○ その他	0
	建設リサイクル法(三重県指針)に基づき再生資		原料等を通じて、資源の有意	効な利用の確保		○ 公団形(B種)			制御方式	○ 電子 ○ 電気 ○ 空気
	及び廃棄物の適正な処理を図り、もって生活環境(				○ その他	○ 各階に伸縮継手		3 = 1 11	島 ○ その他	
その他	工事に必要な又は支障となる既設配管、機器の脱			行うこと	● ● 大便器洗浄方式	(a) F V	● 節水形 ○ 低圧形		制御	
	工事着者前に漏水の有無を確認すること、又工事			11,700	衛生	<ul><li>漁 洗浄タンク</li></ul>	3 12 211		· 設———— · 備	
			(V)   (V)		-   露   ● 水 栓	● 節水コマ (泡沫	式は除く) 普通コマ		メーカーリス	下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。
特記事項					設 一	<u> </u>	区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける。		管と継手共	水マーク表示品/WSP表示品/JISマーク表示品/HASS表示品/JPF規格品/SAS規格品
	水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設で				→ 給湯方式	〇 中央式	○ ボイラー ○ 温水機 ○ ガス給	湯器 ① 電気温水器	弁 青銅弁・鋳鉄弁	JISマーク表示品
	等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じない。		指針」により施工する。		10	○ 局所式	○ ガス給湯器 ○ 瞬間湯沸器 ○ 電気温:		保温材 RW・GW保温	材 JISマーク表示品
	部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に					○ 銅管	(	) L)	ポンプ ポンプ類	評価事業名簿による
	(給水、ガス、消火) は充分な可撓製を有する変位吸り				湯  〇	○ ステンレス鋼管			衛生器具   衛生器具類	JISマーク表示品 JIS規格以外:INAX/TOTO
	部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはVP^		使用することができる。		-	-	ビニルライニング鋼管 ○ 内外面耐熱性硬質塩化ビニル		水槽 FRP水槽	積水プラント/日立化成/ブリジストン/三菱樹脂
	管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路				411	○ 耐熱性硬質塩化			鉄パネル水槽	積水プラント/ブリジストン
	ート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則として		0		│ │ │ │ 燃 料	○都市ガス	○ LPG ○ 灯油 ○ A重油		桝桝類(公団型)	協和コンクリート/桑名工業/昭和工業/ネオジオ/丸八産業
	間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。				→	○ 都市ガス	(種別 発熱量	k c a l /m3)	横類(塩ビ桝)	日本下水道協会、排水設備用樹脂製マス協会規格対象品又は準拠品
● 屋外露出及び	多湿箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS)	スはSS溶融亜鉛メッキ仕上	げとする。			O MINION I	供給事業者名	,,		オオタケファンドリー/カネソウ/ダイドレ/中部コーポレーション/南濃鋳工/福西鋳物/ホクキャスト
● 機器・配管・〕	支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶	<b>彖処理をおこなう</b> 。			_   <del>  j</del>	○ 液化石油ガス	(発熱量 12,000kcal/kg)		.   新数数	評価事業名簿による
	基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー(ステン	ノス製)とする。			ス		「	チレン被覆錮管「地山押設部」 ( ポリ管		愛知時計電機/金門製作所/リコーエレメック
共 通 事 項	-						、供給事業者の仕様による。	アレン 版度明日 [地平生政部]		伊藤工機/桂精機製作所/藤井合金製作所/富士工器
保温工事	● 保温施工範囲は共通仕様書による。				_	○ 別途工事	○ 本工事			市ガス)がス供給者の承認する製造者の製品
	● 保温施工種別 │ ○ 共通仕様書による。					ボンベ	( 10kg 20kg 50kg		ガス給湯器(L	
	● 下表による。(但しダ	フト、機器、煙道は共通仕様	書による。)						l	
	屋内露出	ガニット 山 原泡生		樹脂カバー		転倒防止鎖等	( 本工事 別途工事)		ガス警報 ガス警報システ   厨房機器   厨房システム	
		グラスウール保温筒 ポリスチレンフォーム保温筒		/倒脂カハー レス鋼鈑仕上げ		<ul><li>○ 要</li><li>○ 不要</li></ul>	U EXA U		厨房機	評価事業名簿による オルガノ/栗田工業/サンエイ工業/三協/三進ろ過工業/タクマ/理水化学工業
							<u> </u>			
	天井・PS内	グラスウール保温筒		ガラスクロス	○ メーター	○ 貸与品	○ 買取品		滅菌機滅菌機	機村製作所/オーヤラックス/水道機工/日本曹達
	床下・暗渠内	グラスウール保温筒	防水麻布(アス	.ファルトプライマー)	│ │ │ ○ ガス漏れ検警報器		○ 別途工事		消火設備 消火栓類	立売堀製作所/岸本産業/北浦製作所/村上製作所/横井製作所
	● 保温厚さ ● 共通仕様書による。				1	○一般形	自動遮断弁付		消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品
	<ul><li>○ 大温は深ましている。</li><li>○ 下表による。(但し機)</li></ul>	器、煙道は共通仕様書による	. )		│ │ ○ 引込納付金等	○ 要	○ 別途工事 ○ 本工事			・泡消火 ノーミ/ニッタン/日本ドライケミカル/能美防災/ホーチキ
	J 721-0:00 (120 102)				1	○ 不要			特殊ガス消火	川重防災工業/セコム/日昭・林テクノス/日信防災/ニッタン/能美防災
		80A以下	100~150A	200A以上	○その他	10			浄化槽 合併浄化槽 (R	
	給排水管・給湯管・温水管・ドレン管	20mm	25mm	40mm		○ 屋内消火栓	○ 屋外消火栓 ○ スプリンクラー ○ 泡消火	_		RP製) 建設大臣型式認定品
	消火管(但し屋外・屋内露出のみ)	ZVIIIII	ZJIIIII	TUIIII	119	○ 連結送水管	○ 連結散水管 ○ 移動粉末消火 ○ フード	消火 / 消火器	簡易水洗 クリーントイレ	INAX/積水化学工業/ネポン/日立化成工業/松下電器産業/ロンシール
		25A以下	32~200A	250A以上	消 屋内消火栓箱	◯ HB-1A	○ HB-1B         ○ HB-2A         ○ HB-2B		ブロア ブロア	朝日機工/アンレット/新明和工業/安永
		- JAM1	32 230A	- 0 0 A WT	設	◯ HB-3A	○ HB-3B ○ HB-4A ○ HB-4B	○ \$	グリストラップ グリス・ガソリン	ラップ カネソウ/栗本鐵工所/下田機工/積水プラントシステム
	冷水管・冷温水管	30mm	40mm	50mm	備 屋外消火栓箱	○ HB-21	○ HB-22		製缶類 製缶類・熱交換	
					○ 連結送水管	○ HB-11A. B	○ HB-12A. B		空気調和機 パッケージ形空	調機 ダイキン工業/東芝/日立製作所/松下電器産業/三菱重工業/三菱電機
	○ 冷媒配管の露出部は化粧ケース仕上げとする。				○ 配管材料	○ 鋼管	( ) JIS G 3452	<ul><li>消火用塩ビ外面被覆鋼管(VF)</li></ul>	ガスエンジン空	調機 アイシン/三洋/三菱重工/ヤンマー
工事種別					消火栓弁	◯ JIS 10 kgf/cm2			防振装置 防振材・防振装	置 倉敷化工/高砂ゴム/特許機器/ブリヂストン/明和ゴム化成
	屋外屋内		屋外	屋内	○ その他	消火栓箱は指定	色焼付塗装とする。		加湿器 加湿器	ウェットマスター/ピーエス工業/山武軽装
給排水衛生設備		空調設備			○ ○ ろ過方式	○砂	○ フィルター		送風機 送風機類	評価事業名簿による
給水設備	0 0	機器設備		0	ろり制御	○ 全自動	○ 手動		換気扇 換気扇類	栗田工業/東芝/日立製作所/パナソニックエコシステムズ/三菱電機
		配管設備		0	→ 過 ○ 配管材料	○ 配管用炭素鋼鋼		○ 耐熱性硬質塩化ビニル管	ダクト付属品 吹出口・吸込口	
排水設備	O		1	<del>-</del>	ight   ight	0		<u>-</u>	風量ユニット	エアコンスター/クボタ/新晃工業/東プレ
	O	ダクト設備				. ~				The second secon
排水設備 衛生器具設備		ダクト設備		( )	<del>      -   -   -   -   -   -   -   -   -</del>	○ 合併	○ 単独		││ ダクト │ 亜鉛鉄版	JIS規格品
排水設備 衛生器具設備 給湯設備	<ul><li></li></ul>	ダクト設備 換気設備		<u> </u>	○   ○   ○	○ 合併 算定人員	────────────────────────────────────		ダクト <u>亜鉛鉄板</u> ステンレス鋼銃	JIS規格品
排水設備 衛生器具設備 給湯設備 ガス設備		ダクト設備 換気設備 排煙設備		<u> </u>	方式・容量	算定人員	人槽 処理水量 m3/日		ステンレス鋼鈸	JIS規格品
排水設備 衛生器具設備 給湯設備 ガス設備 消火設備	© 0 0	ダクト設備 換気設備		0	○ 方式・容量 浄化	算定人員	人槽 処理水量 m3/日 )コンクリート既製管 ○ RC躯体		ステンレス鋼鈸 スパイラルダク	J I S規格品 ト 大阪ラセン管工業/栗本鐵工所/泰弘/富士空調工業/フジモリ産業
排水設備 衛生器具設備 給湯設備 ガス設備 消火設備 ろ過設備	© O O O	ダクト設備 換気設備 排煙設備		0	○ 方式・容量 浄化	算定人員 ○ FRP製 ( ○ 要	人槽 処理水量 m3/日		ステンレス鋼鉱 スパイラルダク フレキダクト	JIS規格品         ト       大阪ラセン管工業/栗本鐵工所/泰弘/富士空調工業/フジモリ産業         アライ実業/オーツカ/栗本鐵工所
排水設備 衛生器具設備 給湯設備 ガス設備 消火設備	© 0 0	ダクト設備 換気設備 排煙設備		0	方式·容量 浄 化槽	算定人員	人槽 処理水量 m3/日 )コンクリート既製管 ○ RC躯体		ステンレス鋼鈸 スパイラルダク	J I S規格品 ト 大阪ラセン管工業/栗本鐵工所/泰弘/富士空調工業/フジモリ産業
排水設備 衛生器具設備 給湯設備 ガス設備 消火設備 ろ過設備	© O O O	ダクト設備 換気設備 排煙設備		0	方式・容量	算定人員  FRP製  要	人槽 処理水量 m3/日 ) コンクリート既製管 ○ RC躯体 ○ 不要		ステンレス鋼鉱 スパイラルダク フレキダクト	JIS規格品         ト       大阪ラセン管工業/栗本鐵工所/泰弘/富士空調工業/フジモリ産業         アライ実業/オーツカ/栗本鐵工所
排水設備 衛生器具設備 給湯設備 ガス設備 消火設備 ろ過設備 浄化槽設備	© O O O	ダクト設備 換気設備 排煙設備		0	方式・容量	算定人員  FRP製  要	人槽 処理水量 m3/日 )コンクリート既製管 ○ RC躯体		ステンレス鋼鉱 スパイラルダク フレキダクト	JIS規格品         ト       大阪ラセン管工業/栗本鐵工所/泰弘/富士空調工業/フジモリ産業         アライ実業/オーツカ/栗本鐵工所
排水設備 衛生器具設備 給湯設備 ガス設備 消火設備 ろ過設備 浄化槽設備	© O O O	ダクト設備 換気設備 排煙設備		0	方式・容量	算定人員  FRP製  要  C	人槽 処理水量 m3/日 ) コンクリート既製管 ○ RC躯体 ○ 不要	No M — O 1	ステンレス鋼鉱 スパイラルダク フレキダクト	JIS規格品         ト       大阪ラセン管工業/栗本鐵工所/泰弘/富士空調工業/フジモリ産業         アライ実業/オーツカ/栗本鐵工所

#### 凡

記号	名 称	記号	名 称	記号	名 称	
			給水栓	8	スパイラルダクト	
	屋外排水管	<b>∑</b>	フラッシュ弁		撤去機器・配管類を示す	
	汚水・雑排水管	<b>—</b>	床上掃除口		既設撤去機器・配管類を示す	
	通気管		天井換気扇・排気ファン			
——— GV	仕切弁	▷ = ▷	パイプフード			

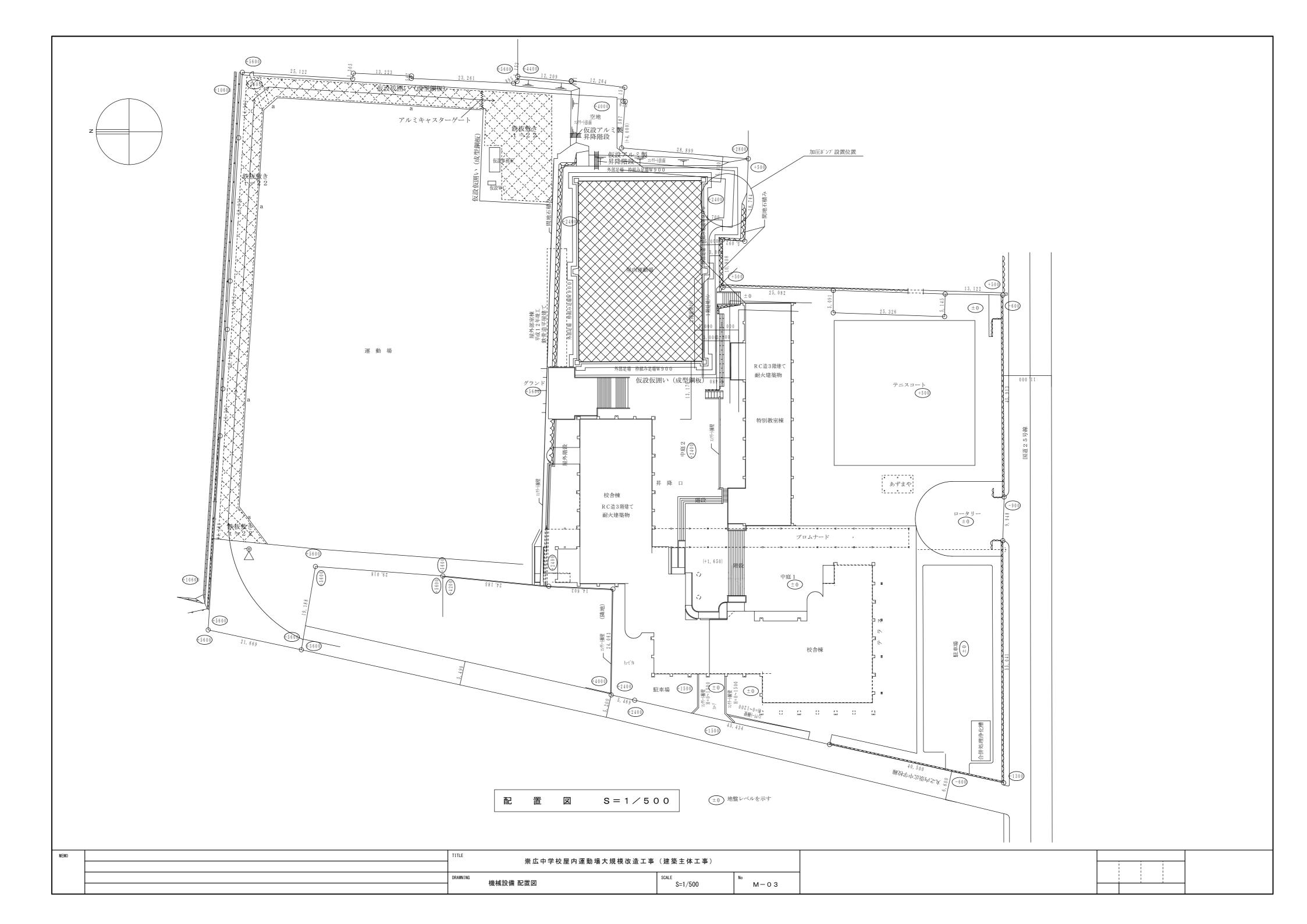
### 衛生器具表

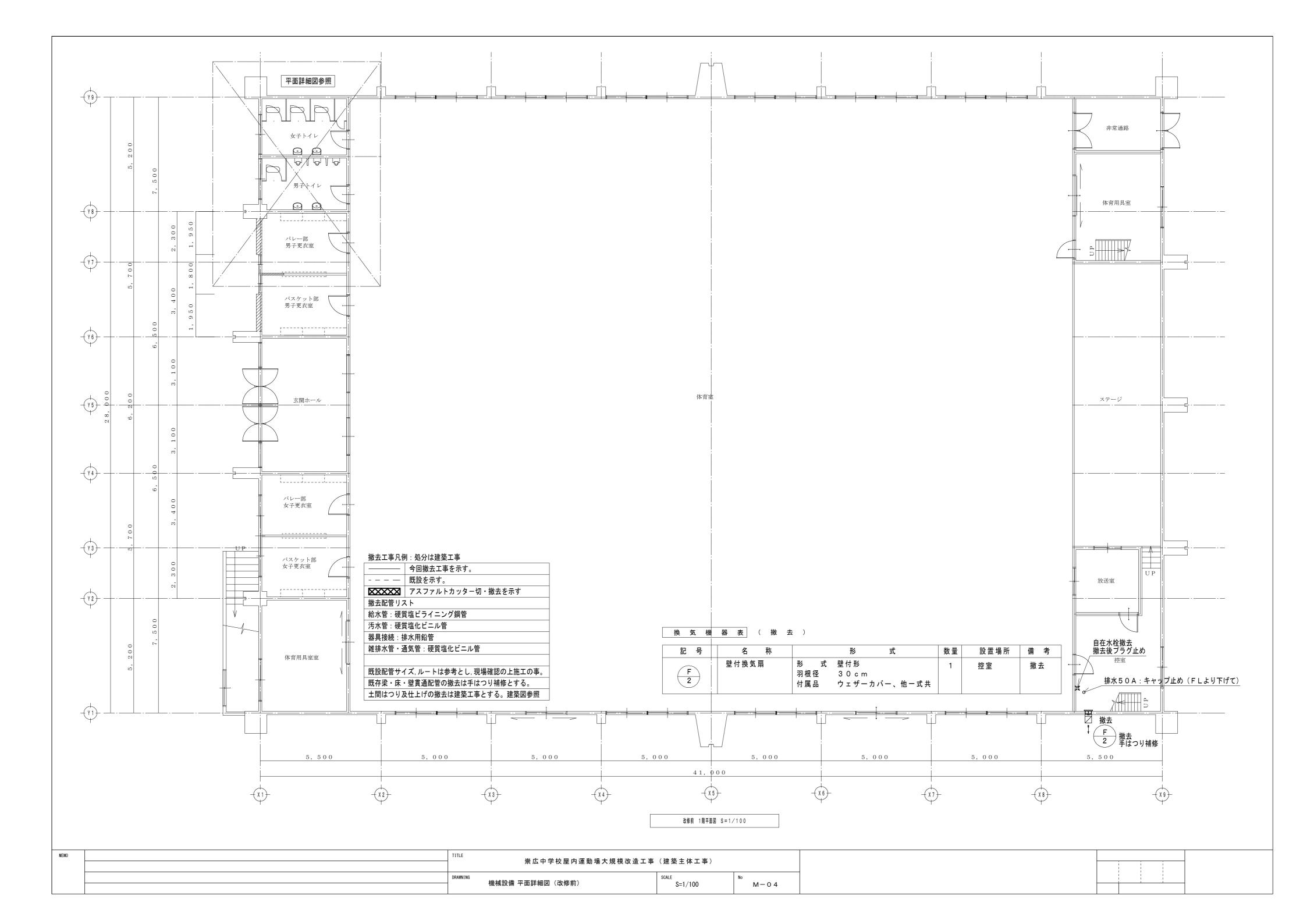
				男	女み
名 称	参考品番(TOTO)	参考品番(LIXIL)	合計	チトイレ	女子トイレ
洋風便器	CFS465,TV560CP(FV),TC291J(普通便座:蓋無),TS153S,T56PH,HP4307,YH702(二連紙巻器)	C-P 2 5 S, C F-T 7 1 1 4 A (F V), C F-5 C E C (普通便座), C F-1 1 5-1, C F-1 1 5-2, C F-5 1 B, C F-6 3 H S T (二連紙巻器)	3	+	3
洋風便器	CS597BS,SH596BAYR,TC291J (普通便座:蓋無),YH702 (二連紙巻器)	BC-P20S, DT-PA250CHTK, CF-5CEC(普通便座), CF-63HST(二連紙巻器)	1	1	
洋風便器	CS597BCS,SH596BAYR,TCF5840AUP(温水器付洗浄便座:蓋無),YH702(二連紙巻器)	BC-P20SM, DT-PA250CHTK, CW-PC12QC-NECK(温水器付洗浄便座:蓋なし), CW-201PJ, CF-008-1, CF-63HST(二連紙巻器)	1		1
L型手すり	T 1 1 2 C L 1 1, 固定金具共	K F-9 2 6 A E R 8 0 D 2 5 J, 固定金具共	3	1	1 1
はねあげ手すり	T 1 1 2 H K 7, 固定金具共	K F-4 7 1 E H 7 0 J, 固定金具共	1		1
背もたれ	EWC385CS, 固定金具共	K F C-2 7 1 T 1 U 2, 固定金具共	1		1
センサーー体型小便器	UFS900R	U-A51AP	3	3	
小便器用手すり	T 1 1 2 C U 2, 固定金具共	K F-7 0 1 A E J, 固定金具共	1	1	
掃除流し	SK22A, T23AE20C, T37SGEP, TN114, T9R, TK22, HH04060	S-202A, LF-7KE-19, SF-20SAF-P (AY), SF-202, SF-10E (AY)	1		
カウンター一体型洗面器	L270CM, TEN77G1 (自動単水栓), T7SW1, T6BR, T156PH, TL220D, TS126AR (水石鹸入れ)	L-275FCRS, AM-211V1(自動単水栓), LF-275SAU, SF-10E, KF-30DN, KF-24F(水石鹸入れ)	1		1
洗面器	L 2 1 0 C, T E N 4 1 A (自動単水栓), T 7 P W 1, T L 2 5 0 D, H H O 4 O 6 O	L-176UFCR, AM-200V1(自動単水栓), LF-281PAU, SF-10E(AY), AY-55DN	4	2	2
化粧鏡	YM4575A (450X750)	KF-W450H750	1		1
化粧鏡	YM4560A (450X600)	KF-4560A	4	2	2

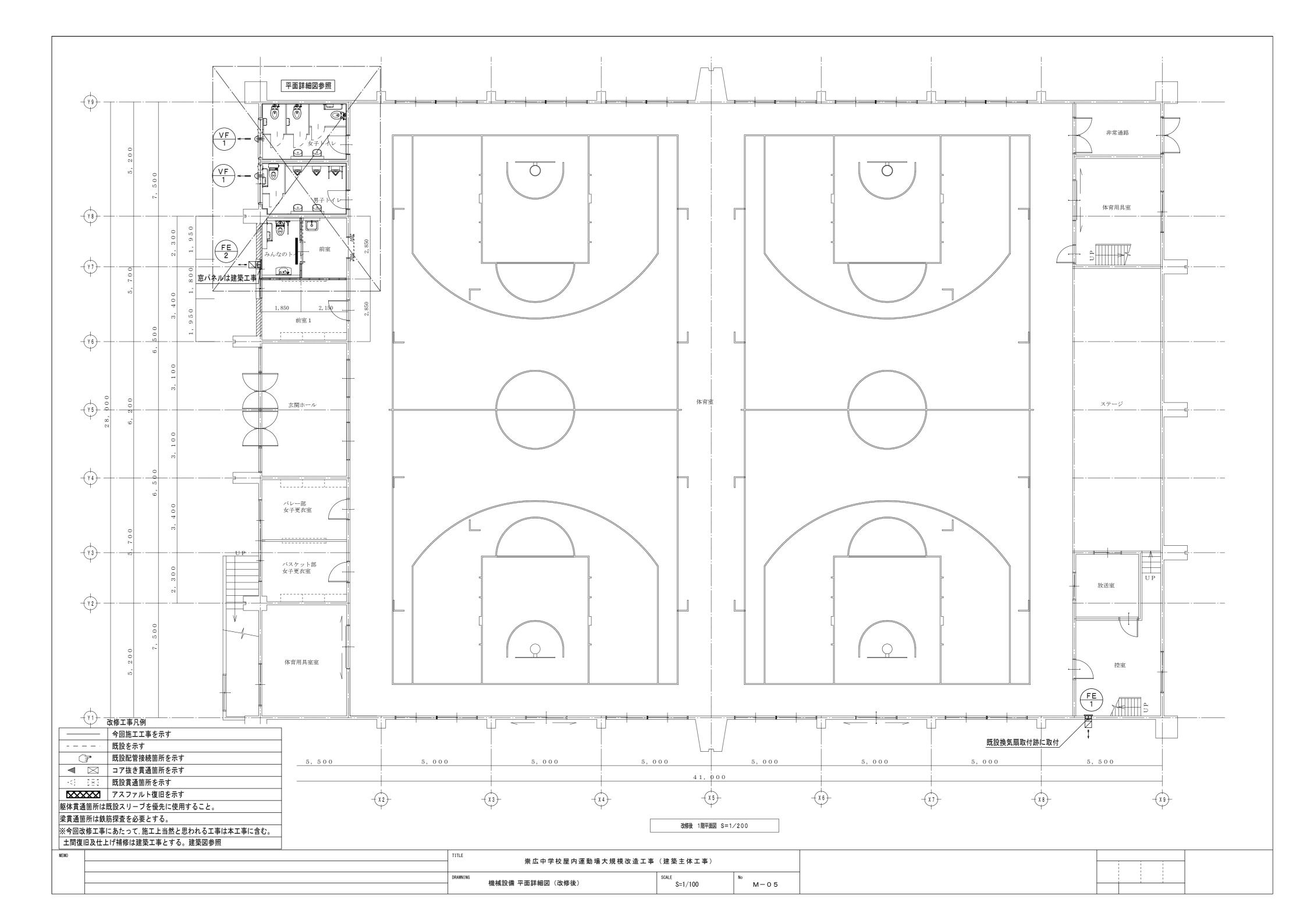
### 換気機器表

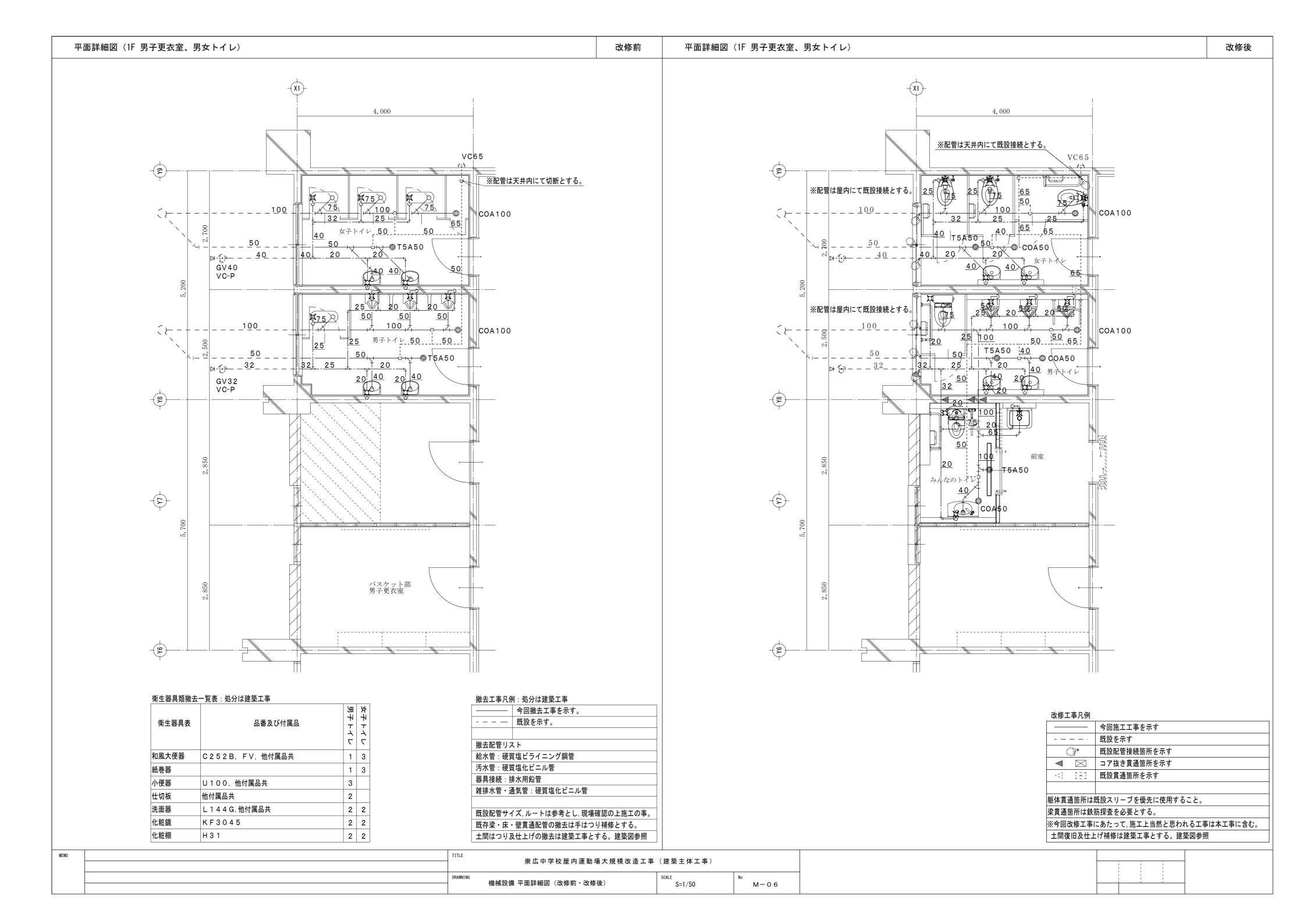
					1	気 容	量		Т	
記号	機器名称			形 式 ・ 仕 様	相	電圧	消費	電力	台数	備考
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				( <b>( ( ( ( ( ( ( ( ( (</b>	(V)	()	V)		
V F- 1	パイプ用ファン	形 式		角形:電源コード(プラグ付)	1	100	5.	4	2	設置場所:男子トイレ・女子トイレ
		風量		150 m3/h						参考品番:V-12PPVS7
		ダクト径		150 φ						
		静圧		3. 7 Pa						
		付 属 。	品	SUS製深形パイプフード:ガラリ付, パイプスリーブ, その他付属品共						
F E- 1	壁付換気扇	形 式		格子形:連動式シャッター,引きひも付	1	100	2 9	. 0	1	設置場所:控室
		風量		1002 m3/h						参考品番:EX-30FK7
		羽根径		30 cm						
		付 属 。		SUS製ウェザカバー:防虫網、取付枠、その他付属品共						
F E- 2	壁付換気扇:窓枠据え付			電気式式シャッター・速調なし・, 引きひもなし	1	100	2 3	. 0	1	設置場所:みんなのトイレ
		風量		6 6 0 m3/h						参考品番:EX-20SC3-EH
		羽根径		20 cm						
		付 属 。	品	SUS製ウェザカバー:防虫網,化粧枠アタッチメント,その他付属品共						
雷源容量	 は参考数値とする。									

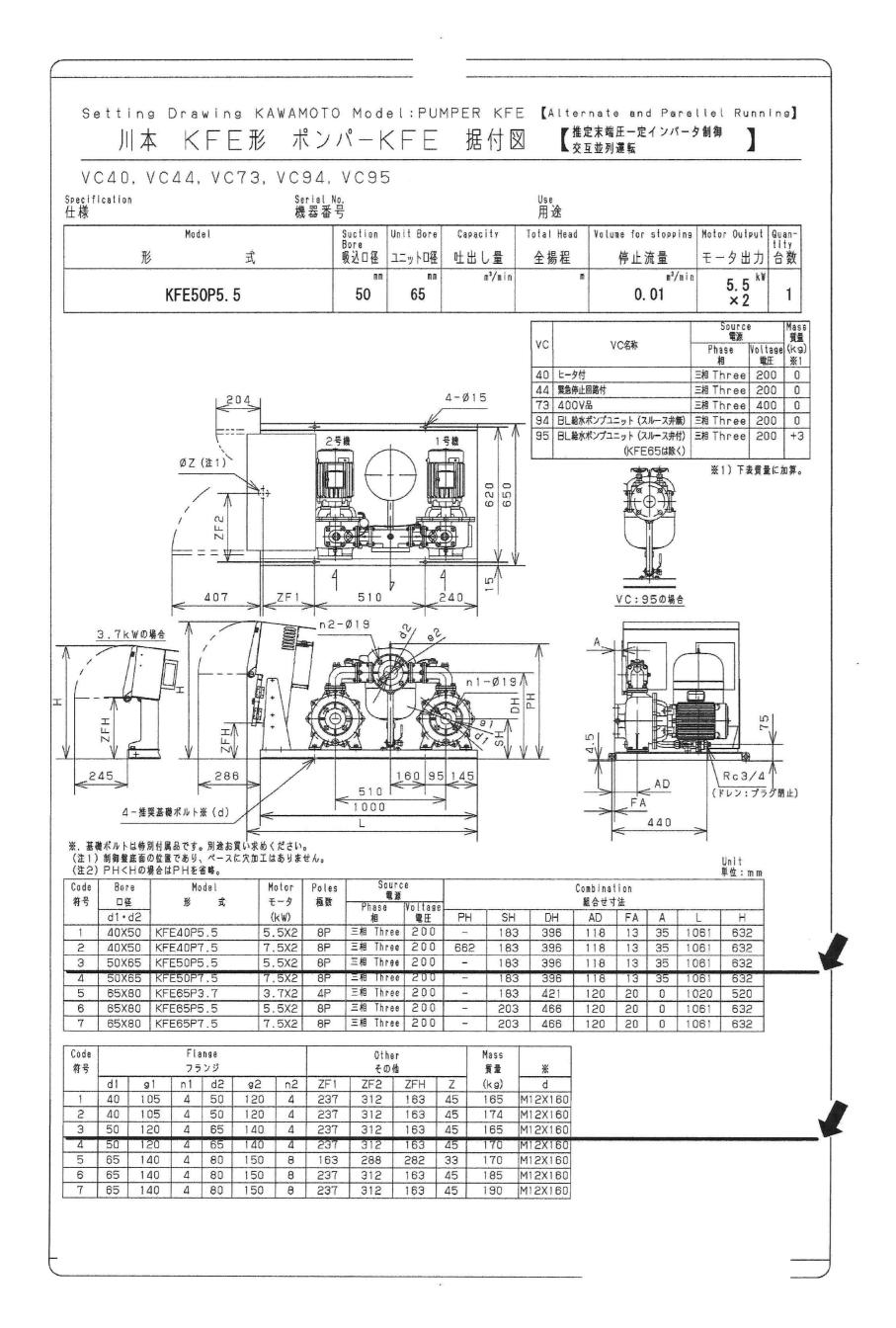
MEMO	崇広中学校屋内運動場大規模改造工事(建築主体工事)				
	DRAWNING	機械設備 凡例・器具機器表	SCALE S=N/S	No M - 0 2	











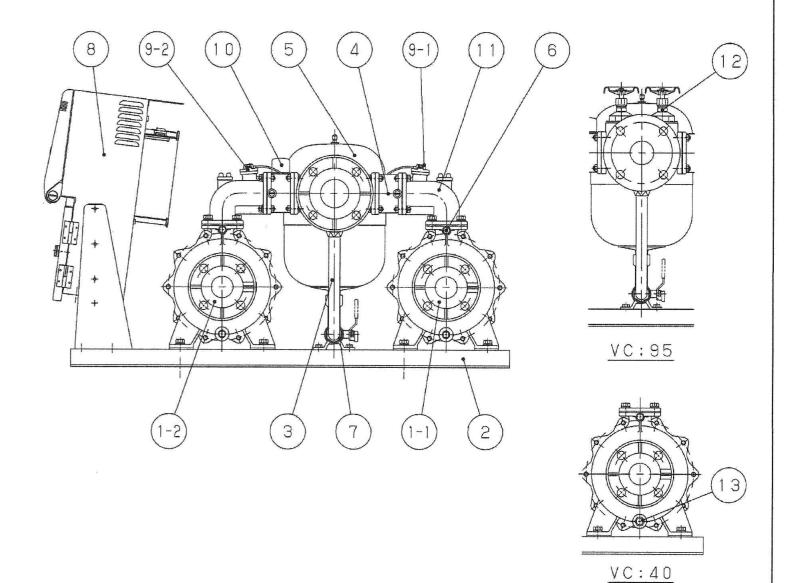
Setting Drawing KAWAMOTO Model:PUMPER KFE

## 川本 KFE形 ポンパーKFE 構造図 【推定末端圧―定ィンバータ制御運転】

VC40、VC44、VC94、VC95 ステンレスポンプ 全閉屋内モータ

浸出性能基準適合品

۷C	VC名称					
40	ヒータ付					
44	緊急停止回路付					
73	400VB					
94	BL給水ポンプユニット (スルース弁無					
95	日上給水ポンプコニット (スルース弁付)					



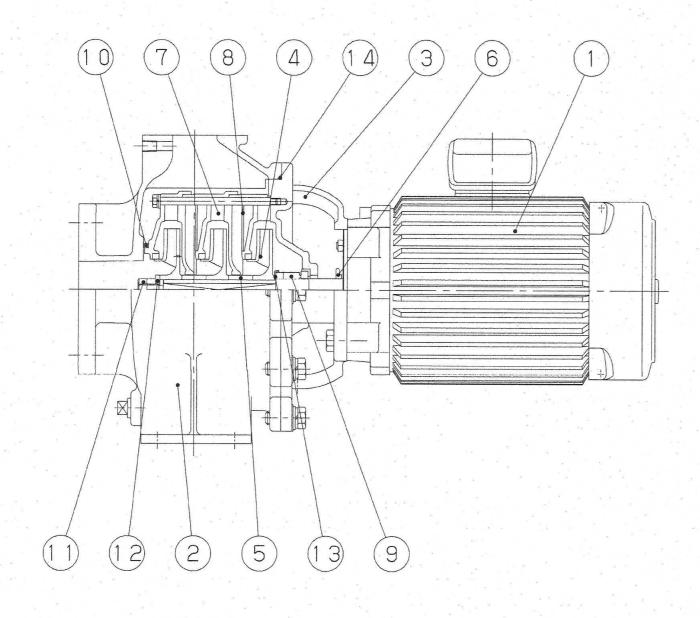
No	名 称	数量	No	名 称	数量
1 – 1	ポンプ (No.1)	1	8	制御盤(ECSG4形)	1
1-2	ポンプ (No.2)	1	9-1	流量センサー (No.1ポンプ)	1
2	ベース	1	9-2	流量センサー(No. 2ポンプ)	1
3	可とう管	1	10	圧力発信器	1
4	チェック弁	2	1 1	連結曲管	2
5	アキュムレータ	1	12	スルース弁	1
6	排気弁	2	13	ヒータ	2
7	ボール弁	1			

MEMO	TITLE	崇	広中学校屋内運動場	大規模改造工事	(建築主体工事)	
	DRAWNING	機械設備	加圧ポンプ図 1	(参考図)	SCALE	No M — 0.7
						101 0 7

Structural Drawing KAWAMOTO Model:KR-C

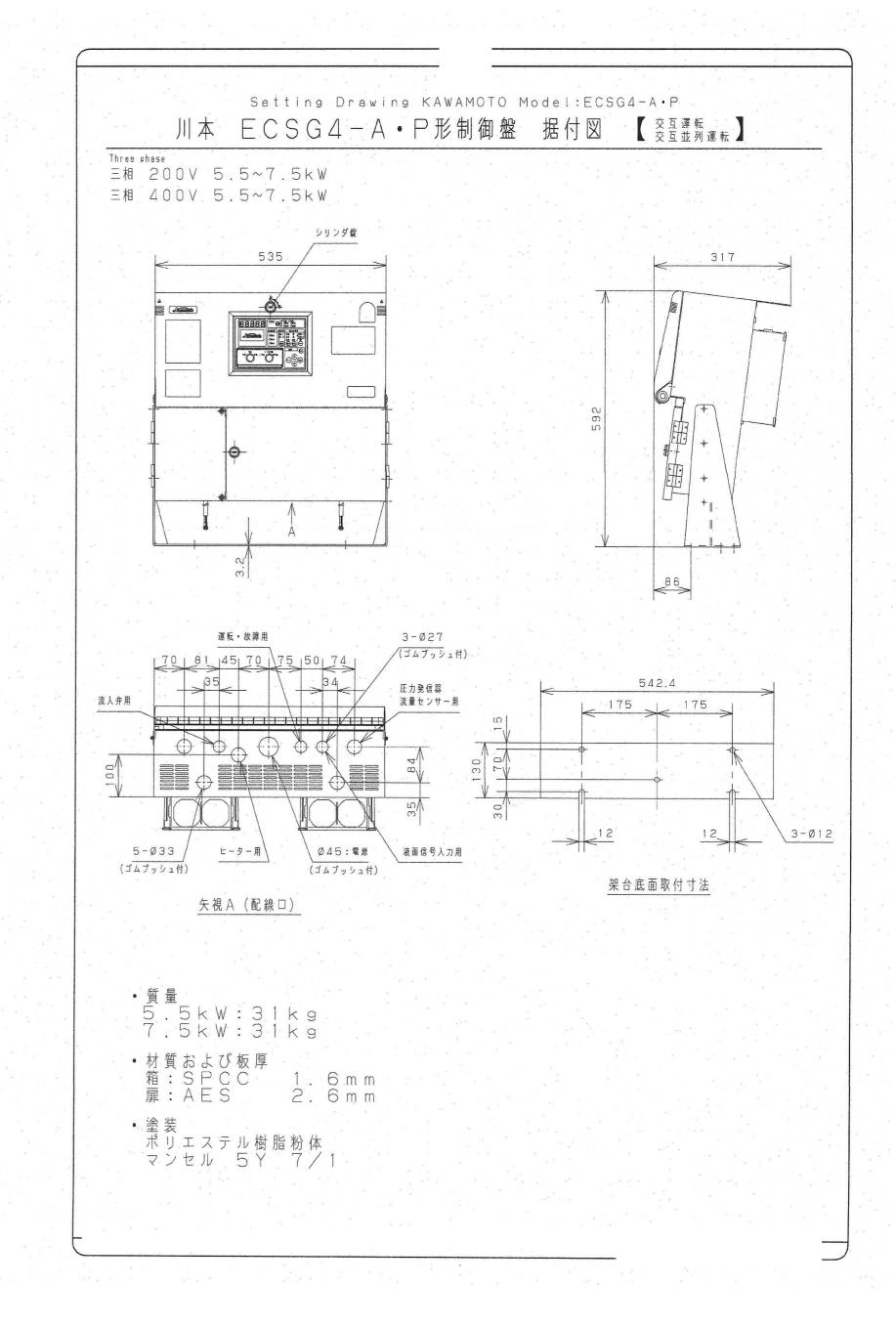
# 川本 KR-C形 多段タービンポンプ 構造図

ステンレスポンプ 全閉屋内モータ 浸出性能基準適合品



注)本図はKR-C形の代表例を示すものであり、機種により本図と多少異なるものもあります。

No	部 品 名	材料	No	部品名	材料
1	モータ		8	仕切板	SUS304
2	ケーシング	SCS13	. 9	メカニカルシール	セラミック×カーボン
3	ケーシングカバー	SCS13	10	Oリング	ΔŢ
4	インペラ	SCS13	11	ナット	SUS304
5	スリーブ	SUS304	12	平座金	SUS304
6	水切つば	ゴム	13	ばね受	SUS304
7	ガイドベーン	樹脂	14	Oリング	J.A.



 MEMO
 TITLE
 崇広中学校屋内運動場大規模改造工事 (建築主体工事)

 DRAWNING
 機械設備 加圧ポンプ図 2 (参考図)
 SCALE M-O 8